長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第15集

YANAGITSUBOMINAMI－SITE

柳坪南遺跡

SAKAIBARA－SITE

境原遺跡

県営圃場整備事業にともなう埋蔵文化財発掘調査

1997

長坂町教育委員会

峡北土地改良事務所

山梨県長坂町

柳坪南遺跡/境原遺跡

県営圃場整備事業にともなう埋蔵文化財発掘調査

1997. 3

長坂町教育委員会

峡北土地改良事務所

序

長坂町は広大な八ヶ岳南麓のほぼ中央に位置し、自然に恵まれた高原の町であるとともに、およそ200ヶ所に上る遺跡の密集地帯としても知られています。

長坂町教育委員会では各種の開発事業に際し、このように数多い遺跡の保護をはかりつつ、必要に応じて発掘調査を実施し、記録として遺跡の内容を後世に伝えるための文化財保護事業を推進しております。

本書は平成6年度に県営圃場整備事業にともない、発掘調査を実施した大八田地区の柳坪南遺跡と境原遺跡の調査報告書です。柳坪遺跡では平安時代の集落が、境原遺跡では縄文時代と弥生時代の遺物と平安時代の集落がそれぞれ発見されました。

両遺跡の調査にあたり、格別なご理解をいただいた地権者の皆様をはじめとする関係各位に厚く御礼申し上げます。本書がひろく教育や研究の場で活用されることを願います。

１９９７年３月

長坂町教育委員会

教育長　**小松清寿**

例　言

1　本書は山梨県北巨摩郡長坂町大八田字柳坪に所在する柳坪南遺跡および長坂町大八田字境原に所在する境原遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は山梨県営圃場整備事業にともない、山梨県峡北土地改良事務所からの委託を受け長坂町教育委員会が実施した。

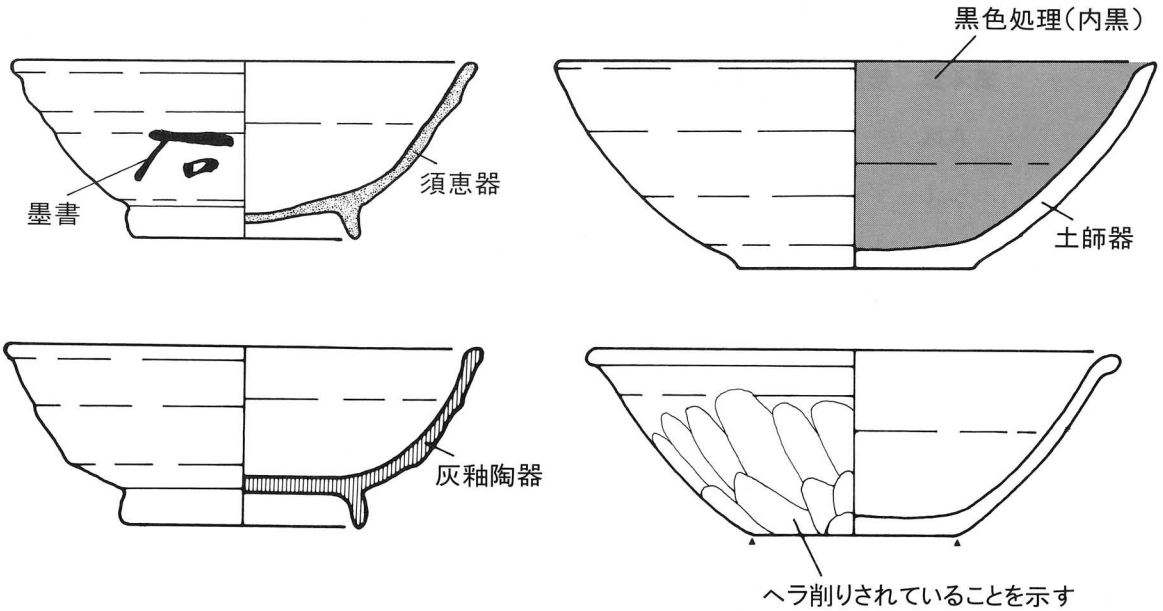
3　本書の編集は小宮山隆（町教育委員会埋蔵文化財担当）が行った。

4　遺物実測・図面作成・トレース・図面整理・表作成等に関わる業務については吉田光雄（調査補助員）、山下大輔（信州大学学生）、石川昭江、井出仁美、長田加代子、清水純代、橋本はるみ、日向登茂子、深沢憲子（整理作業員）が行った。

5　出土品および図面・写真は長坂町教育委員会が保管している。

6　発掘調査から報告書作成までの間、次の諸氏からご助言、ご配慮を賜った。記して感謝申し上げたい（順不同、敬称略）。

小野正文・保坂康夫・出月洋文・中山誠二（以上、山梨県教育委員会学術文化財課）、伊藤公明（大泉村教育委員会）、佐野隆（明野村教育委員会）、平野修（山梨文化財研究所）



柳坪南遺跡/境原遺跡

Contents

もくじ

本文

序

例言

第１章　調査の経過 …… 9

1　調査の経緯 …… 9

2　調査の概要 …… 9

3　調査組織 …… 9

第２章　遺跡をとりまく環境 …… 12

1　自然環境 …… 12

2　長坂町内の遺跡分布 …… 12

第３章　柳坪南遺跡の調査 …… 15

1　平安時代の住居址 …… 15

2　集石遺構 …… 19

3　遺物 …… 21

第４章　境原遺跡の調査 …… 54

A区 …… 54

1　平安時代の住居址 …… 54

2　土坑 …… 55

3　埋設土器 …… 56

B区 …… 56

1　弥生時代の住居址 …… 56

2　平安時代の住居址 …… 56

3　遺物 …… 60

表紙：柳坪南遺跡６号住居のカマド

挿図・表

図１　長坂町の遺跡分布図……10
図２　柳坪南遺跡・境原遺跡の位置と周辺遺跡分布図…13
図３　柳坪南遺跡調査区位置図……14
図４　柳坪南遺跡全体図……20
図５　基本層序……28
図６　１号住居址実測図／土器分布図……28
図７　２号住居址実測図／土器分布図……29
図８　３号住居址実測図……30
図９　４号住居址・カマド実測図／土器分布図……31
図10　５号住居址実測図／土器分布図……32
図11　６号住居（15号住居）・14号住居址実測図……33
図12　６号住居址カマド実測図……34
図13　６号住居址土器分布図……35
図14　７号住居址実測図／土器分布図……36
図15　８号・９号住居址実測図／土器分布図……36
図16　10号住居址・カマド実測図／11号住居址実測図…37
図17　10号・11号住居址土器分布図……38
図18　12号住居址・カマド実測図……39
図19　12号住居址土器分布図……40
図20　13号住居址実測図／土器分布図……41
図21　１号集石遺構……41
図22　１号住居址出土遺物……42
図23　２号住居址出土遺物(1)……42
図24　２号住居址出土遺物(2)……43
図25　３号住居址出土遺物……43
図26　４号住居址出土遺物……43
図27　５号住居址出土遺物(1)……43
図28　５号住居址出土遺物(2)……44
図29　６号住居址出土遺物(1)……45
図30　６号住居址出土遺物(2)……46
図31　７号住居址出土遺物……46
図32　８号住居址出土遺物……47
図33　９号住居址出土遺物……47
図34　10号住居址出土遺物(1)……47
図35　10号住居址出土遺物(2)……48
図36　11号住居址出土遺物……48
図37　12号住居址出土遺物(1)……49
図38　12号住居址出土遺物(2)……50
図39　12号住居址出土遺物(3)……51
図40　13号住居址出土遺物……51
図41　14号住居址出土遺物……51
図42　15号住居址出土遺物(1)……51
図43　15号住居址出土遺物(2)……52
図44　表採遺物……52
図45　調査区北出土遺物……52
図46　境原遺跡調査区位置図……53
図47　境原遺跡Ｂ区全体図……58
図48　境原遺跡Ａ区全体図……59
図49　基本層序……64
図50　１号住居址実測図〈Ａ区〉……65
図51　１号住居址土器分布図〈Ａ区〉……66
図52　２号住居址実測図〈Ａ区〉……67
図53　２号住居址土器分布図〈Ａ区〉……68
図54　３住居址実測図／土器分布図〈Ａ区〉……69
図55　４住居址実測図／土器分布図〈Ａ区〉……70
図56　５号住居址・カマド実測図〈Ａ区〉……71
図57　５号住居址土器分布図〈Ａ区〉……72
図58　１号埋設土器実測図〈Ａ区〉……72
図59　１号土坑実測図〈Ａ区〉……72
図60　６号住居址・カマド実測図／土器分布図〈Ｂ区〉…73
図61　７号住居址実測図／土器分布図〈Ｂ区〉……74
図62　８号住居址実測図／土器分布図〈Ｂ区〉……75
図63　９号住居址・カマド実測図／土器分布図〈Ｂ区〉…76
図64　10号住居址実測図〈Ｂ区〉……77
図65　11号住居址実測図／土器出土状況図〈Ｂ区〉……78
図66　１号住居址出土遺物〈Ａ区〉……79
図67　２号住居址出土遺物〈Ａ区〉……80
図68　３号住居址出土遺物〈Ａ区〉……81
図69　４号住居址出土遺物〈Ａ区〉……81
図70　５号住居址出土遺物〈Ａ区〉……82
図71　１号埋設土器〈Ａ区〉……83
図72　６号住居址出土遺物〈Ｂ区〉……83
図73　７号住居址出土遺物〈Ｂ区〉……83
図74　８号住居址出土遺物〈Ｂ区〉……84
図75　９号住居址出土遺物(1)〈Ｂ区〉……84
図76　９号住居址出土遺物(2)〈Ｂ区〉……85
図77　11号住居址出土遺物(1)〈Ｂ区〉……85
図78　11号住居址出土遺物(2)〈Ｂ区〉……86
図79　表採遺物〈Ｂ区〉……86

表１　長坂町の遺跡分布一覧……11
表２　柳坪南遺跡１号住居址遺物観察表……21
表３　柳坪南遺跡２号住居址遺物観察表……21
表４　柳坪南遺跡３号住居址遺物観察表……21
表５　柳坪南遺跡４号住居址遺物観察表……21
表６　柳坪南遺跡５号住居址遺物観察表……22
表７　柳坪南遺跡６号住居址遺物観察表……22
表８　柳坪南遺跡７号住居址遺物観察表……24
表９　柳坪南遺跡８号住居址遺物観察表……24
表10　柳坪南遺跡９号住居址遺物観察表……24
表11　柳坪南遺跡10号住居址遺物観察表……24
表12　柳坪南遺跡11号住居址遺物観察表……25
表13　柳坪南遺跡12号住居址遺物観察表……25
表14　柳坪南遺跡13号住居址遺物観察表……26
表15　柳坪南遺跡14号住居址遺物観察表……27
表16　柳坪南遺跡15号住居址遺物観察表……27
表17　柳坪南遺跡表採遺物観察表……27
表18　柳坪南遺跡調査区北遺物観察表……27
表19　境原遺跡１号住居址遺物観察表……60
表20　境原遺跡２号住居址遺物観察表……60
表21　境原遺跡３号住居址遺物観察表……61
表22　境原遺跡４号住居址遺物観察表……61
表23　境原遺跡５号住居址遺物観察表……62
表24　境原遺跡１号埋設土器……62
表25　境原遺跡６号住居址遺物観察表……62
表26　境原遺跡７号住居址遺物観察表……62
表27　境原遺跡８号住居址遺物観察表……62
表28　境原遺跡９号住居址遺物観察表……63
表29　境原遺跡11号住居址遺物観察表……63
表30　境原遺跡表採遺物観察表……64

写真図版

柳坪南遺跡

図版１　柳坪南遺跡全景……87
図版２　１号住居址……87
図版３　１号住居出土土器……87
図版４　２号住居址……87
図版５　２号住居出土土器……87
図版６　３号住居址……87
図版７　３号住居出土土器……87
図版８　４号住居址……88
図版９　４号住居カマド……88
図版10　４号住居出土土器……88
図版11　５号住居出土土器……88
図版12　５号住居出土土器……88
図版13　５号住居址……88
図版14　５号住居出土墨書土器……88
図版15　６号住居址……89
図版16　６号住居出土墨書土器……89
図版17　６号住居カマド……89
図版18　６号住居出土土器……89
図版19　６号住居出土土器……89
図版20　７号住居址……90
図版21　７号住居出土土器……90
図版22　７号住居出土墨書土器……90
図版23　８号・９号住居址……90
図版24　８号住居出土土器……90
図版25　10号・11号住居址……90
図版26　10号住居出土墨書土器……90
図版27　10号住居出土土器……91
図版28　10号住居出土土器……91
図版29　10号住居出土刻書土器……91
図版30　12号住居址……91
図版31　12号住居カマド横土器出土状況……91
図版32　12号住居出土土器……91
図版33　12号住居出土土器……92
図版34　13号住居址……92
図版35　調査区北出土土器……92

境原遺跡

図版36　境原遺跡Ａ区全景……93
図版37　境原遺跡Ｂ区全景……93
図版38　１号住居址……93
図版39　１号住居出土土器……93
図版40　２号住居址完掘……94
図版41　２号住居出土土器……94
図版42　３号住居址完掘……94
図版43　３号住居出土墨書土器……95
図版44　３号住居土器出土状況……95
図版45　３号住居出土土器……95
図版46　４号住居址完掘……95
図版47　４号住居出土土器……95
図版48　５号住居址完掘……96
図版49　５号住居出土土器……96
図版50　６号住居址完掘……96
図版51　６号住居カマド……96
図版52　７号住居址完掘……97
図版53　７号住居出土土器……97
図版54　８号住居址完掘……97
図版55　９号住居址完掘……97
図版56　９号住居カマド……98
図版57　９号住居出土土器……98
図版58　10号住居址……98
図版59　11号住居出土土器……98
図版60　11号住居址……98
図版61　11号住居土器出土状況……98
図版62　11号住居出土土器……98
図版63　11号住居出土土器……99
図版64　11号住居出土墨書土器……99
図版65　１号土壙……99
図版66　１号溝……99
図版67　１号埋設土器出土状況……99
図版68　１号埋設土器……99

第1章　調査の経過

1　調査の経緯

1993（平成５）年、山梨県農務部耕地課および山梨県峡北土地改良事務所から町教育委員会に、長坂地区の県営圃場整備事業計画についての事前協議がなされた。町教育委員会では、1994（平成６）年１月から３月にかけて事業計画地の現地踏査と試掘調査を実施した。その結果、柳坪地内と境原地内でそれぞれ平安時代の遺構面が、また石原田地内においては焼土粒子が確認された。

町教育委員会では遺跡の保存について、山梨県農務部と協議を重ねたが、圃場整備の工法的に現状保存が困難であるとの結論に至り、上記の３地点について発掘調査を実施することになった。

1994（平成６）年６月８日付けで、長坂町長と峡北土地改良事務所長との間に、埋蔵文化財発掘調査費に関する負担協定を締結し、長坂町教育委員会が調査を実施した。なお、事業費の一部については国および県の補助対象として、平成６年度国宝重要文化財等保存整備費補助金を同年９月５日付けで、平成６年度山梨県文化財保存事業費補助金を同年11月12日付けでそれぞれ交付決定を受けた。

境原遺跡は同年７月８日から、柳坪遺跡は７月13日からそれぞれ現場調査を開始し、両遺跡とも終了したのは同年11月14日である。石原田地内については表土剥ぎを実施したが、明確な遺構は確認されず、遺物も近現代の陶器片が数点出土したのみであった。

整理作業は1996（平成８）年度に、県営圃場整備事業に関わる未報告遺跡の整理事業について、同じく峡北土地改良事務所と同年４月23日付けで負担協定を締結し、ここに報告を行う運びとなった。

2　調査の概要

柳坪南遺跡では626.7㎡の調査区から15件の平安時代住居址や集石遺構、土坑が検出された。境原遺跡はＡ区（371.8㎡）とＢ区（772.7㎡）に調査区がわかれる。Ａ区では平安時代住居址５件や縄文時代中期後半の埋設土器１基、土坑２基が検出された。Ｂ区では弥生時代後期の住居址２件、平安時代の住居址４件、土坑２基が検出された。

なお現場調査は、柳坪南遺跡が1994年の７月13日から８月31日まで、境原遺跡が1994年の７月８日から11月14日までを要した。

3　調査組織

事業主体　長坂町教育委員会

調査担当　小宮山　隆（教育委員会埋蔵文化財担当）

事務局　教育長　小松清寿

教育課長　平島善正（前任者）、植松　忠

教育係長　輿石君夫

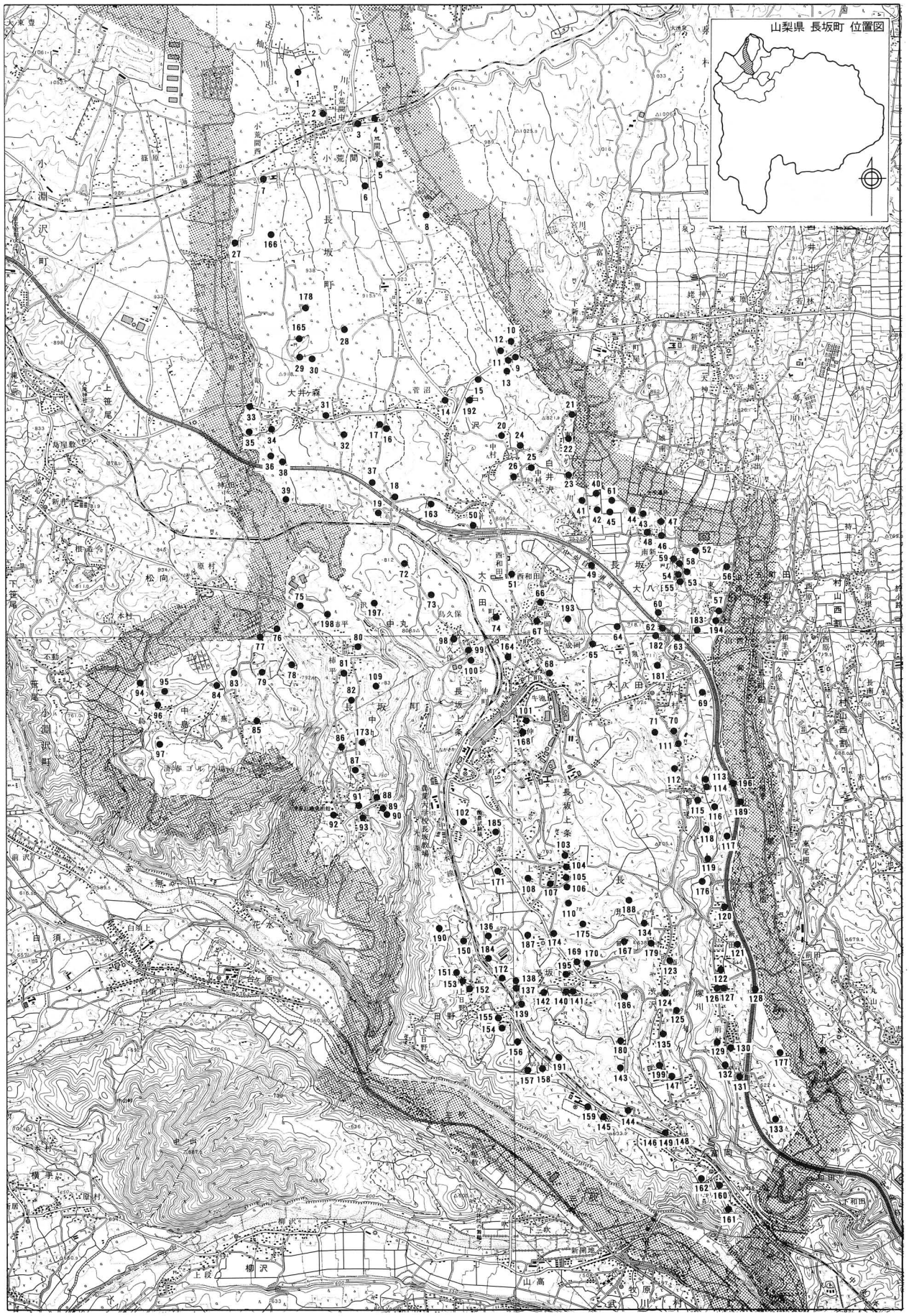


図１　長坂町の遺跡分布図

表１　長坂町の遺跡分布一覧

（縄＝縄文時代　弥＝弥生時代　古＝古墳時代　平＝平安時代　中＝中世）

001　耳塚　中
002　法性寺前遺跡　縄　中
003　信玄原遺跡　縄
004　小荒間古戦場跡
005　桜畑遺跡　近
006　小泉遺跡　近
007　菅間遺跡　縄
008　桜畑南遺跡　縄
009　糀屋敷東遺跡　縄
010　糀屋敷北遺跡　縄
011　糀屋敷遺跡　縄
012　牛久保遺跡　縄　弥
013　牛久保南遺跡　縄
014　沢入遺跡　縄　中
015　宇干平遺跡　縄　中
016　東下屋敷遺跡　縄
017　西下屋敷遺跡　縄
018　新田森遺跡　縄
019　西下屋敷南遺跡　縄
020　横手遺跡　縄　中
021　神之原遺跡　縄
022　屋敷附遺跡　縄　中
023　内城遺跡　中
024　十郎林遺跡　縄
025　阿原遺跡　平
026　中尾根遺跡　縄
027　手白尾遺跡　縄
028　夫婦石遺跡　縄
029　横山１遺跡　縄
030　横山２遺跡　縄
031　横山平南遺跡　縄　平
032　葛原北遺跡　縄　平
033　上フノリ平北遺跡　縄
034　上フノリ平遺跡　縄
035　上フノリ平西遺跡　縄
036　下フノリ平北遺跡　縄
037　葛原遺跡　縄　弥
038　下フノリ平遺跡　縄　中
039　下フノリ平南遺跡　平
040　別当遺跡　縄
041　別当西遺跡　縄
042　別当十三塚
043　南新居北遺跡　中
044　深草城址
045　小和田遺跡　縄　平
046　南新居屋敷跡
047　南新居遺跡　平
048　南新居西遺跡　平
049　小和田館跡
050　米山遺跡　旧石　縄
051　米山東遺跡　平
052　塚田遺跡　平
053　窪田遺跡　縄　古　平
054　弥右衛門塚１
055　弥右衛門塚２
056　渋田北遺跡　平
057　渋田遺跡　平
058　東原の土塁
059　東原遺跡　中
060　柳新居遺跡　縄　古　平
061　原田遺跡　縄　平
062　柳坪Ａ遺跡　縄　古　平
063　柳坪Ｂ遺跡　縄　古　平
064　小屋敷遺跡　縄　平
065　久保地遺跡　縄
066　成岡遺跡　縄　弥　平
067　成岡新田遺跡　弥　平
068　曲田遺跡　平
069　石原田北遺跡　縄　平
070　石原田南遺跡　縄　平　中
071　塚原遺跡　縄　平
072　越中久保遺跡　縄　平
073　久保遺跡　縄
074　房屋敷遺跡　縄
075　池の平遺跡　縄
076　東蕪遺跡３　平
077　東蕪遺跡２　平
078　東蕪遺跡４　縄　平
079　東蕪遺跡１　縄　平
080　和手山東遺跡　中
081　小尾平遺跡　旧石　縄
082　間の原遺跡　縄
083　西蕪東遺跡　平
084　西蕪遺跡　縄
085　西蕪南遺跡　縄　平
086　和手遺跡　縄　平
087　腰巻遺跡　縄
088　城山上北遺跡　縄　平
089　城山上遺跡　縄
090　中丸城跡　中
091　居久保遺跡　縄　平
092　清春白樺美術館南遺跡　縄
093　細久保遺跡　縄
094　後平遺跡　縄　平
095　狐平北遺跡　縄　平
096　狐平遺跡　縄　平
097　大平遺跡　縄　平
098　下鳥久保遺跡　縄
099　鳥久保遺跡　縄
100　高松遺跡　縄
101　上町遺跡　縄　平
102　酒呑場遺跡　縄　古　平
103　東村Ａ遺跡　縄　平
104　東村Ｂ遺跡　古　平
105　中村遺跡　古　平
106　錨田遺跡　平
107　西村遺跡　古　平
108　中反遺跡　縄　平
109　中丸・藤塚
110　長坂氏屋敷跡　中
111　白山神社前遺跡　平
112　上ノ屋敷遺跡　縄　平
113　大々神十三塚　中
114　大々神Ａ遺跡　平
115　大々神Ｂ遺跡　古　平
116　治郎田遺跡　古　平
117　頭無Ａ遺跡　平
118　樫木遺跡　弥　古
119　塚川・柳坪遺跡　縄
120　頭無遺跡（二本木遺跡）　縄　古
121　新田遺跡　縄
122　塚之越遺跡　中
123　原町北遺跡　平　中
124　原町遺跡　平
125　上久通北遺跡　縄　平
126　塚川の土塁　中
127　下村遺跡
128　塚川十三塚群
129　宮久保遺跡　縄
130　下村南遺跡　縄
131　泥里西遺跡　縄　平
132　勝見遺跡　縄　平
133　競馬場遺跡　縄　平
134　寺前遺跡　縄　平　中
135　上久通遺跡　縄
136　反田遺跡　縄　平　中
137　三井氏屋敷跡　中
138　北村遺跡　弥　古
139　新居遺跡　縄
140　相吉氏屋敷跡　中
141　相吉遺跡　中
142　上松氏屋敷跡　平
143　下屋敷遺跡　縄
144　清水頭遺跡　縄　古　平
145　向原遺跡　平
146　三つ墓古墳２　消滅
147　原町農業高校前遺跡　縄
148　三つ墓古墳３　消滅
149　三つ墓古墳１　古
150　池之平昭和堤北遺跡　縄
151　池之平Ａ遺跡　縄　平
152　向井丹下屋敷跡　中
153　池之平Ｂ遺跡　縄
154　上日野遺跡　縄　平
155　田中氏屋敷跡　中
156　上日野Ａ遺跡　縄　平
157　上日野Ｂ遺跡　縄　平
158　上日野Ｃ遺跡　縄　平
159　姥久保遺跡　平　中
160　日野原遺跡　平
161　上日野原遺跡　縄　平
162　富岡遺跡　近
163　横針遺跡　弥　古
164　大林遺跡　縄
165　中込遺跡　縄
166　手白尾東遺跡　縄
167　西屋敷遺跡　古
168　上町南遺跡　縄
169　龍角西遺跡　縄　古　平
170　龍角遺跡　古　平
171　長坂上条遺跡　縄　平
172　西久保遺跡　縄
173　新宿区健康村遺跡　縄　平
174　長坂下条・藤塚
175　和田遺跡　弥　平
176　古屋敷遺跡　縄
177　泥里遺跡　縄
178　中込北遺跡　縄
179　渋沢　上町遺跡　縄
180　下屋敷北遺跡　縄　平
181●柳坪南遺跡　平
182　柳坪北遺跡　縄　弥　平
183●境原遺跡　弥　平
184　北村北遺跡　縄　弥　平
185　酒呑場東遺跡　縄　弥　平
186　山本遺跡　縄
187　北村東遺跡　縄　古
188　大久保北遺跡　縄　中
189　天王塚古墳　古
190　池之平北遺跡　縄　平
191　清水頭北遺跡　縄　平
192　宇干平の土塁
193　成岡・藤塚
194　馬越場遺跡
195　紺屋遺跡　縄　平
196　治郎田北遺跡　縄
197　竹原遺跡　縄
198　天白城址　中
199　下原遺跡　縄

第2章　遺跡をとりまく環境

1　自 然 環 境

柳坪南遺跡は北緯35度49分58秒、東経138度23分21秒に、境原遺跡は北緯35度50分02秒、東経138度23分45秒にそれぞれ位置する。遺跡の海抜はそれぞれおよそ707 mと722 mを計り、尾根上の平坦面あるいは緩斜面に立地する。このような尾根は、第四紀火山の崩壊としては日本列島で最大規模といわれる韮崎岩屑流によって形成された八ヶ岳南麓緩斜面を、塩川の支流である鳩川や泉川といった中小河川にわずかに浸食されてできたもので、両遺跡が立地する標高700 m付近を境にして、より下流域では浸食力が増大し段丘崖が発達してくる。つまり両遺跡は、起伏の小さい八ヶ岳南麓斜面が、次第に河川浸食による段丘が発達しはじめる変換点に立地する。

遺跡の立地する尾根上は主に高原野菜を生産する畑や水田に、低位面はほぼ全面で水田化されている。

遺跡周辺の気候は典型的な内陸型気候であり、気温の日較差・年較差が大きく、年間降水量およそ1,100㎜と少ない。高海抜の割に冬季の積雪量は少ないが、多い年では年に数回、30～40㎝の積雪量が観測される。

2　長坂町内の遺跡分布

柳坪南と境原の両遺跡の周囲には高密度に遺跡が分布し、発掘調査された遺跡も数多い。柳坪遺跡では縄文時代中期後半を主とした集落遺跡が確認された[1)]。柳新居遺跡では河川改修にともない調査され、縄文時代中期前半の住居址が数件確認された。県営圃場整備事業にともない調査された別当西遺跡[2)]や大八田原田遺跡[3)]では、縄文時代後期の集落跡が確認された。柳坪遺跡では弥生時代中期の住居址も確認された。境原遺跡でも弥生後期の住居址が確認されている。古墳時代では柳坪遺跡で前期の住居址がある。平安時代の遺跡調査例は多数あり、南新居西遺跡[4)]、小和田館跡[5)]、大八田原田遺跡、柳坪遺跡、柳坪南遺跡、境原遺跡が挙げられる。中世では、国人領主層の館とそれをとりまく集落が確認された小和田館跡や、堀と土塁が良好に遺存する深草城址がある。

参 考 文 献

1）山梨県教育委員会1975『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書－北巨摩郡長坂・明野・韮崎地内』
　山梨県教育委員会1986『柳坪遺跡』
2）長坂町教育委員会1987『深草遺跡　別当十三塚遺跡　別当遺跡（第２次）糀屋敷遺跡』
　長坂町教育委員会1997『別当西遺跡』
3）長坂町教育委員会1989『大八田原田遺跡』
4）長坂町教育委員会1991『南新居西遺跡』
5）長坂町教育委員会1985『小和田館跡』

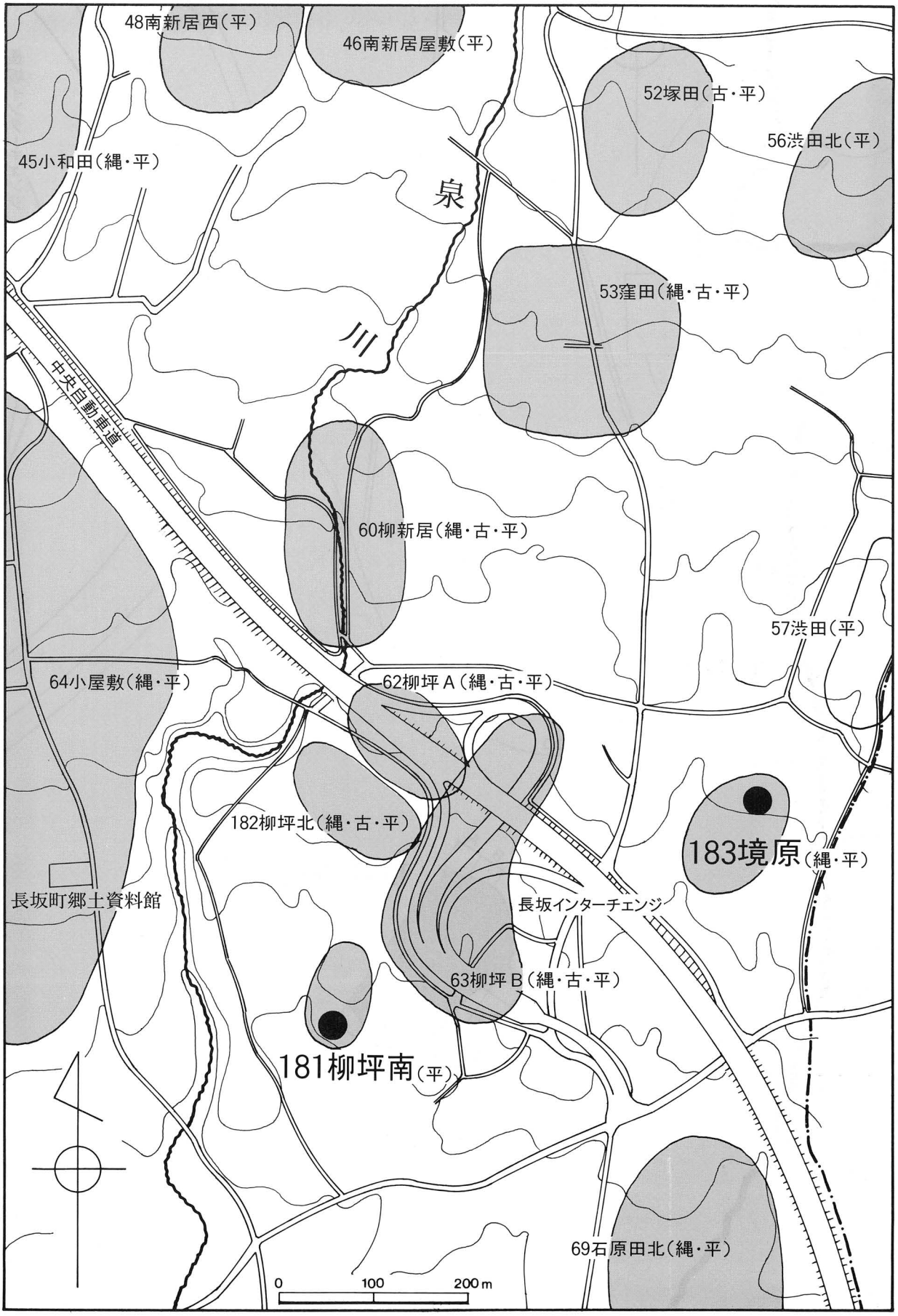


図２　柳坪南遺跡・境原遺跡の位置と周辺遺跡分布図

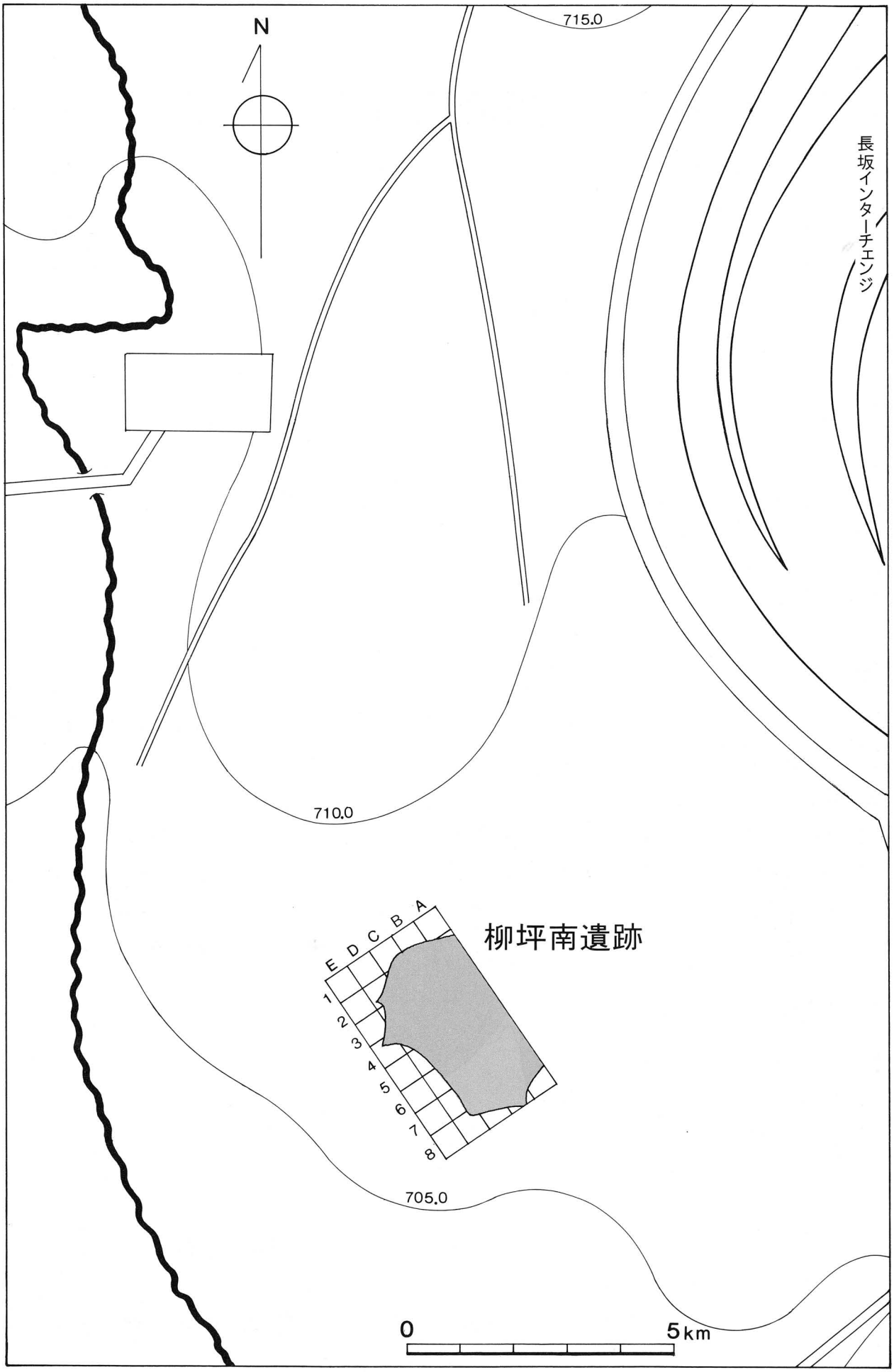


図３　柳坪南遺跡調査区位置図

第３章　柳坪南遺跡の調査

１　平安時代の住居址

調査の結果、平安時代の住居址15件が確認された。

〈１号住居址〉（図6,22）（表２）

位　　置：調査区域西北端（B-1、C-1、C-2区）に位置する。

検出状態：遺構北側半分は調査区域から外れている。また遺構南側の壁は排水溝によって撹乱されている。

平面形態：平面形態は、明確ではないが東西方向に方形プランの一端が確認できる。

大 き さ：撹乱のため不明。

周　　溝：明確でない。

カ マ ド：南東コーナー付近に炭化物と焼土が広がり、カマドの残骸と思われる複数の小礫が確認できる。

〈２号住居址〉（図7,23,24）（表３）

位　　置：調査区北端（A-2、B-2、A-3、B-3区）に位置する。遺構東側には1号集石遺構が隣接する。

検出状態：遺構北側約３分の１は排水溝によって撹乱を受けている。

平面形態：やや隅円の長方形。

大 き さ：住居短軸長は約3.4m、長軸長に関しては、プラン北側が撹乱を受けており不明。

周　　溝：遺構西側コーナー付近に周溝が見られる。

カ マ ド：住居址南東コーナーにしっかりした石組みのカマドがある。

備　　考：遺構中央床面に焼土面が検出されている。遺構西側に大型の礫がいくつか点在している。

〈３号住居址〉（8,25図）（表４）

位　　置：調査区中央部やや東側（A-4、A-5区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内南側に大型の礫が存在する。

平面形態：長方形。

大 き さ：住居長軸長は約4.4m、短軸長は約3.4m。長軸方向はN-18°-W。

周　　溝：確認されない。

カ マ ド：住居址北西コーナーと南東コーナーそれぞれに、複数の小礫が確認できるがカマドの残骸であるかどうかわからない。

備　　考：大型の礫が住居内に存在することが特徴的である。この大型礫は地山から床面を突き抜けてい

ることから、住居が利用されていた段階でも存在したと推定される。柱穴と思われるものがいくつかある。

〈４号住居址〉（図9,26）（表５）

位　　置：調査区中央部やや南東側（A-6、B-6区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内南端に大型の礫が２点存在する。

平面形態：長方形。

大 き さ：住居長軸長は4.8m、短軸長は3.2m。長軸方向はN-15°-W。

周　　溝：住居壁面には周溝がめぐっているが、東側壁面では明確でない。

カ マ ド：住居址東側にカマドがあり、壁面には焼土や炭化物、粘土などが混じった土が層状に検出された。

備　　考：住居内南東端と南西端には大型の礫が存在する。柱穴と思われるものがいくつかある。

〈５号住居址〉（図10,27,28）（表６）

位　　置：調査区中央部（B-5、C-5区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。北東端に大型の礫が存在する。

平面形態：遺構形態はほぼ方形を呈する。

大 き さ：住居長軸長は4.4m、短軸長は4m。主軸方向はE-10°-S。

周　　溝：住居壁面には周溝がめぐる。この周溝は南側壁面中央やや西において約１m程途切れるが、住居出入り口ではないかと思われる。なお柱穴は遺構内部の隅に比較的規則的に配置されているようだが、この出入り口と推定される部分の周溝端にも柱穴が配置されている。

カ マ ド：遺構東側壁面にはカマドがある。多少床面が掘り込まれ、その上に焼土交じりの土が堆積した遺構も検出されている。

備　　考：遺構内中央部やその周辺にもいくつかピットが検出されている。

〈６号住居址〉（図11,12,13,29,30）（表７）

位　　置：調査区中央部西端（D-4、E-4区）に位置する。遺構南側の一部は水田の土手により撹乱されている。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。

平面形態：遺構形態は方形を呈する。

大 き さ：一辺が約4.8mのほぼ正方形。主軸方向はほぼ南北に一致する。

周　　溝：壁面全体を周溝がめぐるが、遺構南側壁面の一部では周溝が途切れる。この周溝の途切れ方は、５号住居址と同様の位置関係。また遺構中央部にはピットがある。

カ マ ド：住居址北側にはカマドが検出されている。しっかりしたつくりで、周囲には粘土が張られ、内部は焼土に覆われている。

備　　考：住居内に礫が散在している。当調査区においては住居址プランが大型であり、カマドも唯一プラン北側につくられるなどの特徴がある。

〈７号住居址〉（図14,31）（表８）

位　　置：調査区中央西側（C-3、C-4、D-4区）に位置する。

検出状態：この遺構は、14号住居址と12号住居址に切られている。

平面形態：遺構形態は隅円長方形あるいはほぼ方形を呈する。

大 き さ：長軸長約3.2m、短軸長約3m、主軸方向はほぼ東西に一致する。

周　　溝：南側の一部を除きほぼ全周している。

カ マ ド：住居址東側にカマドが検出されている。

〈８号住居址〉（図15,32）（表９）

位　　置：調査区中央北側（B-3、B-4区）に位置する。

検出状態：この遺構は９号住居址を切る。遺構内北側と西北側には大型の礫が存在する。また遺構中央から南東側にかけては集石状に礫が密集する。

平面形態：遺構形態は長方形を呈する。

大 き さ：長軸長4.4m、短軸長3.2m。長軸方向はN-43°-W。

周　　溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

備　　考：南壁面に長方形の浅いピットがある。

〈９号住居址〉（図15,33）（表10）

位　　置：調査区中央北側（B-3、B-4区）に位置する。

検出状態：この遺構は８号住居址に切られる。遺構内北東端には大型の礫が存在する。

平面形態：ほぼ正方形を呈すると思われる。

大 き さ：長軸長約4m。短軸長は不明。長軸方向はN-6°-W。

周　　溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

〈10号住居址〉（図16,17,34,35）（表11）

位　　置：調査区西側（D-5、D-6区）に位置する。

検出状態：竪穴のプラン南西部は排水溝により撹乱を受けている。

平面形態：隅円長方形。

大 き さ：長軸長約5.2m、短軸長約3.6m。主軸方向はE-5°-S。

周　　溝：なし。

カ マ ド：東側壁面にカマドが検出されている。カマド周辺に礫が散在しているが、内部にはあまり礫はみられない。

備　　考：本遺構は11号住居址を切る。

〈11号住居址〉（図16,17,36）（表12）

位　　置：調査区西側（D-5区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランのほとんどが排水溝に撹乱されたり、10号住居址と切られていて全体像は不明。

平面形態：長方形か。

大 き さ：不明。

周　　溝：明確でない。

カ マ ド：確認できない。

備　　考：本遺構は10号住居址に切られる。

〈12号住居址〉（図18,19,37,38,39）（表13）

位　　置：調査区のほぼ中央部（C-3、C-4区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出されている。遺構内には多くの礫が散在している。

平面形態：ほぼ正方形。比較的規則正しく柱穴が配置されている。

大 き さ：長軸長約4m、短軸長約4m。主軸方向はN-77°-E。

周　　溝：なし。

カ マ ド：遺構東壁面にカマドが存在。大型の礫を組み上げたしっかりしたつくりである。カマド周辺の散在する礫はカマド構成礫の一部であろう。

備　　考：本遺構は８号住居址、14号住居址、７号住居址を切る。

〈13号住居址〉（図20,40）（表14）

位　　置：調査区の最南端（B-8、C-8区）に位置する。一部調査区域外に位置する。

検出状態：住居南側が調査区域外となっているため遺構の全体は明らかになっていない。遺構内南西に大型の礫が存在する。

平面形態：正方形に近い方形を呈すると思われる。

大 き さ：長軸方向は不明であるが、東西の一辺は約4.4m。

周　　溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

〈14号住居址〉（図11,41）（表15）

位　　置：調査区西側（C-4、D-4区）に位置する。

検出状態：遺構の大半は6号住居址によって切られているため遺構の形状はほとんど確認できない。

平面形態：正方形に近い方形と思われる。

大 き さ：不明。

周　　溝：あり。

カ マ ド：確認できない。

備　　考：本遺構は6号住居址、12号住居址に切られる。

〈15号住居址〉（図11,42,43）（表16）

位　　置：6号住居址と重複して検出された。

検出状態：竪穴のプランは6号住居址にほぼ重なり一致する。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長5.5m、短軸長4.8m。長軸方向はほぼ南北に一致する。

周　　溝：なし。

カ マ ド：確認できない。

2　集 石 遺 構

〈１号集石遺構〉（図21）

位　　置：調査区北東端（A-3区）に位置する。

検出状態：遺構の北西側は排水溝により撹乱されている。

平面形態：3m×2mほどの範囲に拳大から直径1mほどまでの様々な大きさの礫が密集していた。集石の中心には深さ35cmほどのほりこみがあり、覆土にはロームブロックが多量に含まれていた。

大 き さ：長軸長3.3m、短軸長2.3m。

備　　考：遺構の性格は明らかでないが、住居址の一部になる可能性もある。

整理作業風景

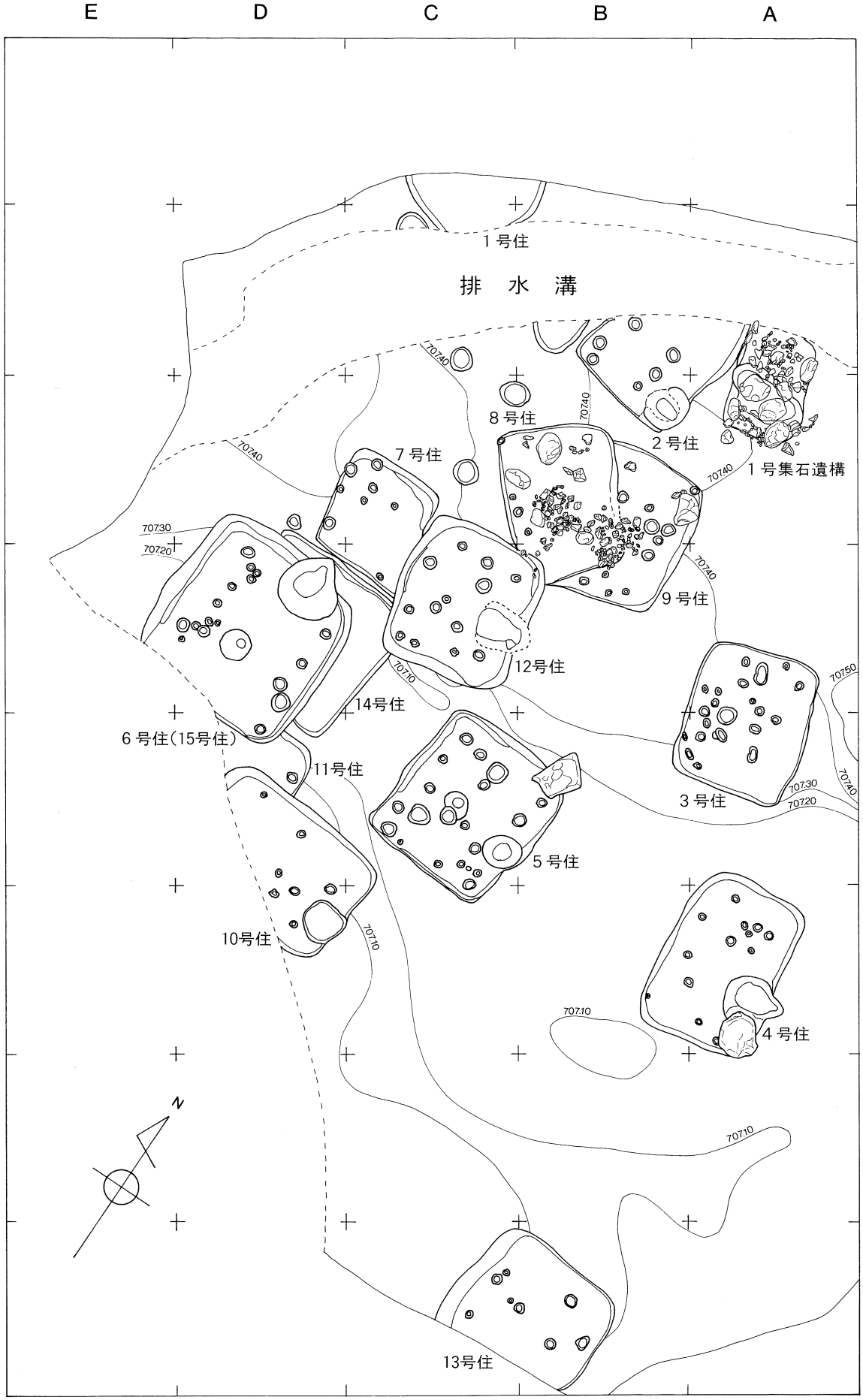


図４　柳坪南遺跡全体図

0　5m

3　遺　物（図22～45）

表２　１号住居址遺物観察表（図6.22）

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
1	土師器	坏	4.7 (13.8) 5.6	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ、ヘラ削リ		45%
2	土師器	坏	― (16.0) ―	スコリア	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		10%
3	土師器	坏	― (14.0) ―	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		30%
4	土師器	坏	― (15.6) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		10%
5	土師器	坏	― (12.0) ―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		20%
6	土師器	坏	― (13.0) ―	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
7	土師器	坏	― (13.6) ―	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	10%
8	土師器	皿	2.4 13.4 4.8	スコリア	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		70%
9	土師器	鉢	― (33.8) ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		30%
10	土師器	坏	― (15.0) ―	石英・長石・雲母	褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		20%
11	土師器	皿	(3.0)(14.0) ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		20%
12	灰釉陶器	坏	― ― (5.0)	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	高台	20%

表３　２号住居址遺物観察表（図7.23.24）

1	土師器	坏	5.5 (14.4) 5.0	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		45%
2	土師器	坏	6.1 (17.6)(7.0)	石英・長石・雲母	灰褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	10%
3	土師器	坏	(4.2)(13.7) ―	石英・長石・雲母	暗褐色～黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書・内黒 暗文	20%
4	土師器	坏	(4.0)(17.0) ―	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
5	土師器	坏	(3.0)(12.8) ―	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	小片
6	土師器	坏	(4.0)(13.4) ―	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
7	土師器	坏	(3.0)(16.0) ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	小片
8	土師器	坏	(2.5)(13.4) ―	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		15%
9	土師器	坏	(2.0)(16.0) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
10	土師器	坏	― ― 6.0	石英・長石・雲母	暗褐色	(底)回転糸切リ		20%
11	土師器	甕	(9.1)(10.0)(5.2)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		40%
12	土師器	甕	― (18.8) ―	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
13	土師器	甕	― (16.0) ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、クシ目		10%
14	土師器	甕	― ― (8.6)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		5%

表４　３号住居址遺物観察表（図8.25）

1	土師器	皿	(2.1)(14.0) ―	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	小片

表５　４号住居址遺物観察表（図9.26）

1	土師器	坏	4.2 12.8 5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		70%
2	土師器	甕	― (29.0) ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
3	土師器	坏	(3.5)(12.0) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		15%
4	土師器	坏	(4.5)(14.0) ―	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		35%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
5	土師器	坏	(3.3)(12.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	墨書	15%
6	土師器	坏	— — (5.6)	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	暗文	小片

表6　5号住居址遺物観察表（図10.27.28）

1	土師器	坏	4.3 (11.6) 5.4	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	40%
2	土師器	坏	(4.1)(14.0) —	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	高台 暗文	30%
3	土師器	坏	(4.0)(14.0) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	暗文	小片
4	土師器	皿	(2.5)(13.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		20%
5	土師器	甕	— (13.8) —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)口縁部　ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
6	土師器	甕	— — 8.0	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		10%
7	土師器	坏	4.7 15.4 5.8	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ、ヘラ削リ	内黒 暗文	65%
8	土師器	坏	4.2 12.4 4.0	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		70%
9	土師器	坏	5.3 14.6 6.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ	内黒	60%
10	土師器	坏	(5.1)(14.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		30%
11	土師器	坏	4.1 12.0 5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		60%
12	土師器	坏	(5.0)(14.2) —	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		30%
13	土師器	坏	(4.3)(11.4) —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		15%
14	土師器	坏	(4.3)(17.0) —	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		30%
15	土師器	坏	(3.6)(12.6) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
16	土師器	坏	(4.8)(16.0) —	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
17	土師器	坏	(3.2)(14.6) —	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		15%
18	土師器	坏	(4.0)(13.6) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		30%
19	土師器	坏	(3.5)(12.4) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
20	土師器	坏	(2.7)(13.8) —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書	30%
21	土師器	坏	(2.8)(14.0) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
22	土師器	坏	(3.1)(12.8) —	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
23	土師器	坏	— — (4.8)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		小片
24	土師器	坏	— — (6.0)	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		20%
25	土師器	皿	3.0 12.6 5.6	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ		60%
26	土師器	甕	— — (9.0)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		5%
27	土師器	甕	— — (8.0)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		5%

表7　6号住居址遺物観察表（図11.12.13.29.30）

1	土師器	皿	2.4 6.8 —	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	暗文	80%
2	土師器	甕	12.3 13.0 6.8	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		40%
3	土師器	甕	(15.2)(18.0)(7.8)	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ヨコ刷毛目 (底)回転糸切リ		20%
4	土師器	坏	4.1 13.0 5.6	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	80%
5	土師器	坏	4.2 13.0 5.6	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	墨書 内黒	60%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
6	土師器	坏	5.0 13.2 5.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	墨書 暗文	60%
7	土師器	坏	4.0 (11.4)(5.6)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ	墨書 内黒	30%
8	土師器	坏	(3.6)(13.0)(5.6)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	暗文	15%
9	土師器	坏	(3.5)(12.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	10%
10	土師器	坏	(4.0)(11.2) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		10%
11	土師器	坏	(4.5)(18.8) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
12	土師器	坏	(3.6)(12.0) —	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	10%
13	土師器	坏	(3.9)(13.4) —	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		10%
14	土師器	坏	(3.2)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
15	土師器	坏	(3.5)(12.8) —	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	8%
16	土師器	坏	(4.5)(14.8) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	10%
17	土師器	坏	(3.2)(13.2) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
18	土師器	坏	(3.4)(12.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
19	土師器	坏	(3.8)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
20	土師器	坏	(4.0)(14.8) —	石英・長石・雲母	暗灰褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	5%
21	土師器	坏	(3.4)(11.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
22	土師器	坏	(3.6)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗灰褐色	(内)ロクロナデ、ヘラ磨キ (外)ロクロナデ		20%
23	土師器	坏	(2.5)(12.8) —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
24	土師器	坏	(3.5)(13.0) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	10%
25	土師器	坏	— — (5.8)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	30%
26	土師器	坏	— — (5.6)	石英・長石・雲母	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		20%
27	土師器	坏	— — (5.0)	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	30%
28	土師器	坏	— — (4.4)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		20%
29	土師器	坏	— — (5.6)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	墨書	20%
30	土師器	坏	— — 4.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	墨書	小片
31	土師器	坏	— — —	スコリア	明灰色 赤褐色	(内)ロクロナデ (底)回転糸切リ	墨書	小片
32	土師器	皿	— — (6.1)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ	墨書	小片
33	土師器	皿	— — (9.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	墨書 暗文	小片
34	土師器	皿	2.8 13.6 6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	墨書 うず巻状暗文	90%
35	土師器	皿	(2.9) 13.2 (6.4)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書 内黒	40%
36	土師器	皿	(2.2)(13.6)(3.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ		25%
37	土師器	皿	(2.8)(13.0)(5.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラタタキ (底)ヘラ削リ		30%
38	土師器	皿	(1.8)(13.2) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
39	土師器	皿	(2.6)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
40	土師器	皿	(2.2)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	暗文	10%
41	土師器	皿	(2.0) — (14.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
42	土師器	皿	(2.1)(13.6) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	10%
43	土師器	皿	(2.3)(16.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
44	土師器	壺	― ― (8.0)	石英・長石・雲母 スコリア	明黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		10%
45	土師器	土製円盤	縦 横 厚さ 1.0 1.9 0.45	スコリア	赤褐色		再製品	100%

表8　7号住居址遺物観察表（図14.31）

1	土師器	坏	4.2 11.6 6.4	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	刻書 暗文	75%
2	土師器	坏	― ― 6.0	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	墨書	30%
3	土師器	甕	― 26.0 23.2	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		5%

表9　8号住居址遺物観察表（図15.32）

1	土師器	坏	(3.2)(16.0) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	暗文	10%
2	土師器	皿	(2.5)(14.2) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
3	土師器	?	― ― (6.4)	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	高台	20%
4	土師器	甕	― 29.0 ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		5%

表10　9号住居址遺物観察表（図15.33）

1	土師器	坏	(4.2)(15.6) ―	石英・長石・雲母 スコリア	褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
2	土師器	坏	― ― 9.0	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り、クシ目	内黒	20%

表11　10号住居址遺物観察表（図16.17.34.35）

1	土師器	坏	3.2 13.8 6.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		20%
2	土師器	坏	(2.8) 16.0 ―	石英・長石・雲母 スコリア	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
3	土師器	坏	(3.0)(14.0) ―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
4	土師器	坏	(2.5)(14.0) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
5	土師器	坏	― ― 4.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		30%
6	灰釉陶器	鉢	― ― (7.6)	白色粒 黒色粒	暗灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	高台	20%
7	須恵器	坏	(3.5)(14.4) ―	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
8	土師器	坏	5.2 (15.2) 6.0	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	刻書	60%
9	土師器	坏	4.2 (13.2) 4.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)糸切り、ヘラ削り	墨書	70%
10	土師器	坏	4.2 (13.6) 6.2	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		45%
11	土師器	坏	4.0 (13.4)(5.0)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		30%
12	土師器	坏	(3.5)(12.0)(6.0)	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒 暗文	30%
13	土師器	坏	4.1 13.0 5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	墨書	90%
14	土師器	?	(4.8)(16.8) ―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		20%
15	土師器	坏	(3.8)(13.0) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
16	土師器	坏	(3.6)(13.4) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
17	土師器	坏	(2.5)(13.6) ―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		10%
18	土師器	坏	(3.7)(10.8) ―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
19	土師器	坏	(3.0)(13.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
20	土師器	坏	(2.8)(14.0) —	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	10%
21	土師器	坏	— — (5.0)	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		30%
22	土師器	坏	— — (6.8)	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ		20%
23	土師器	坏	— — (5.4)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転ヘラ削リ		30%
24	土師器	坏	— — —	スコリア	明黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	墨書	小片
25	土師器	皿	— — 5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転ヘラ削リ		20%
26	土師器	皿	— — (4.0)	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		20%
27	土師器	甕	— (31.8) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
28	土師器	甕	— (19.0) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
29	土師器	甕	— 14.0 —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%

表12　11号住居址遺物観察表（図16.17.36）

1	土師器	坏	(4.5)(11.1)(4.8)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		10%

表13　12号住居址遺物観察表（図18.19.37.38.39）

1	土師器	坏	4.2 15.4 6.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　暗文	60%
2	土師器	坏	3.8 12.8 5.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		70%
3	土師器	坏	(3.5) 15.0 —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書　内黒	20%
4	土師器	坏	(3.9) 11.6 —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		35%
5	土師器	甕	17.3 15.6 7.4	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ヨコ刷毛目 (底)回転糸切リ		80%
6	土師器	坏	4.8 — 5.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　暗文	70%
7	土師器	坏	4.3 15.4 6.8	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	50%
8	土師器	坏	5.5 15.6 (6.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		30%
9	土師器	坏	4.4 11.8 5.4	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		50%
10	土師器	坏	(4.8) 15.1 4.2	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ磨キ	内黒　高台	60%
11	土師器	坏	(4.0)(11.0) —	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ロクロナデ、ヘラ磨キ (外)ロクロナデ		30%
12	土師器	坏	(3.3)(16.0) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		10%
13	土師器	坏	(3.5)(16.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
14	土師器	坏	(3.2)(14.0) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
15	土師器	坏	(4.0) 14.8 —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	30%
16	土師器	坏	(3.5) 11.6 —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)糸切リ		20%
17	土師器	坏	(2.7)(14.0) —	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		15%
18	土師器	坏	(3.0)(12.0) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書	10%
19	土師器	坏	(4.1)(16.6) —	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書・内黒 暗文	20%
20	土師器	坏	(4.2)(13.4) —	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
21	土師器	坏	(3.2)(12.8) —	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
22	土師器	坏	(4.0)(17.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
23	土師器	坏	(3.6)(12.8) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	35%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
24	土師器	坏	(4.4)(7.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	40%
25	土師器	坏	(2.8)(12.4) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒 口縁に溝	10%
26	土師器	坏	— — 5.2	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	20%
27	土師器	坏	— — 5.6	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	30%
28	土師器	坏	— — 5.4	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	20%
29	土師器	坏	— — 7.0	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	墨書 内黒	15%
30	土師器	坏	— — 5.0	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	30%
31	土師器	坏	— — 6.0	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	内黒	30%
32	土師器	皿	3.0 13.0 6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)糸切り、ヘラ削り		90%
33	土師器	皿	2.8 13.2 5.2	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	内黒	90%
34	土師器	皿	2.7 13.0 5.4	スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
35	土師器	皿	2.6 14.0 5.0	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
36	土師器	皿	2.5 13.8 —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		30%
37	土師器	皿	2.8 13.2 4.4	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		50%
38	土師器	皿	(2.0)(13.2) —	石英・長石・雲母 スコリア	茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
39	土師器	皿	(2.0)(14.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	薄茶色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		15%
40	土師器	皿	(2.3)(13.6) —	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
41	土師器	皿	(2.2)(14.0) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	10%
42	土師器	皿	(2.3)(13.2) —	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書	15%
43	土師器	皿	(2.2)(12.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り	墨書	20%
44	土師器	甕	14.2 13.2 6.0	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		40%
45	土師器	甕	9.2 10.8 5.0	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		30%
46	土師器	甕	— — 7.2	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り		10%
47	土師器	鉢	13.3 16.4 7.6	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		45%
48	土師器	鉢	— 25.2 —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		15%
49	土師器	鉢?	— — 9.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		10%
50	灰釉陶器	蓋	3.2 14.6 —	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		50%
51	灰釉陶器	坏	6.8 18.4 9.4	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	高台	30%
52	灰釉陶器	坏	(4.2)(18.4) —	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
53	灰釉陶器	鉢	— — 9.0	白色粒	明緑色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	高台	15%

表14　13号住居址遺物観察表（図20.40）

1	土師器	坏	4.2 13.2 4.8	石英・長石・雲母 スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		90%
2	土師器	坏	(3.8)(11.8) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ飾り	暗文	10%
3	土師器	坏	(3.8)(16.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄灰褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒 暗文	15%
4	土師器	坏	(2.8)(11.6) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書 暗文	10%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
5	土師器	坏	(3.6)(12.4) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	10%
6	土師器	坏	(3.4)(13.6) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%
7	土師器	坏	— — (6.6)	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)糸切リ	暗文	20%
8	土師器	皿	(2.2)(15.2) —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	10%
9	土師器	皿	(2.0)(14.8) —	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		8%

表15　14号住居址遺物観察表（図11.41）

1	土師器	坏	5.3 14.6 6.6	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)糸切リ、ヘラ削リ	暗文	90%

表16　15号住居址遺物観察表（図11.42.43）

1	土師器	坏	(3.7)(11.2)(5.6)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	暗文	25%
2	土師器	坏	— (16.8) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
3	土師器	坏	(3.8)(12.8) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	15%
4	土師器	坏	(4.0)(14.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
5	土師器	坏	(3.5)(13.4) —	石英・長石・雲母 スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
6	土師器	坏	(3.1)(13.0) —	石英・長石・雲母	灰褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	20%
7	土師器	坏	4.2 12.1 5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)糸切リ、ヘラ削リ		70%
8	土師器	坏	— — (5.4)	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	小片
9	土師器	甕	— — (6.2)	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、クシ目 (底)糸切リ		10%

表17　表　採　遺物観察表（図44）

1	土師器	坏	4.0 10.8 4.6	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)糸切リ、ヘラ削リ	暗文	80%
2	土師器	坏	4.0 12.8 5.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ		小片
3	土師器	坏	(3.0)(12.0) —	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	墨書	15%
4	土師器	坏	(4.2)(13.6) —	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ロクロナデ、クシ目 (外)ロクロナデ	内黒	20%
5	土師器	坏	— — (5.0)	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)糸切リ、ヘラ削リ		30%
6	土師器	坏	— — (6.6)	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)糸切リ	内黒	30%
7	土師器	坏	— — (5.6)	石英・長石・雲母	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	40%
8	土師器	皿	2.5 12.5 5.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	80%
9	灰釉陶器	坏	— — (9.6)	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	高台	20%

表18　調査区北遺物観察表（図45）

1	須恵器	壺	— — —	白色粒・黒色粒	灰白色	(内)ロクロナデ、ヘラ調整 (外)ロクロナデ、クシ目		10%
2	須恵器	壺	— (39.4) —	白色粒	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		5%
3	土師器	蓋	4.4 16.0 —	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	暗文	95%
4	土師器	甕	— 25.4 —	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		5%

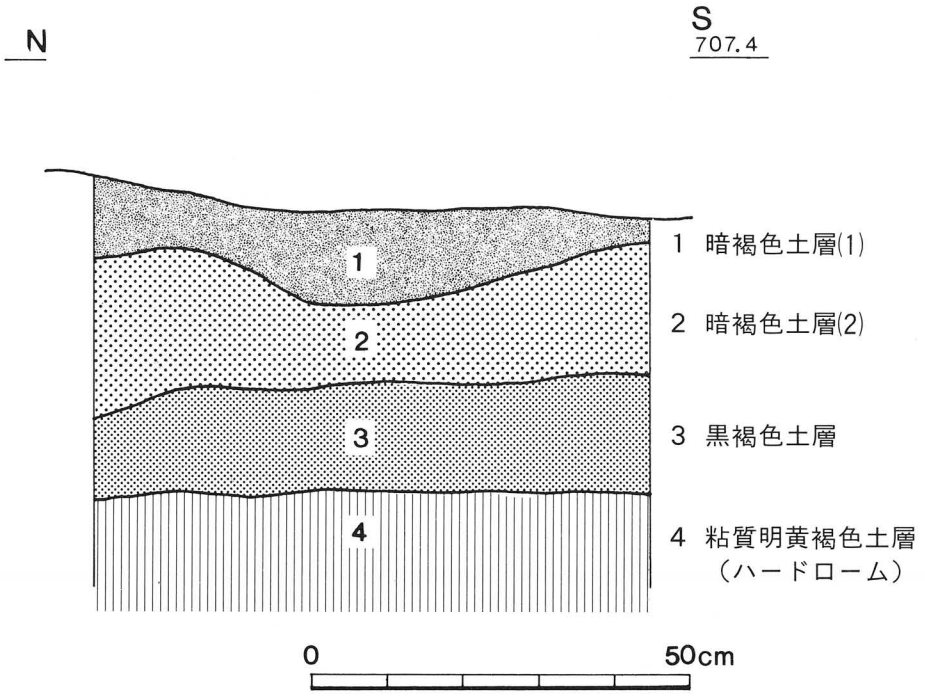


図５　基本層序

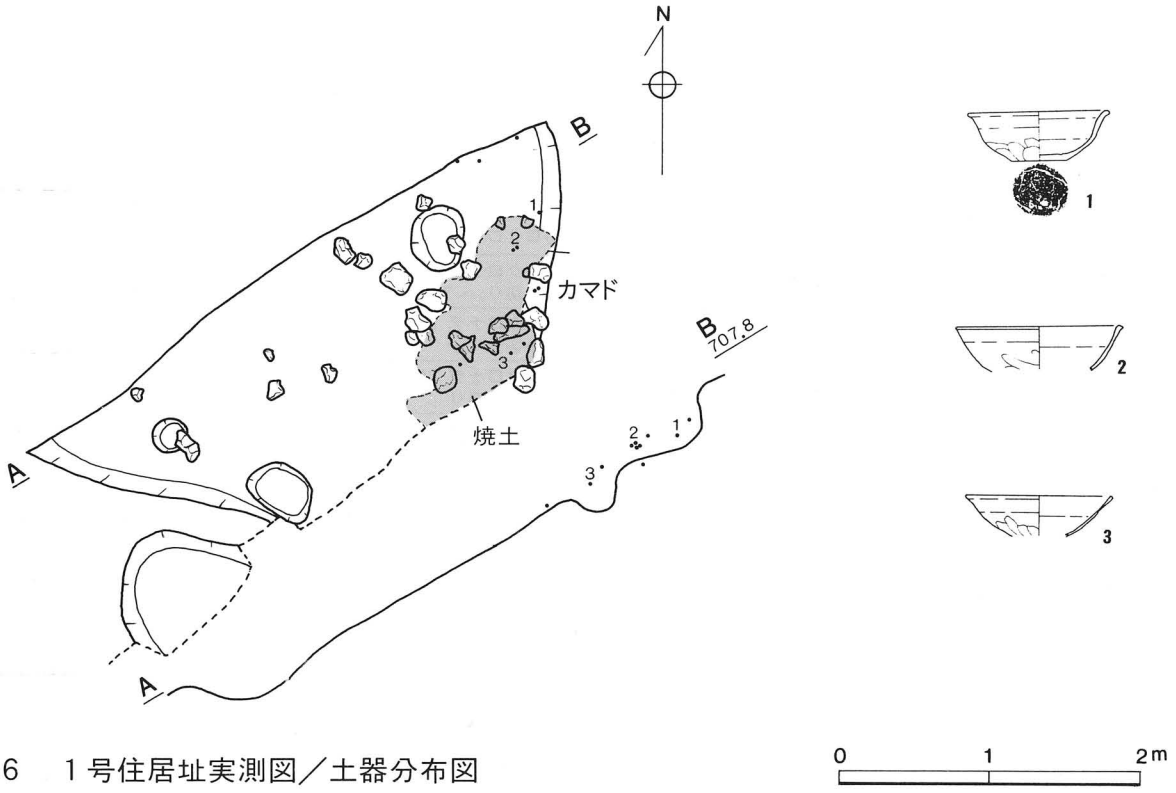
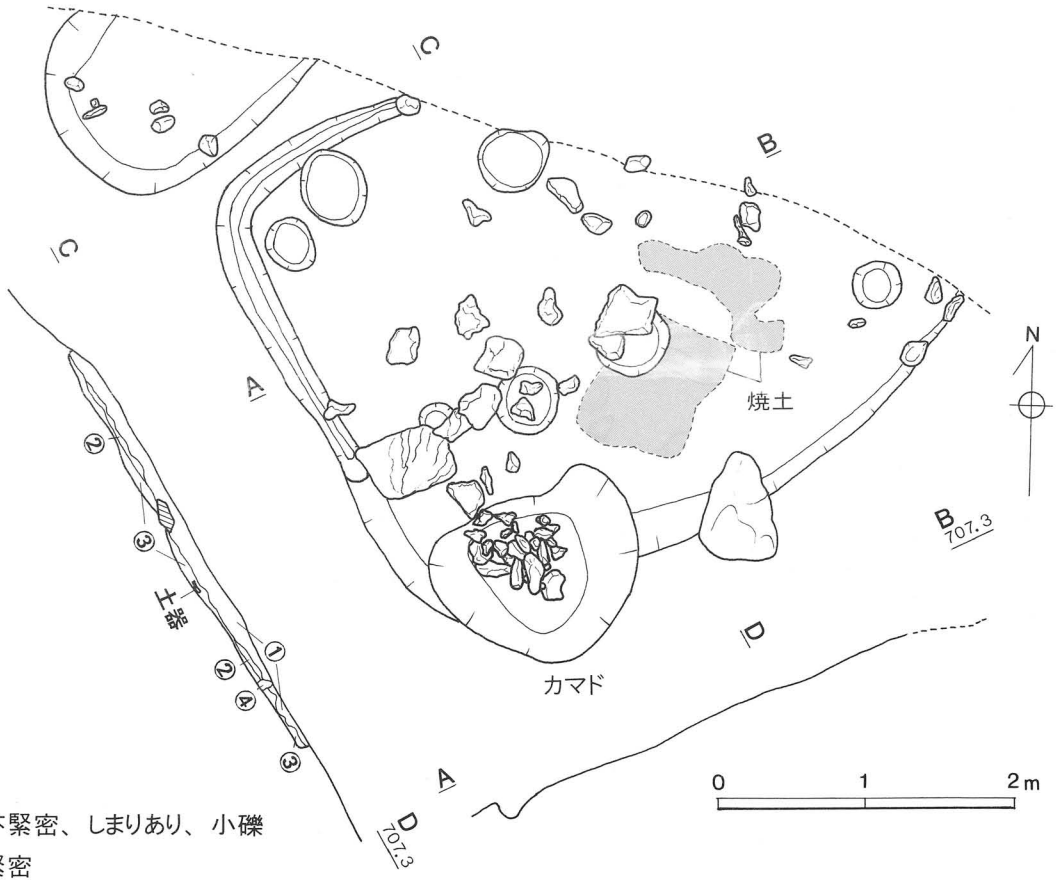


図６　１号住居址実測図／土器分布図



① 暗褐色土、不緊密、しまりあり、小礫
② 黒褐色土、緊密
③ 黄褐色土、ローム多量、不緊密、しまりあり
④ ロームブロック混入、不緊密、しまりあり

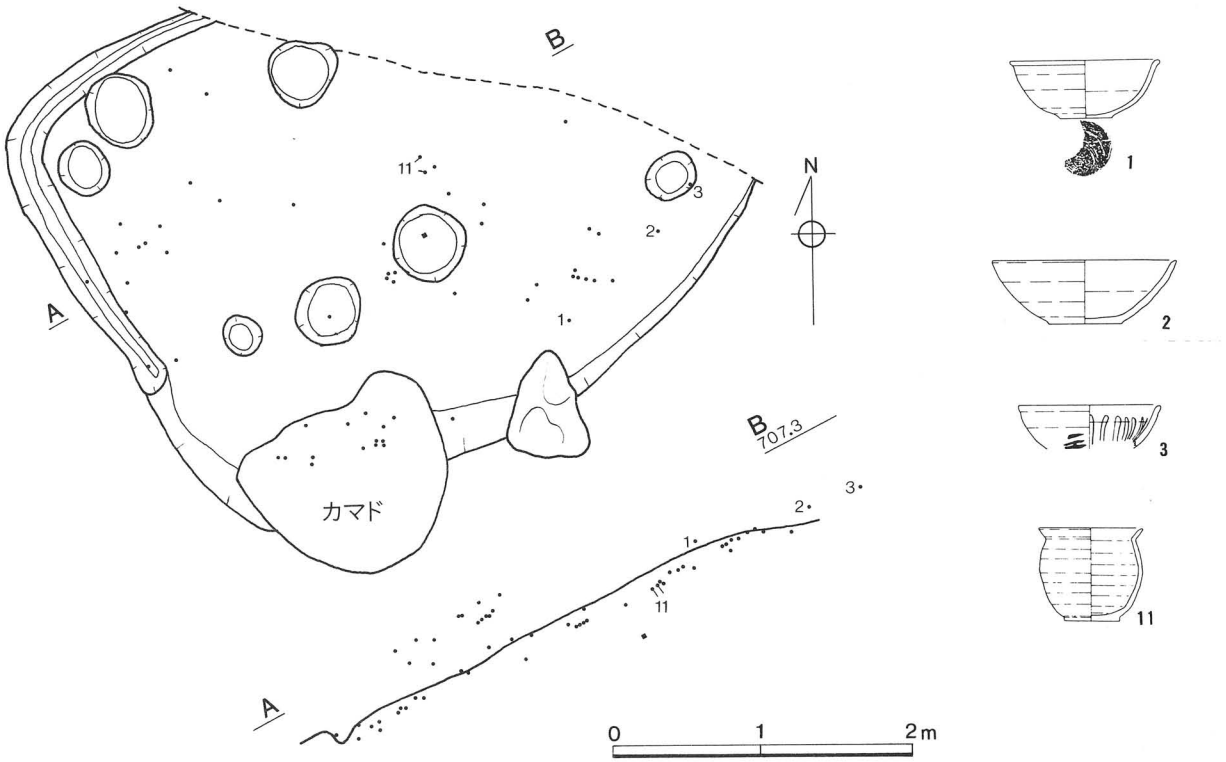
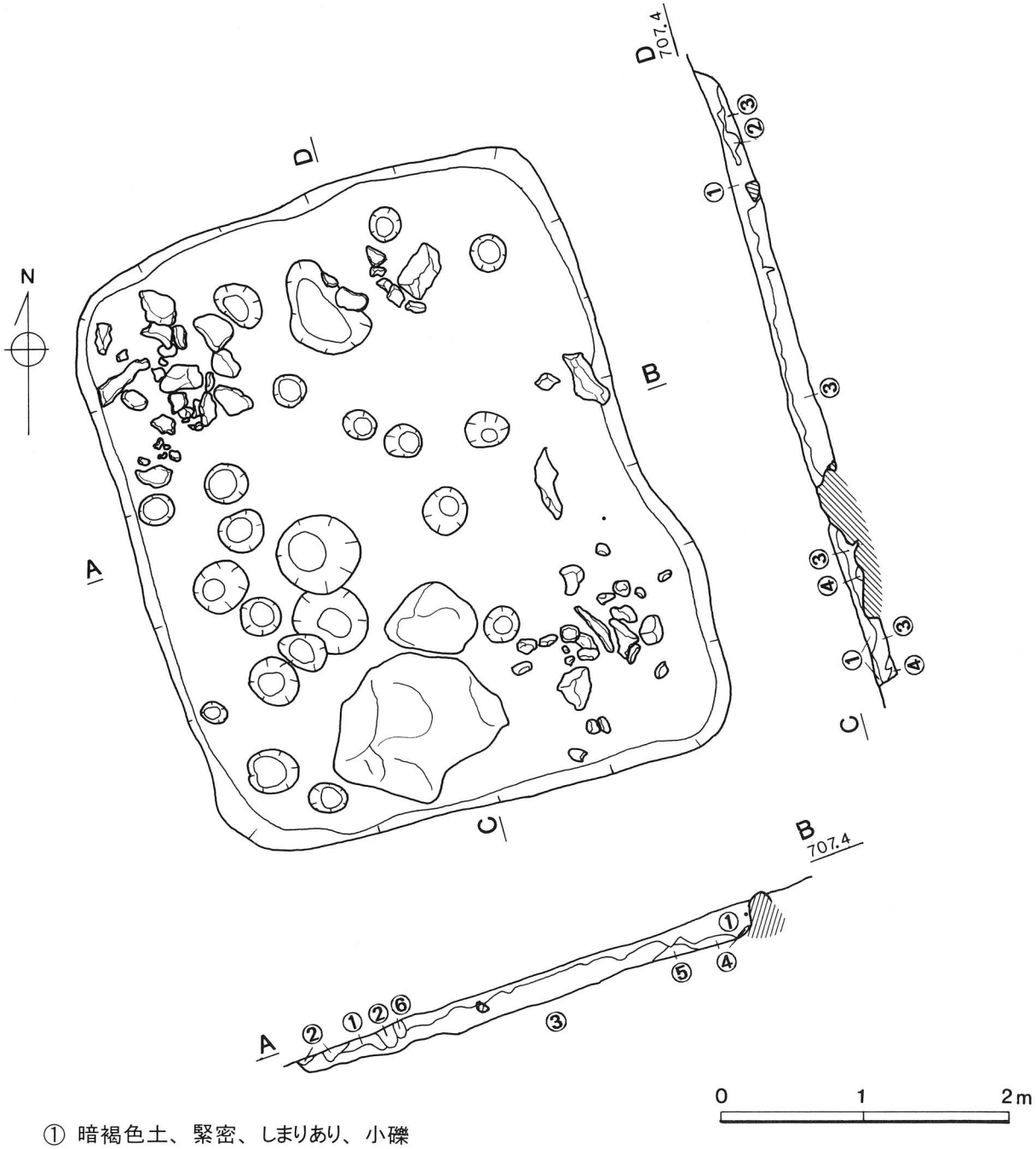
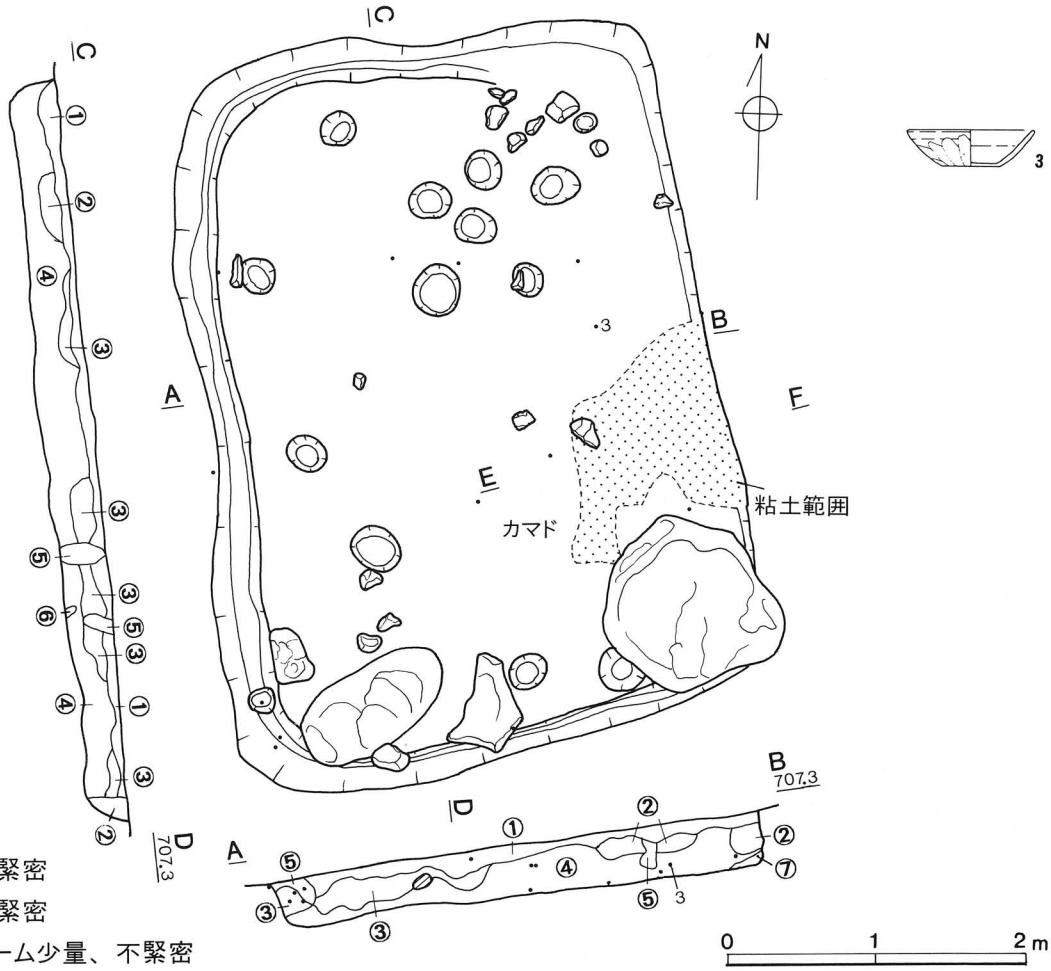


図７　２号住居址実測図／土器分布図

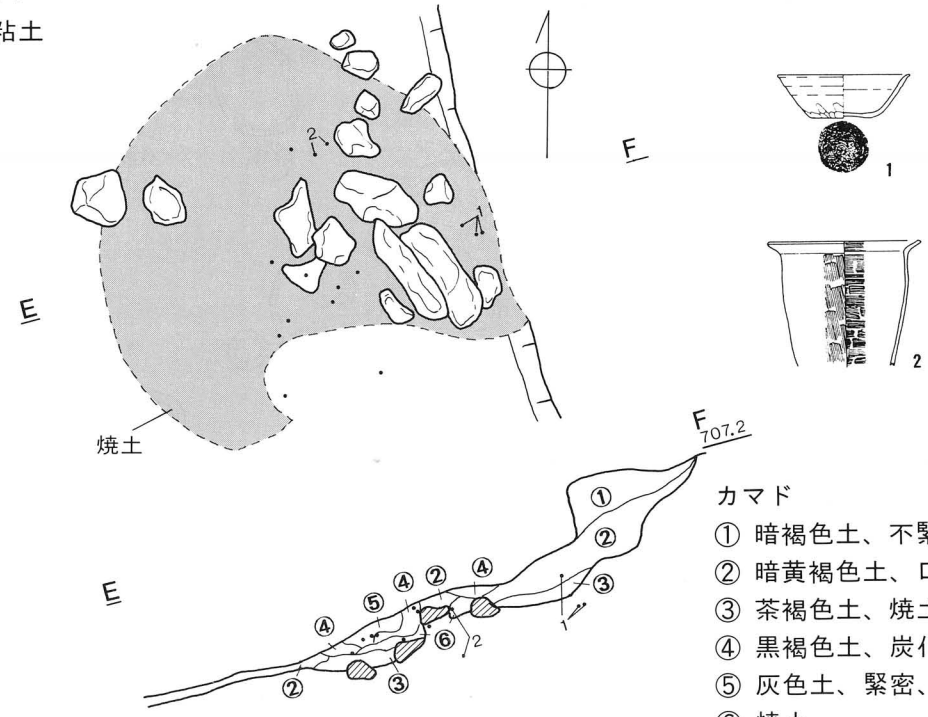


① 暗褐色土、緊密、しまりあり、小礫
② 黒褐色土、緊密、礫
③ 黄褐色土、ローム多量、不緊密、しまりなし
④ 黄褐色土、炭化物少量、緊密、しまり非常に強い、礫多量
⑤ 黒褐色土、ローム少量、不緊密
⑥ 暗褐色土、不緊密

図８　３号住居址実測図



① 暗褐色土、不緊密
② 黒褐色土、不緊密
③ 黒褐色土、ローム少量、不緊密
④ 黄褐色土、ローム少量、緊密、しまりあり
⑤ 黒褐色土、不緊密、しまりなし、礫
⑥ ロームブロック
⑦ 灰白色、粘土



カマド
① 暗褐色土、不緊密
② 暗黄褐色土、ローム少量
③ 茶褐色土、焼土混入
④ 黒褐色土、炭化物・焼土混入
⑤ 灰色土、緊密、白色粘土混入
⑥ 焼土

図９　４号住居址・カマド実測図／土器分布図

0　1m

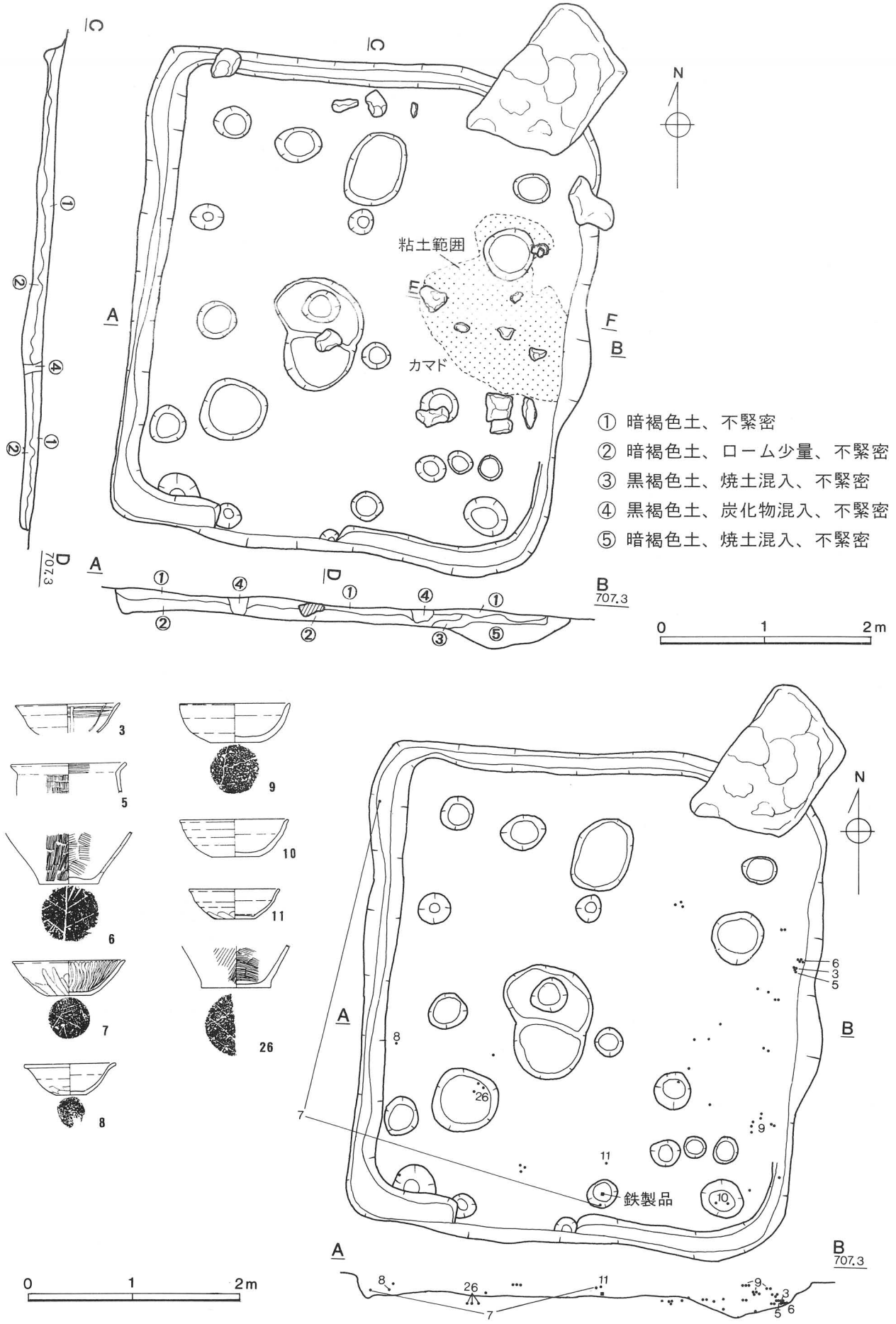
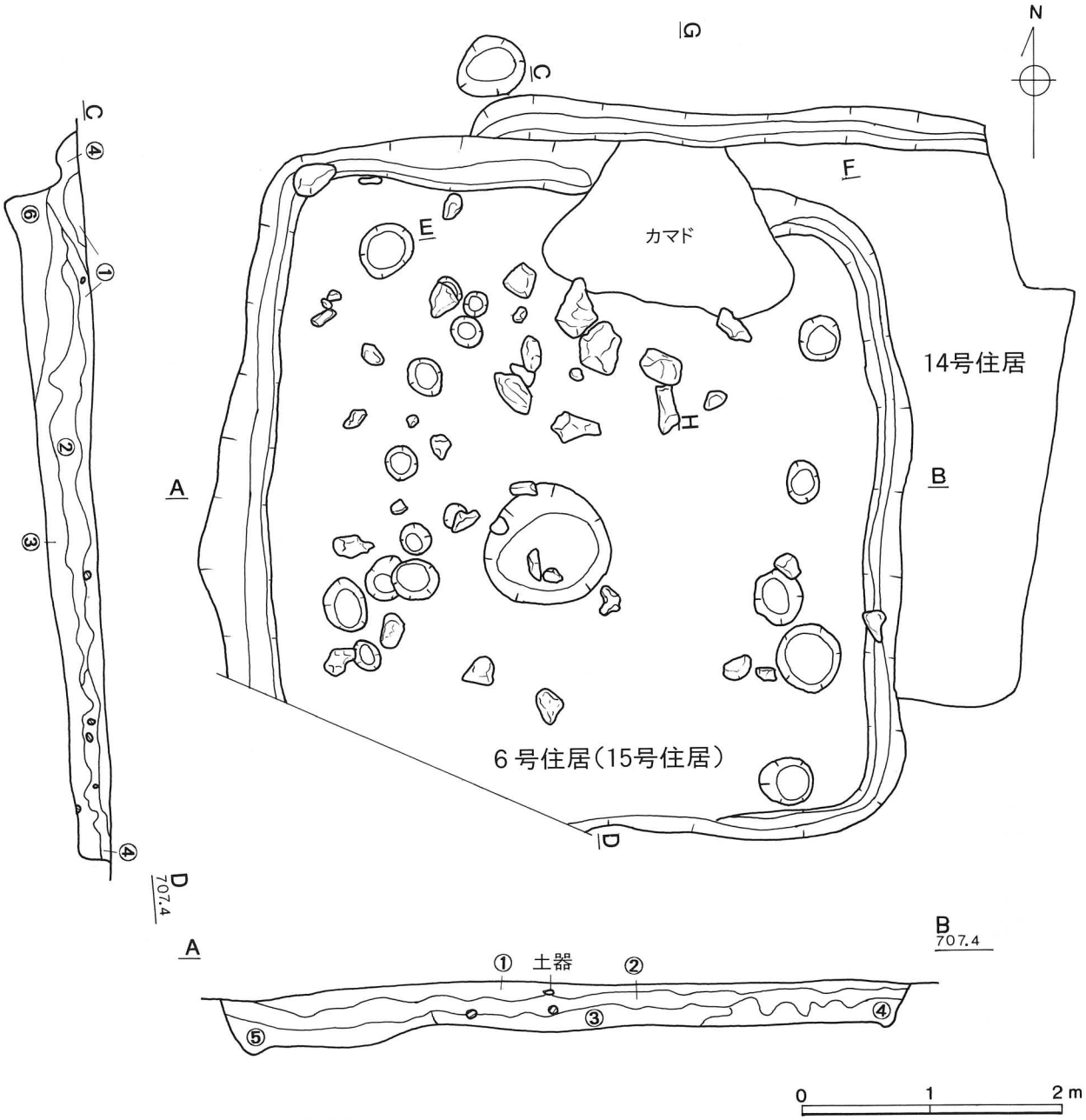


図10　5号住居址実測図／土器分布図



① 暗褐色土、不緊密
② 暗褐色土、ローム少量、焼土混入、不緊密
③ 黒褐色土、ローム微量、不緊密
④ 黄褐色土、ローム少量、不緊密
⑤ 黄褐色土、ロームブロック混入、不緊密
⑥ 灰白色、粘土

図11　6号住居(15号住居)・14号住居址実測図

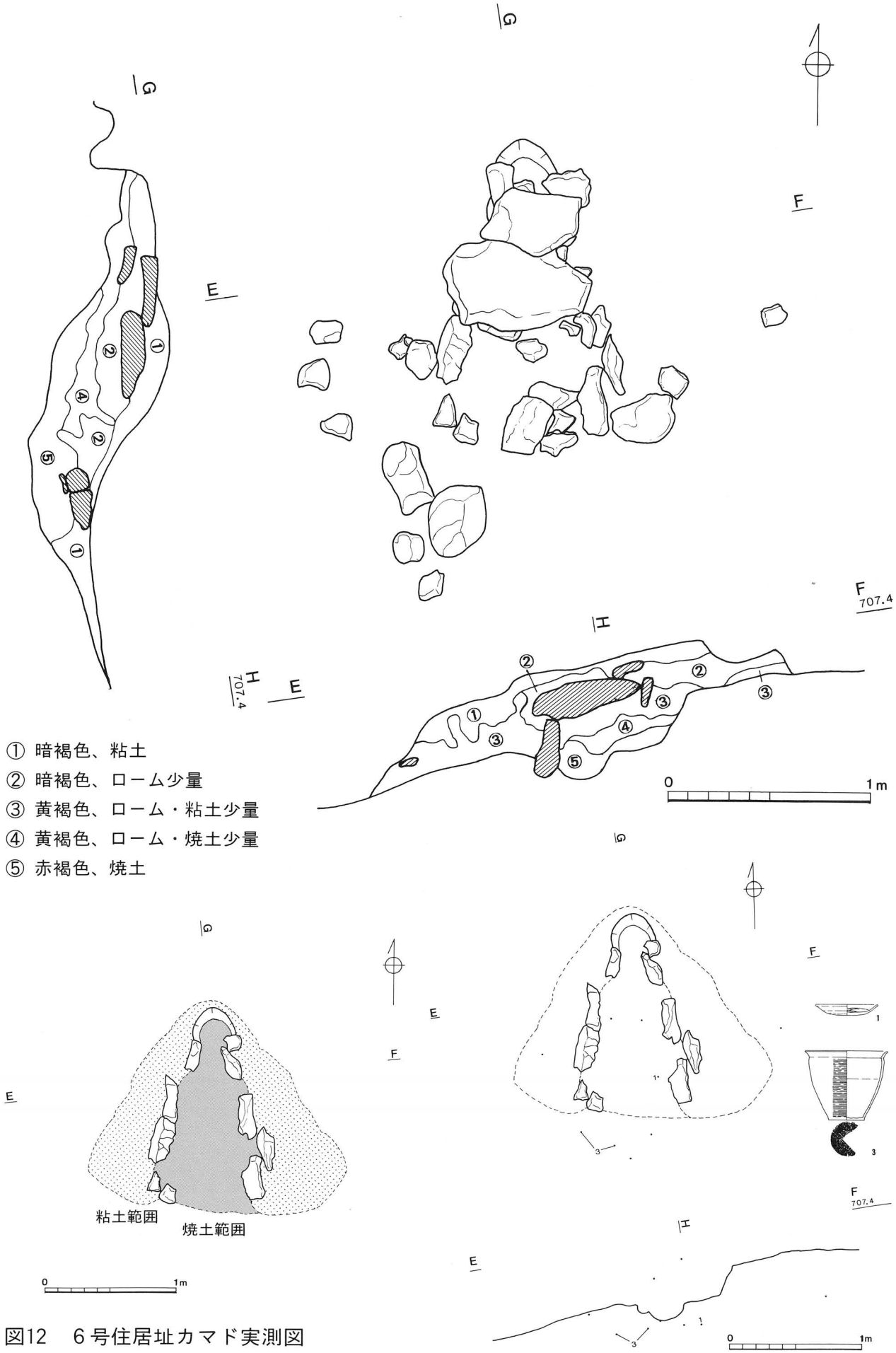


図12　6号住居址カマド実測図

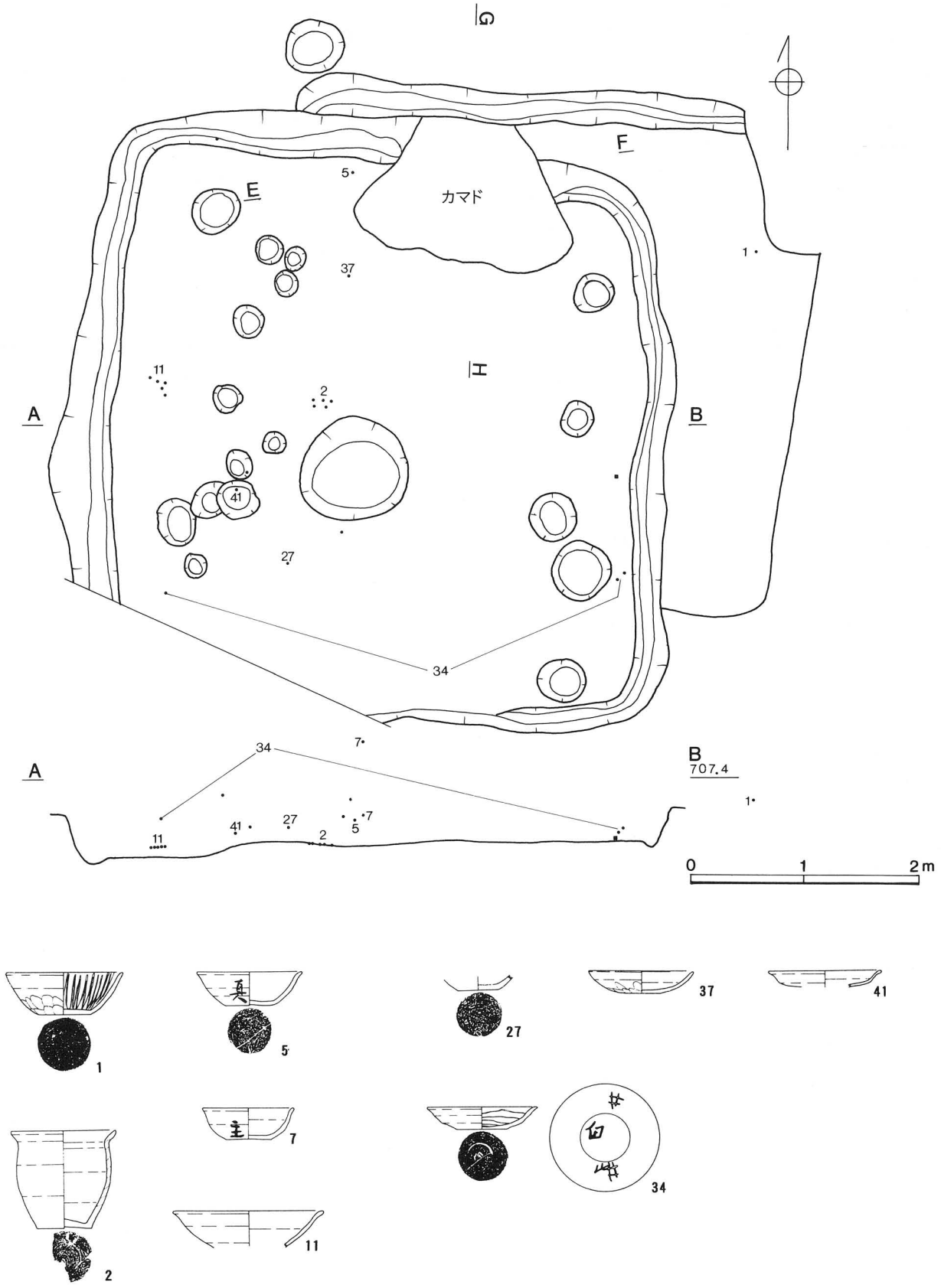
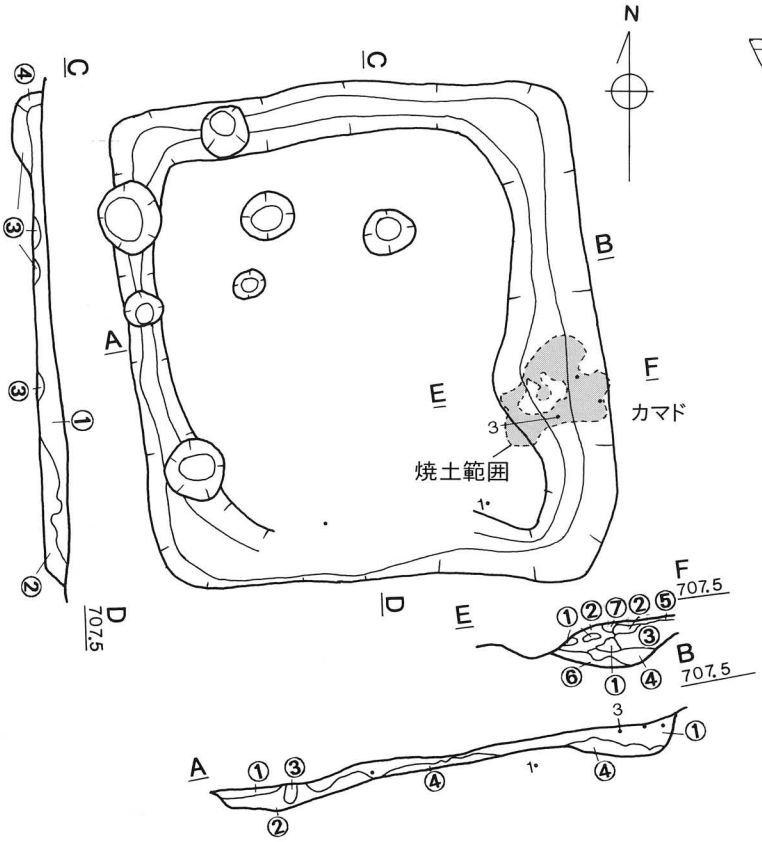
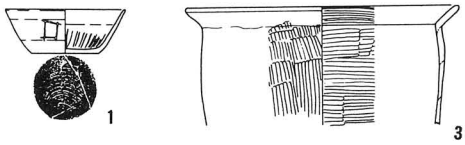


図13　６号住居址土器分布図



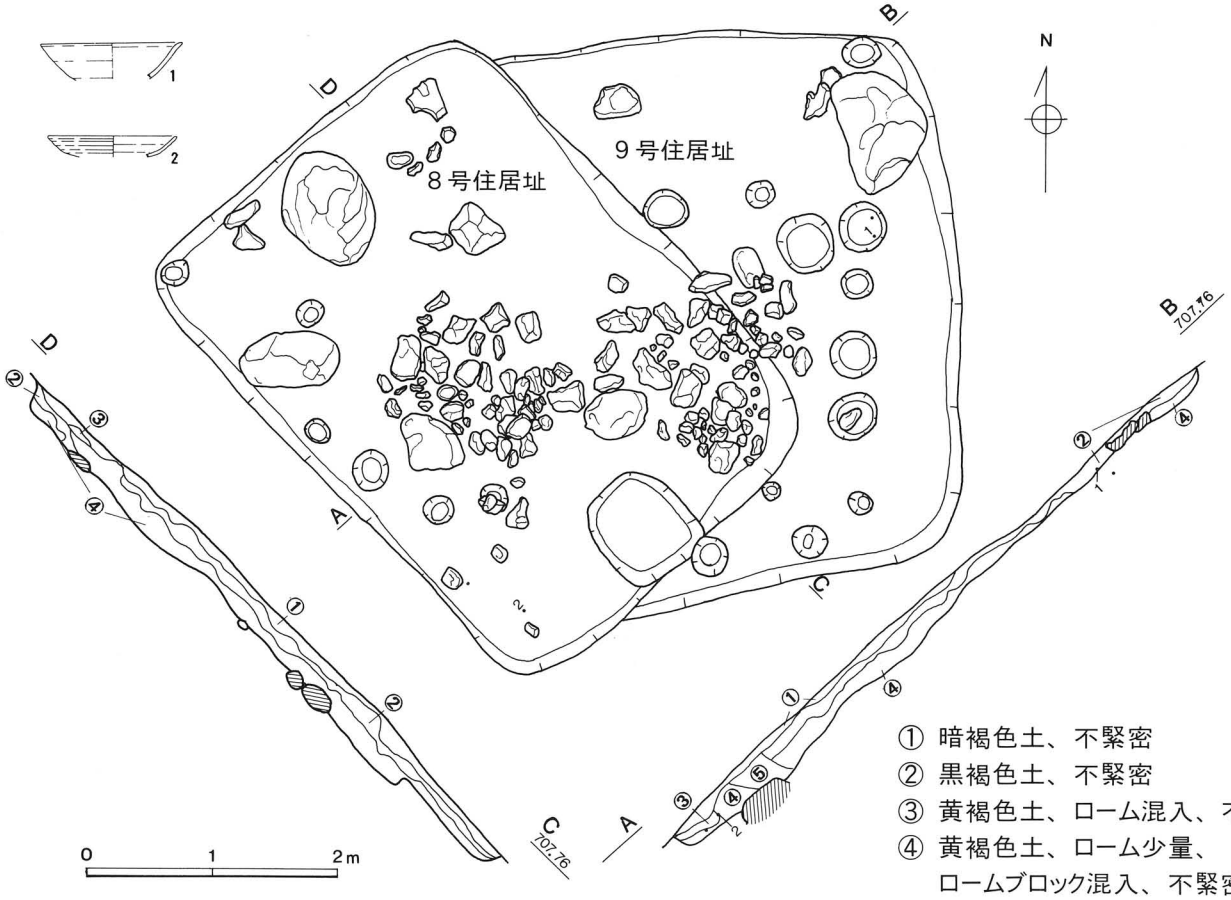


① 暗褐色土、不緊密
② 暗黄褐色土、ローム少量、不緊密
③ 黒褐色土、不緊密
④ 黄土色、不緊密

カマド
① 焼土
② 黄褐色土、ローム少量、焼土多量
③ 黄褐色土、ローム少量、焼土少量
④ 黄褐色土、ローム少量、焼土微量
⑤ 暗褐色土、不緊密
⑥ 黄褐色土、ローム少量
⑦ 黒褐色土、不緊密

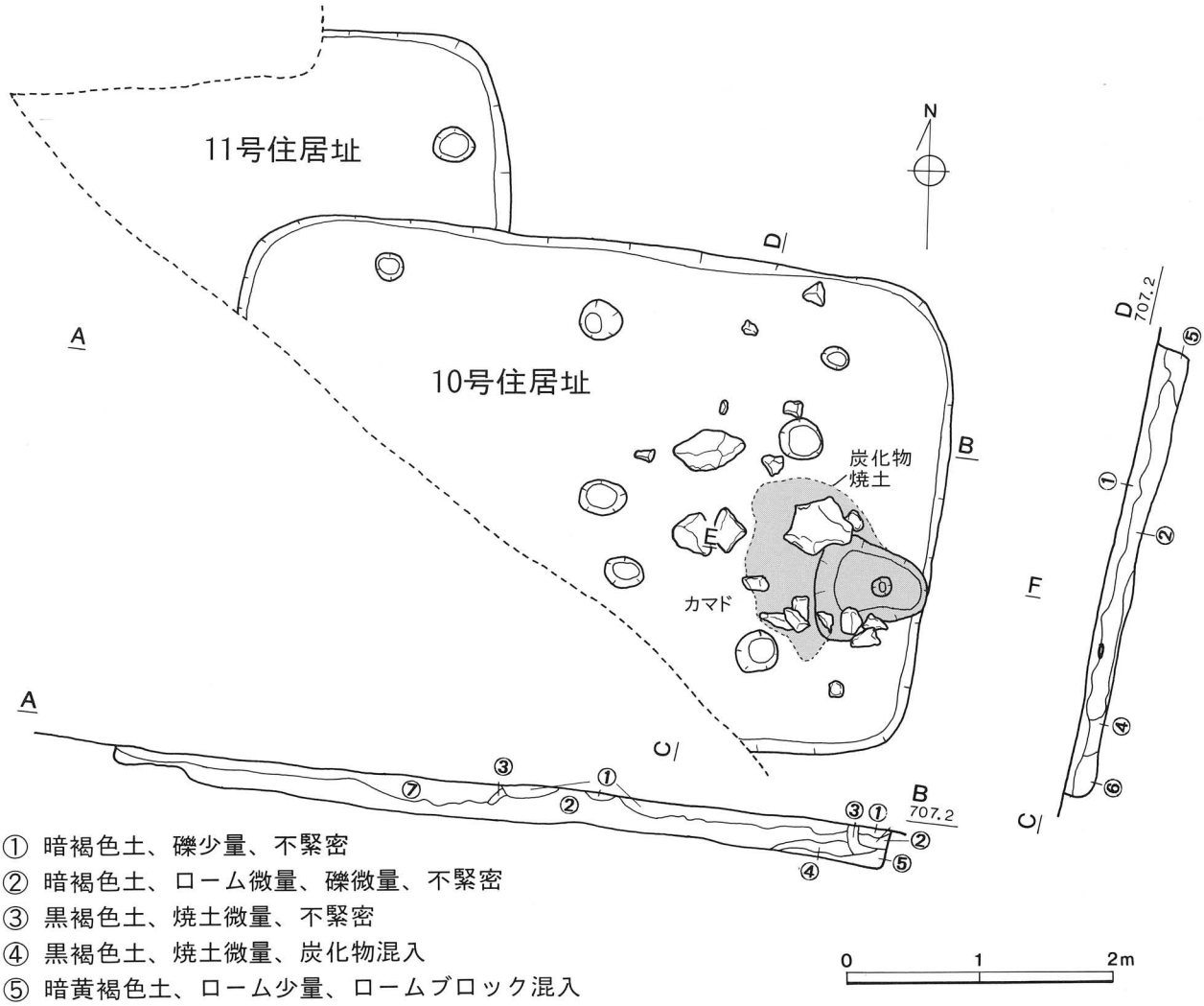
0 1 2m

図14　7号住居址実測図／土器分布図

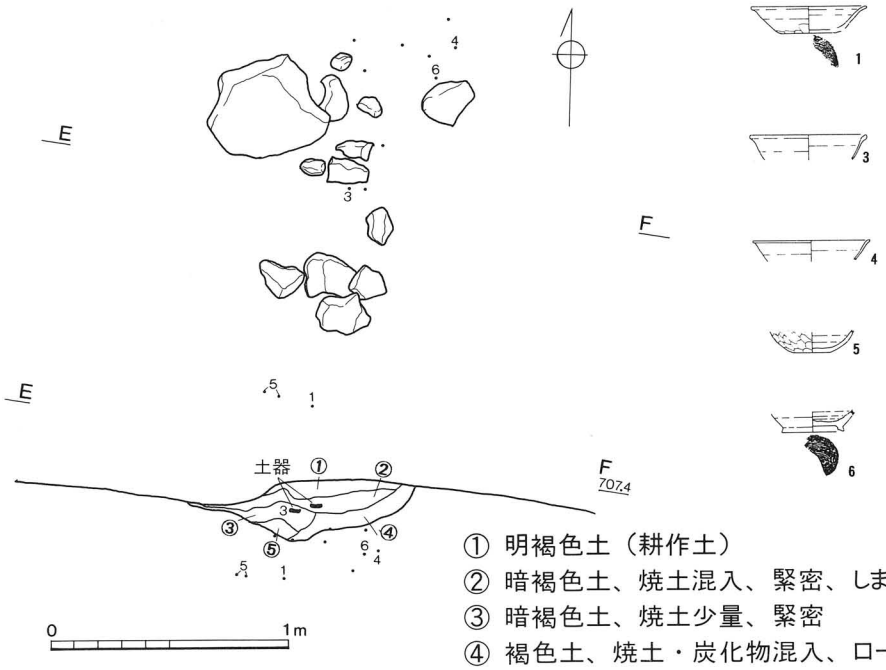


① 暗褐色土、不緊密
② 黒褐色土、不緊密
③ 黄褐色土、ローム混入、不緊密
④ 黄褐色土、ローム少量、
ロームブロック混入、不緊密
⑤ 黄褐色土、ロームブロック混入、
不緊密

図15　8号・9号住居址実測図／土器分布図



① 暗褐色土、礫少量、不緊密
② 暗褐色土、ローム微量、礫微量、不緊密
③ 黒褐色土、焼土微量、不緊密
④ 黒褐色土、焼土微量、炭化物混入
⑤ 暗黄褐色土、ローム少量、ロームブロック混入
⑥ 暗褐色土、不緊密
⑦ 黄褐色土、ローム少量、焼土微量、粘土ブロック混入



① 明褐色土（耕作土）
② 暗褐色土、焼土混入、緊密、しまりあり
③ 暗褐色土、焼土少量、緊密
④ 褐色土、焼土・炭化物混入、ロームブロック多量、しまりあり
⑤ 赤褐色土、焼土多量、緊密、しまりなし

図16　10号住居址・カマド実測図／11号住居址実測図

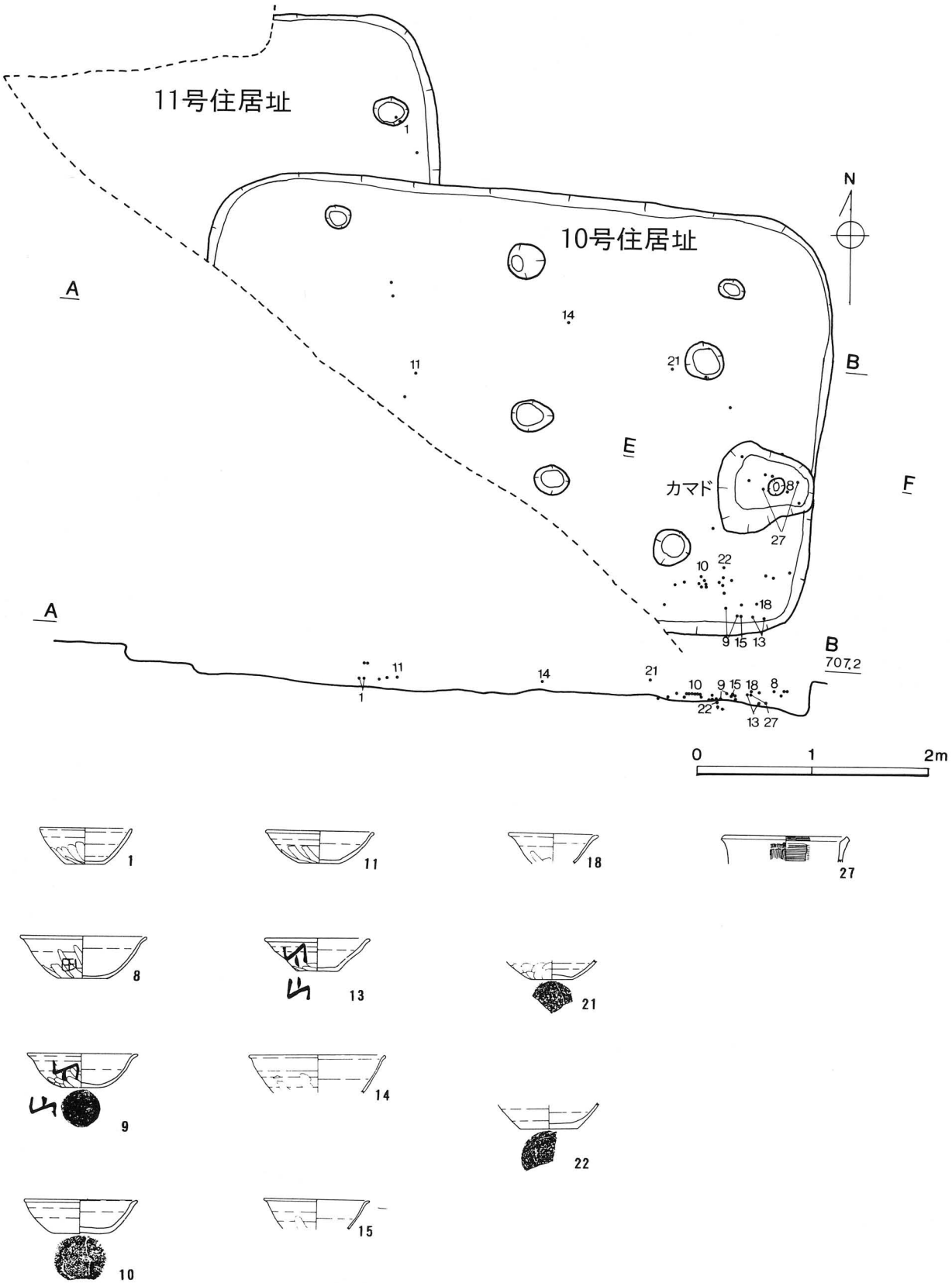
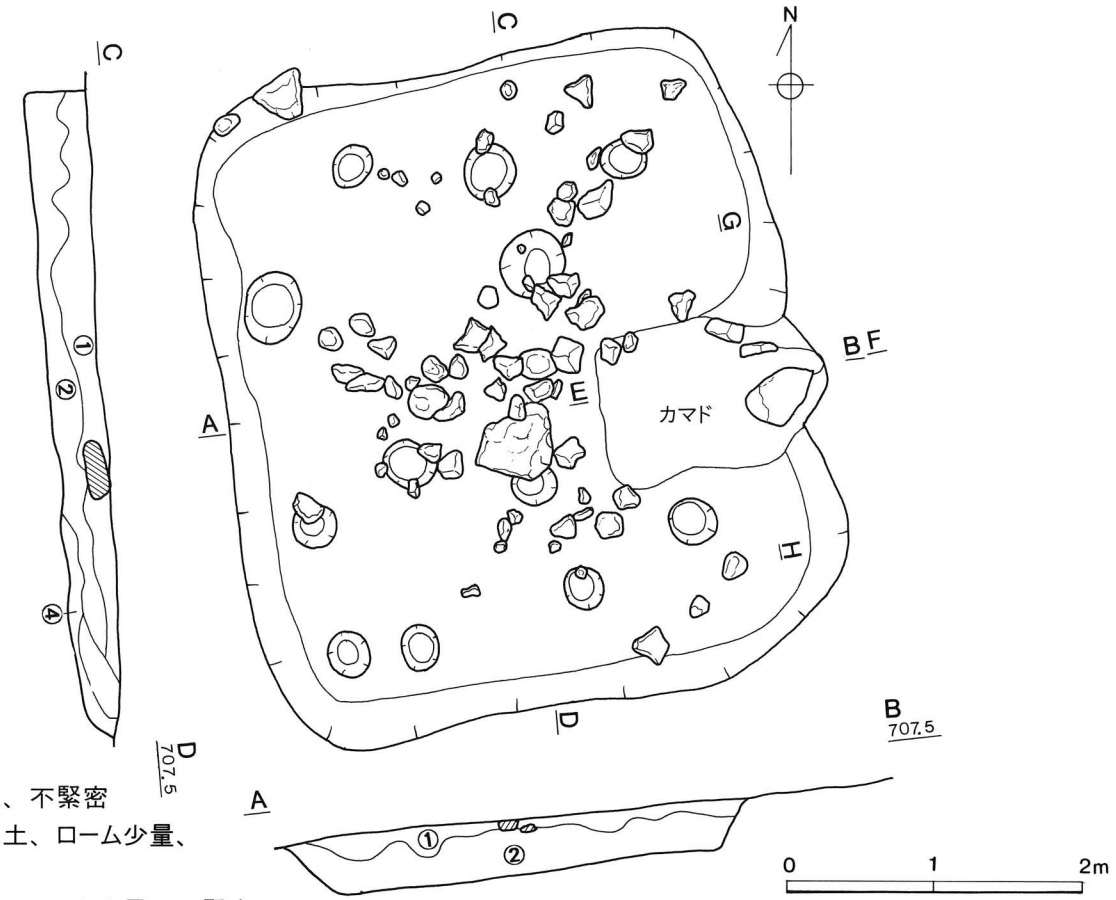
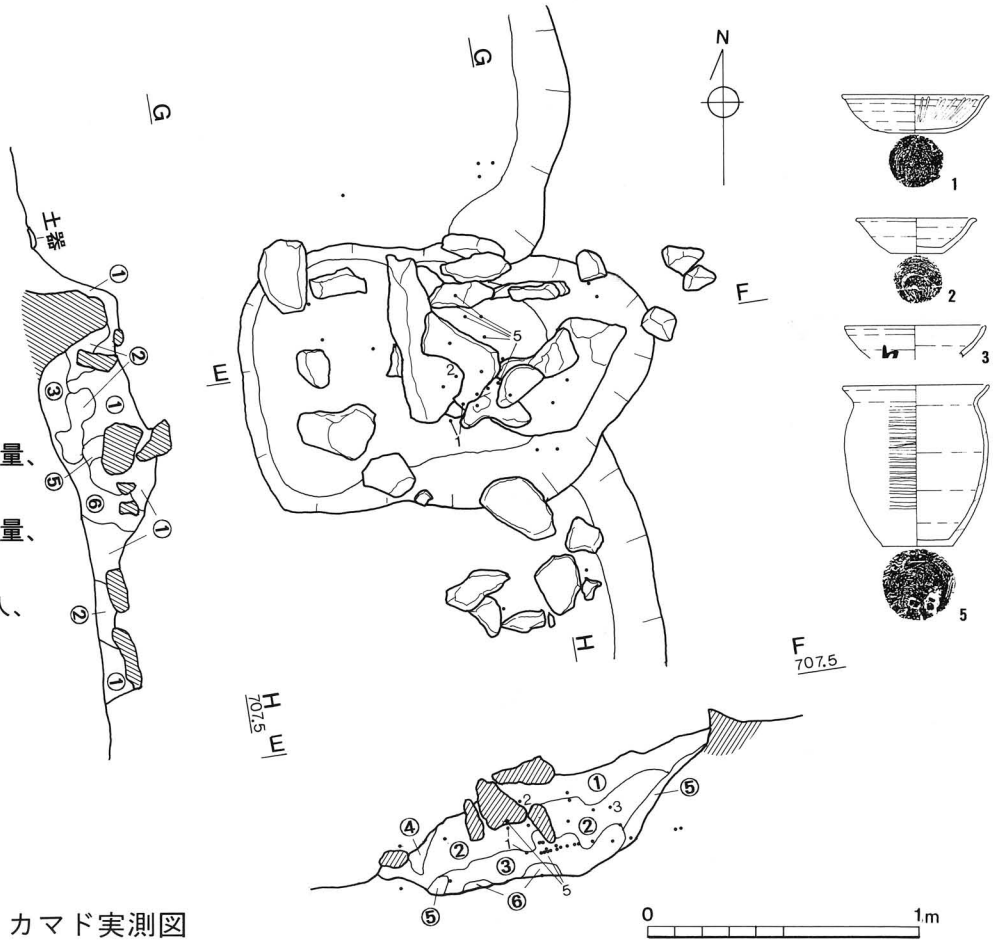


図17　10号・11号住居址土器分布図



① 暗褐色土、不緊密
② 暗黄褐色土、ローム少量、不緊密
③ 暗褐色土、ローム少量、不緊密
④ 黄褐色土、ローム少量、ロームブロック混入、不緊密



カマド
① 明褐色土、ローム少量、緊密、しまりあり
② 暗褐色土、ローム少量、不緊密、しまりなし
③ 暗褐色土、焼土混入、不緊密
④ 明褐色土、ローム炭化物混入、緊密
⑤ ロームブロック
⑥ 暗褐色土、緊密、しまりあり

図18　12号住居址・カマド実測図

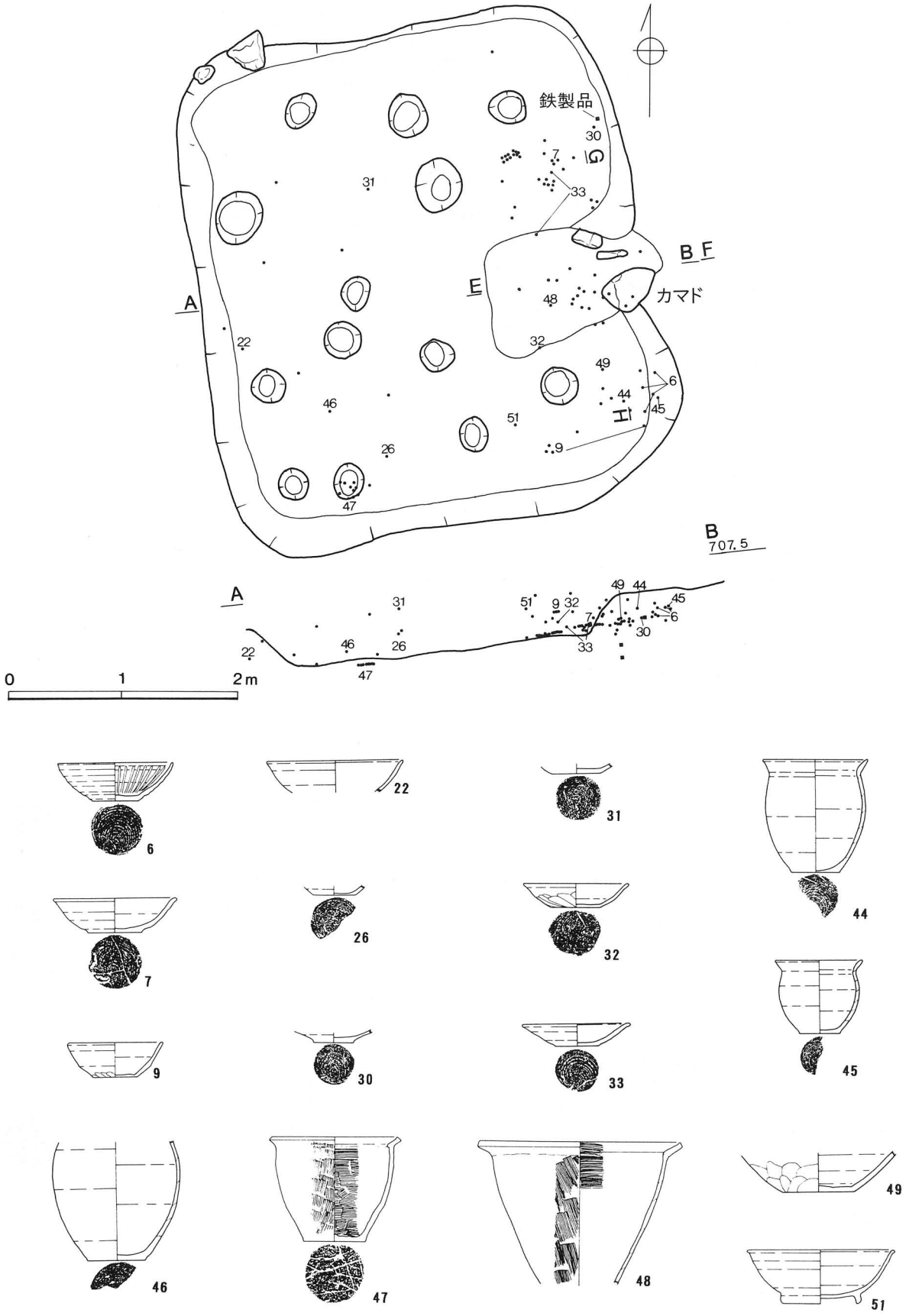
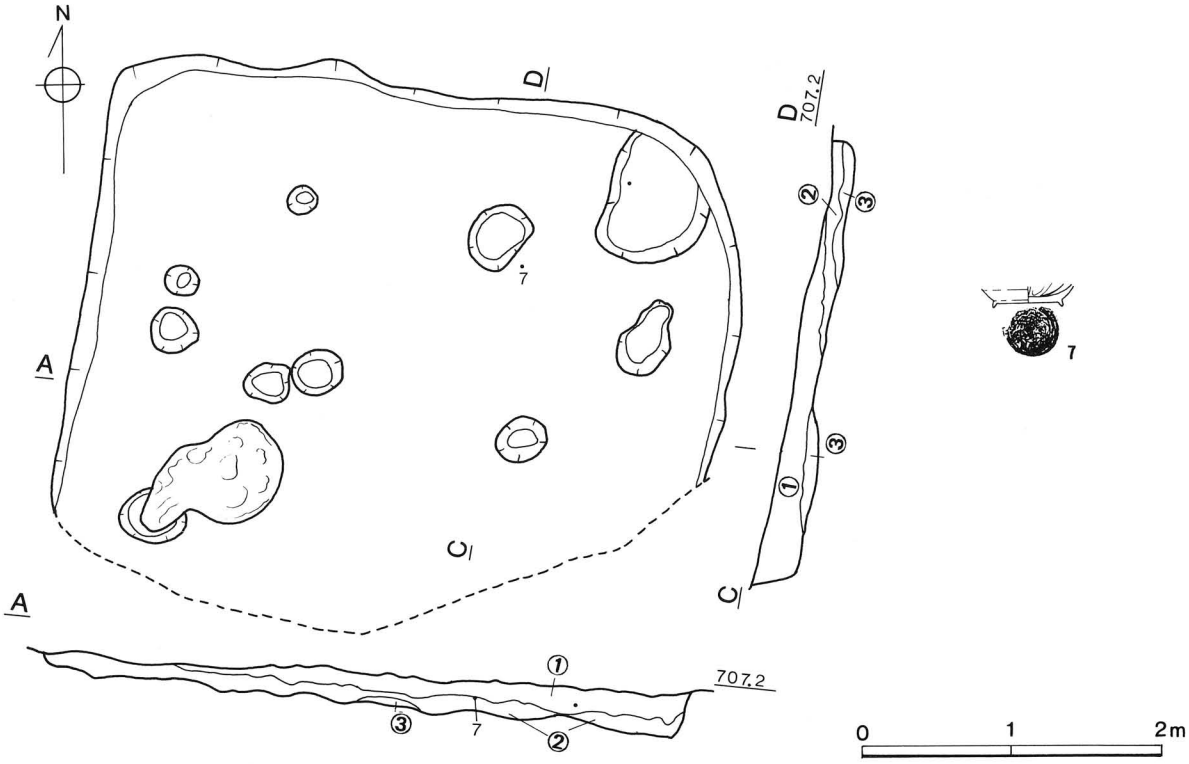
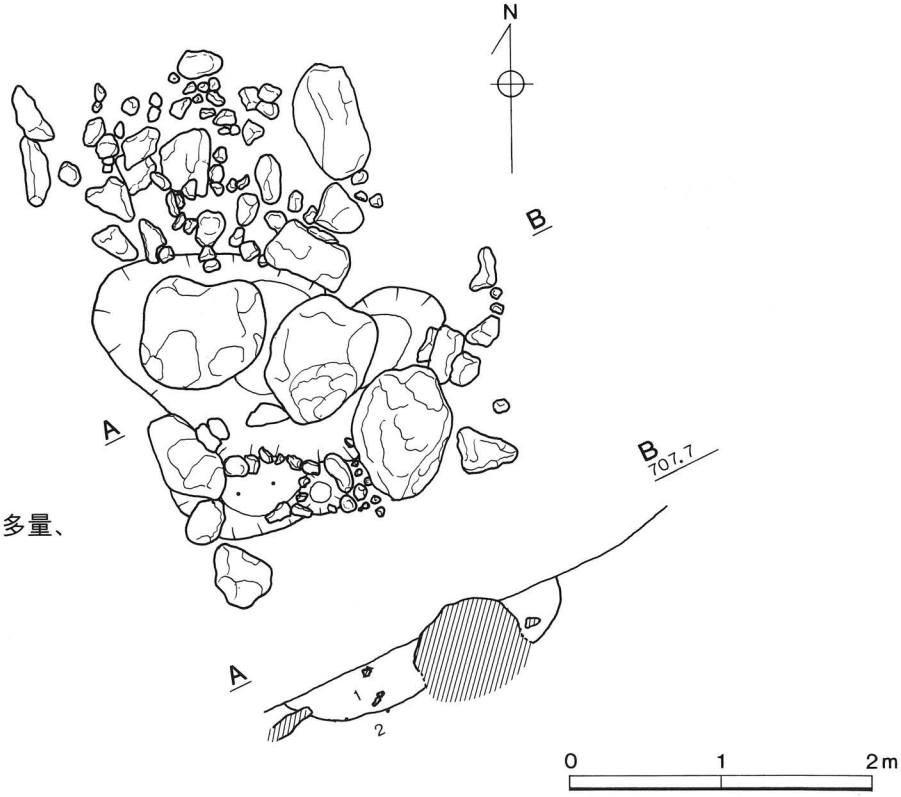


図19　12号住居址土器分布図



① 暗黄褐色土、ローム混入、不緊密
② 暗褐色土、ローム微量、不緊密
③ 黄土、ローム混入、不緊密

図20　13号住居址実測図／土器分布図



① 暗褐色土、ロームブロック多量、
緊密、しまりなし
② ローム(地山)礫多量

図21　1号集石遺構

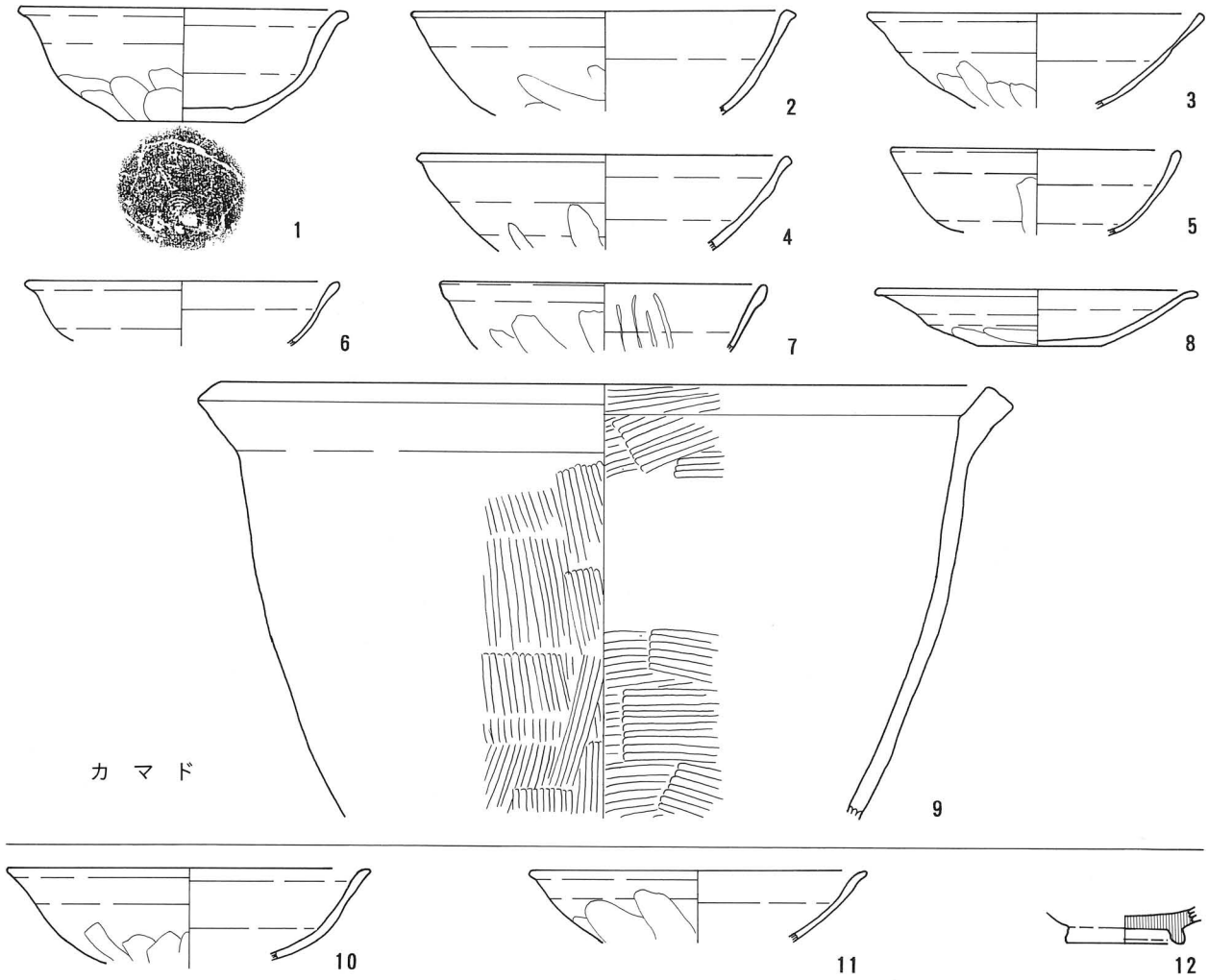


図22　1号住居址出土遺物〔1/3〕

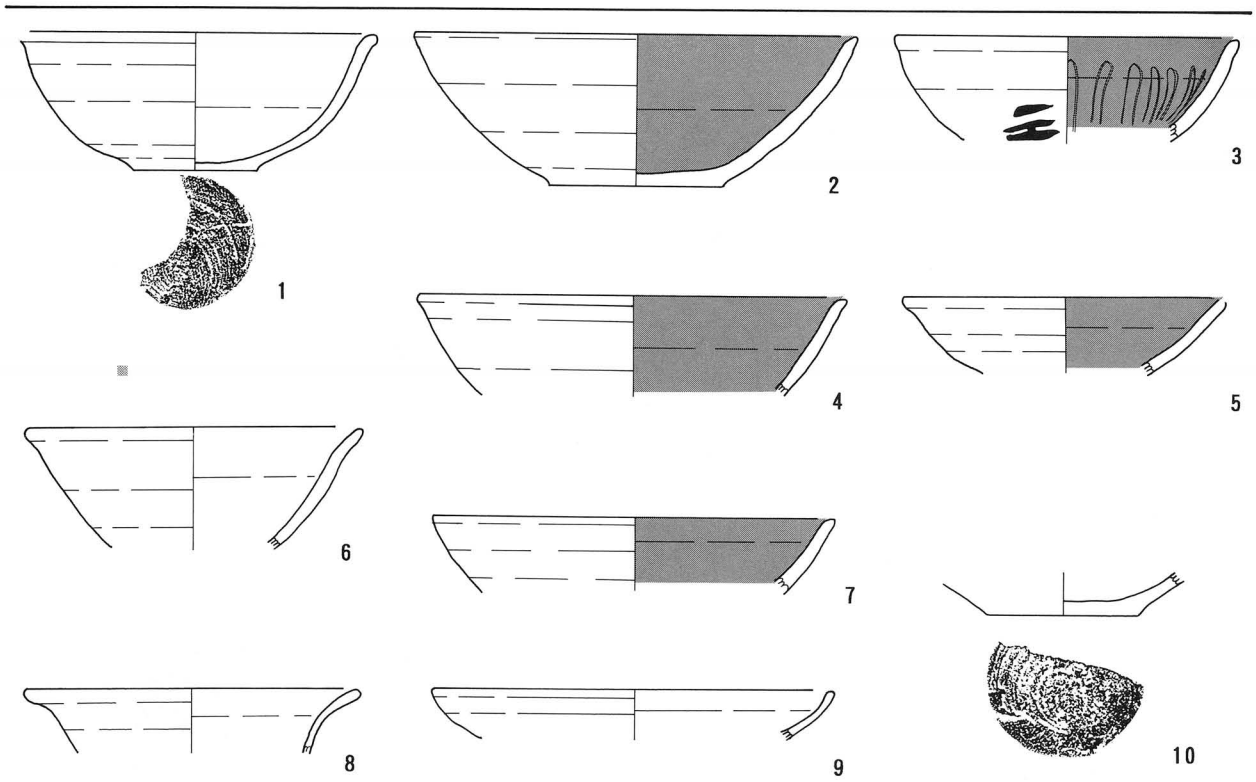


図23　2号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

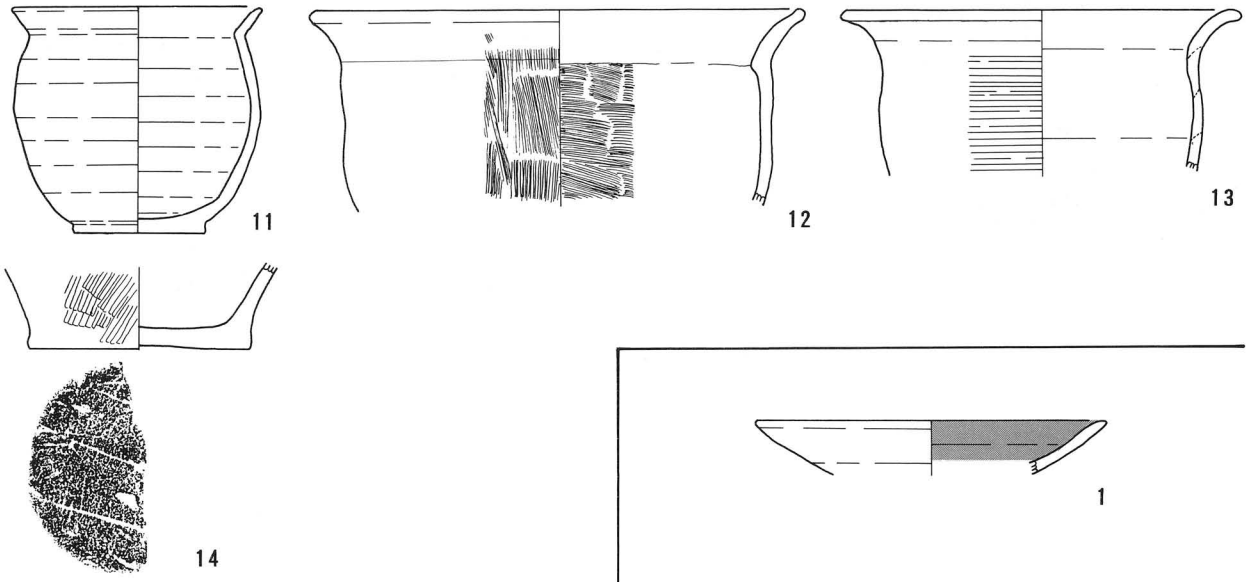


図24　２号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

図25　３号住居址出土遺物〔1/3〕

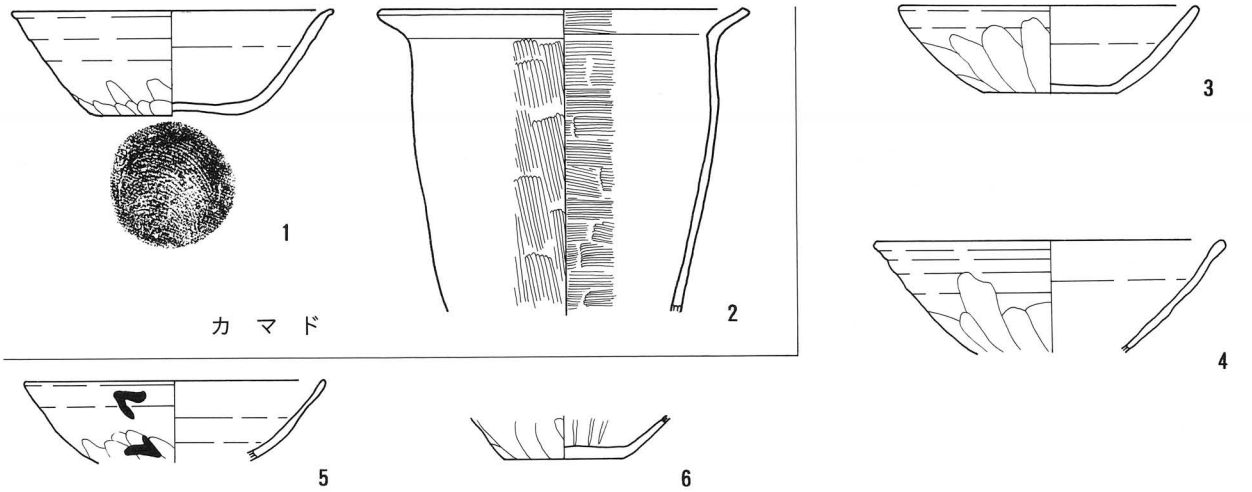


図26　４号住居址出土遺物〔1/3〕

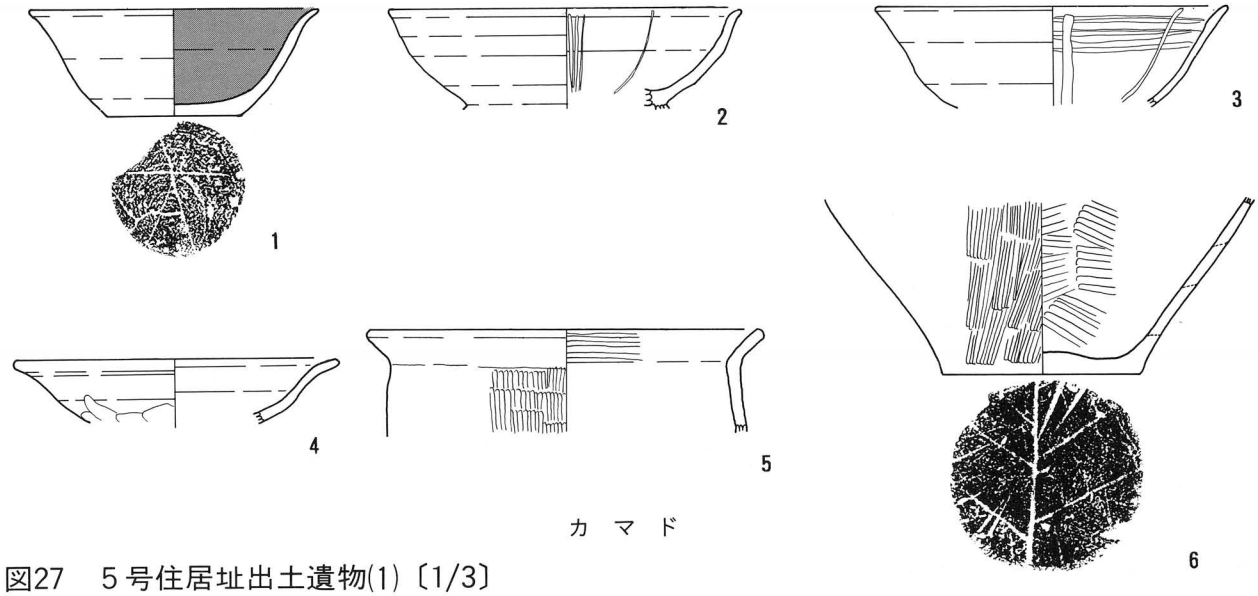


図27　５号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

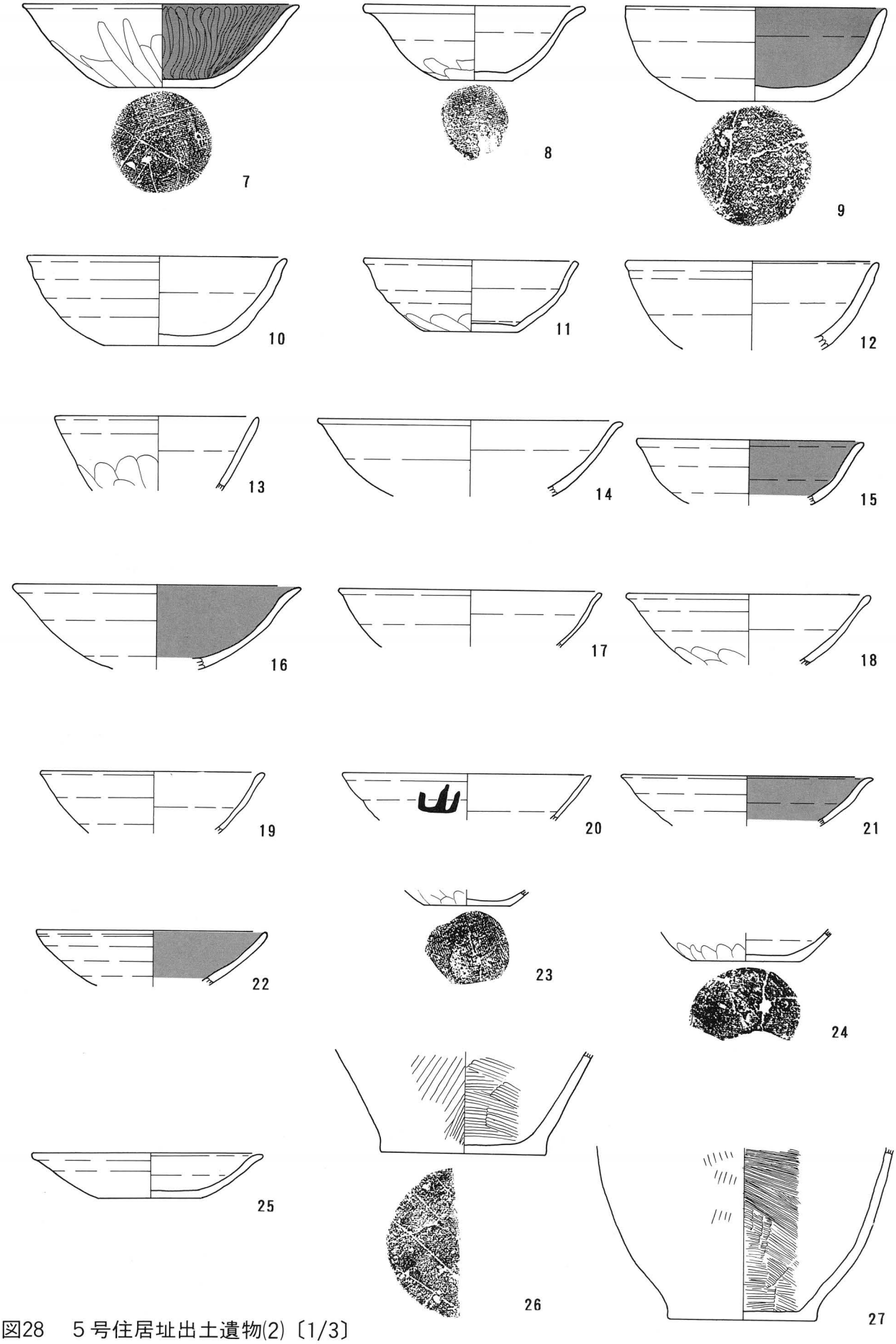


図28　５号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

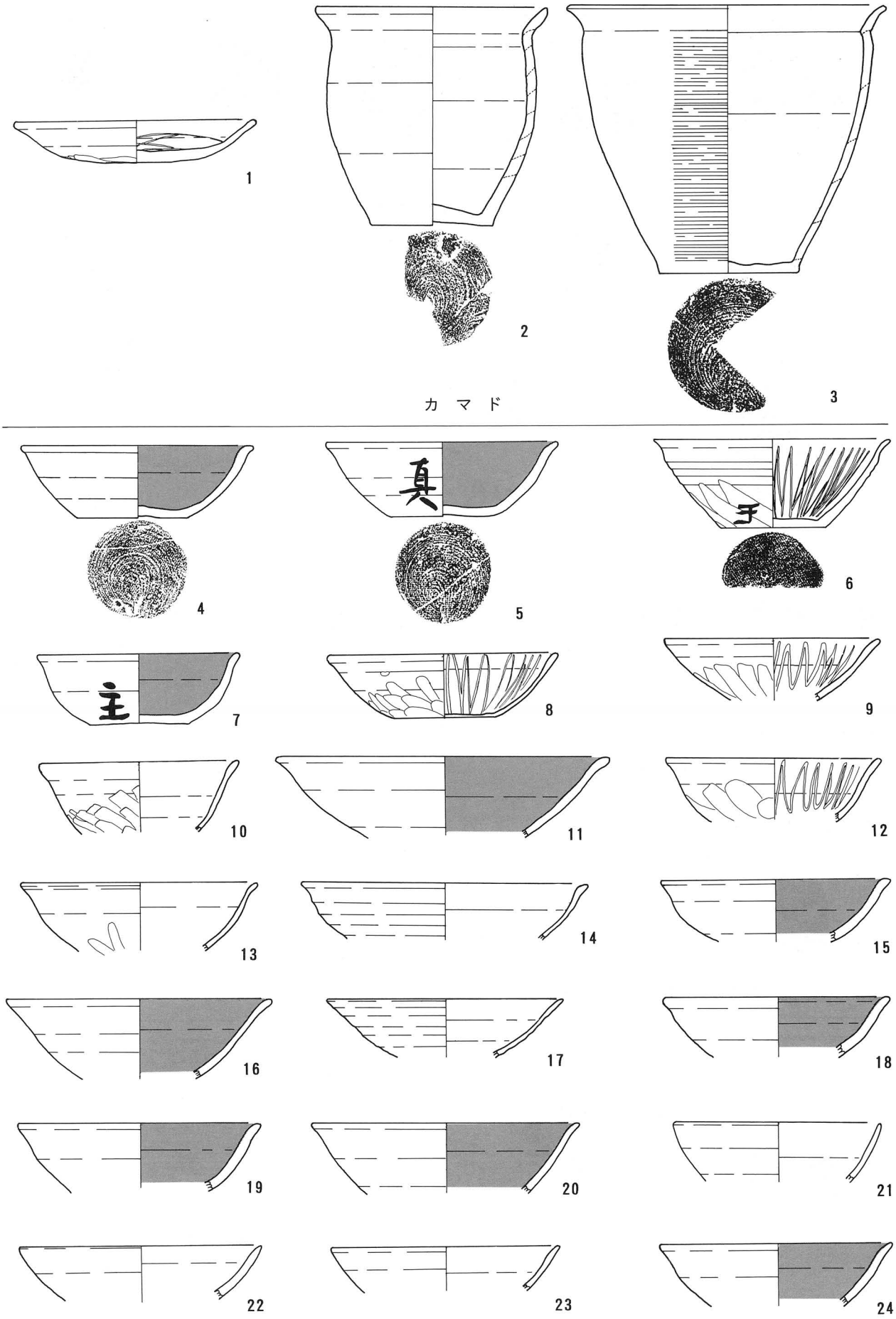


図29　6号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

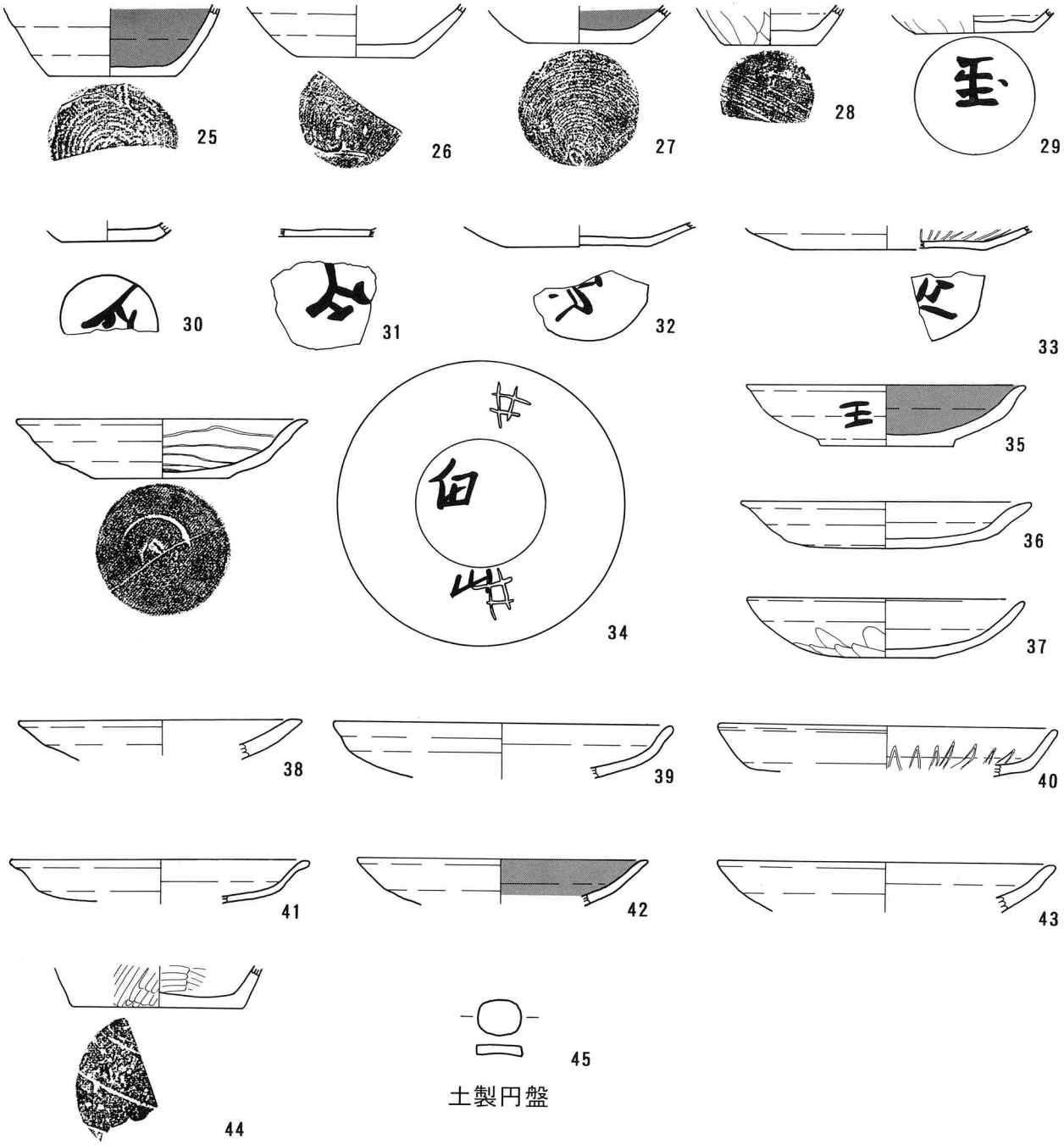


図30　6号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

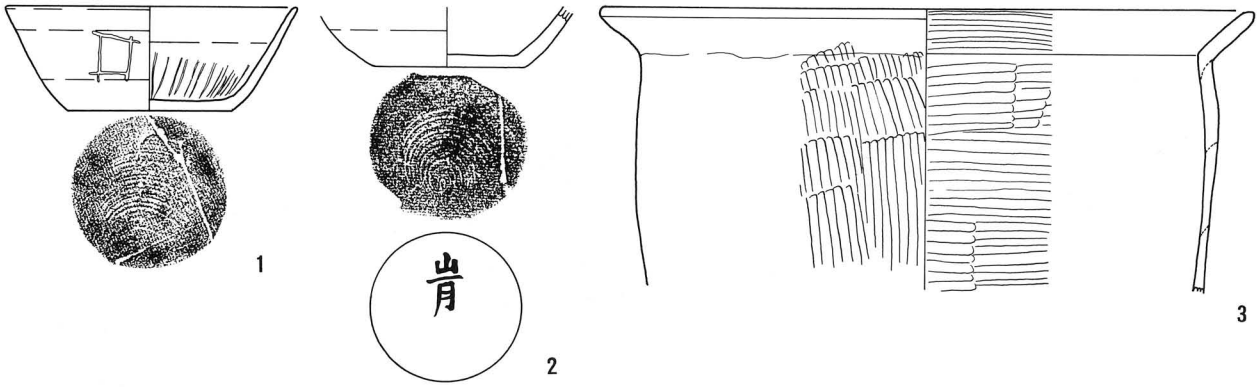


図31　7号住居址出土遺物〔1/3〕

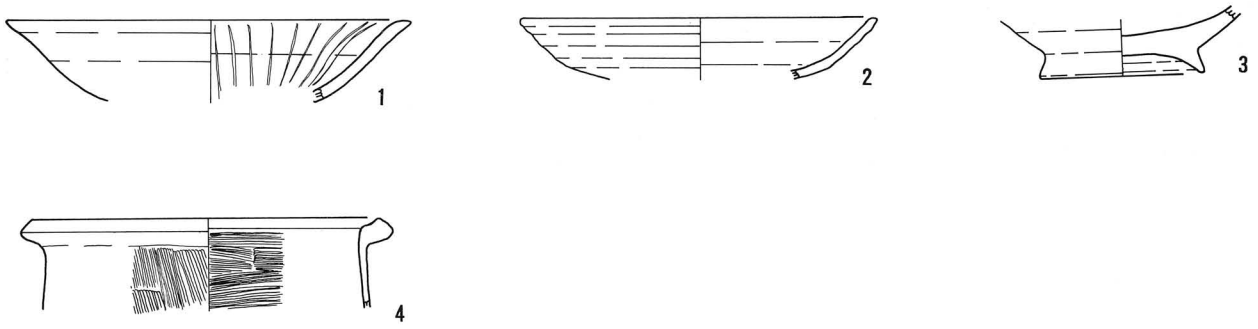


図32　8号住居址出土遺物〔1/3〕

図33　9号住居址出土遺物〔1/3〕

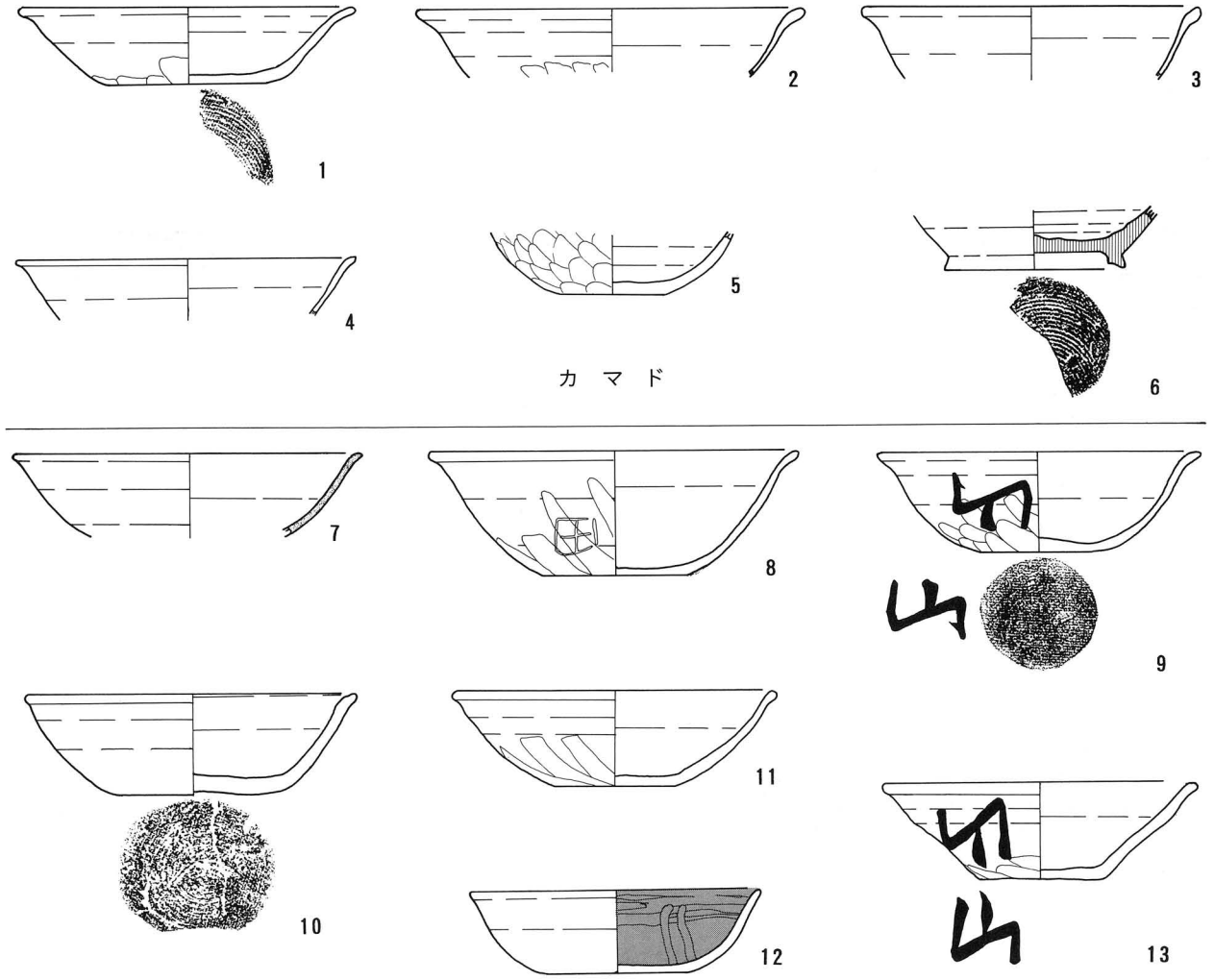


図34　10号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

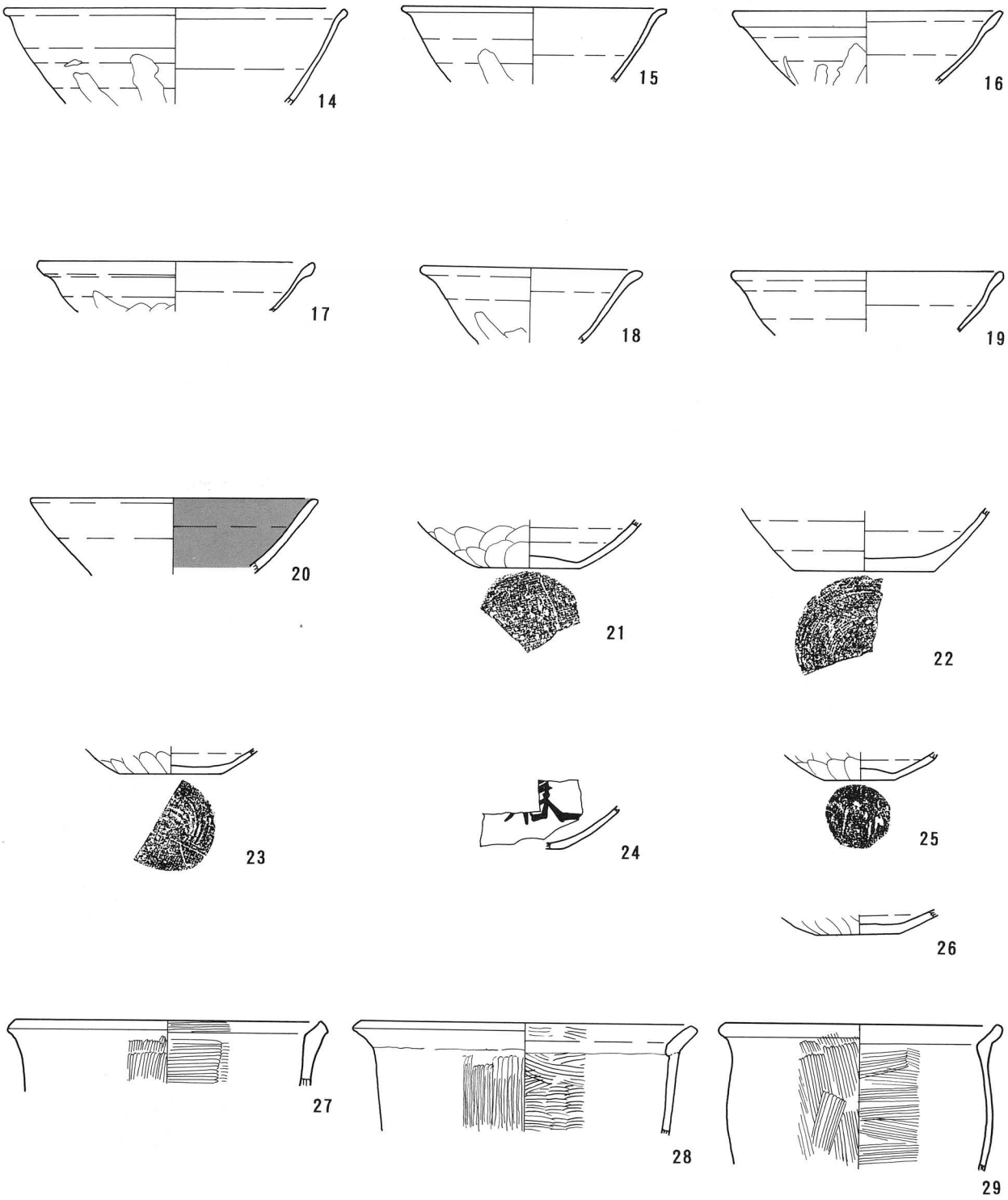


図35　10号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

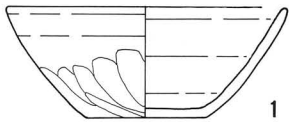


図36　11号住居址出土遺物〔1/3〕

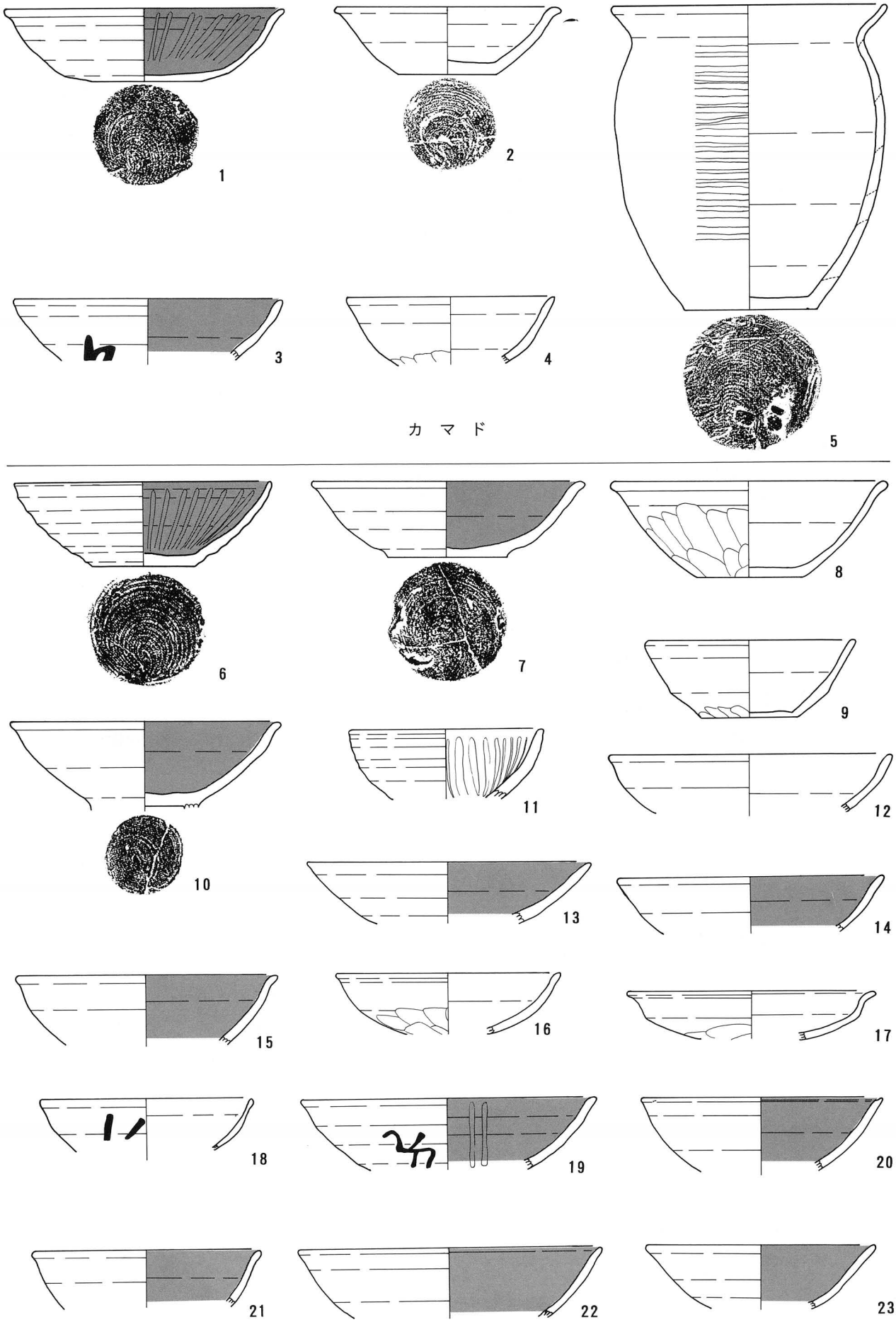


図37　12号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

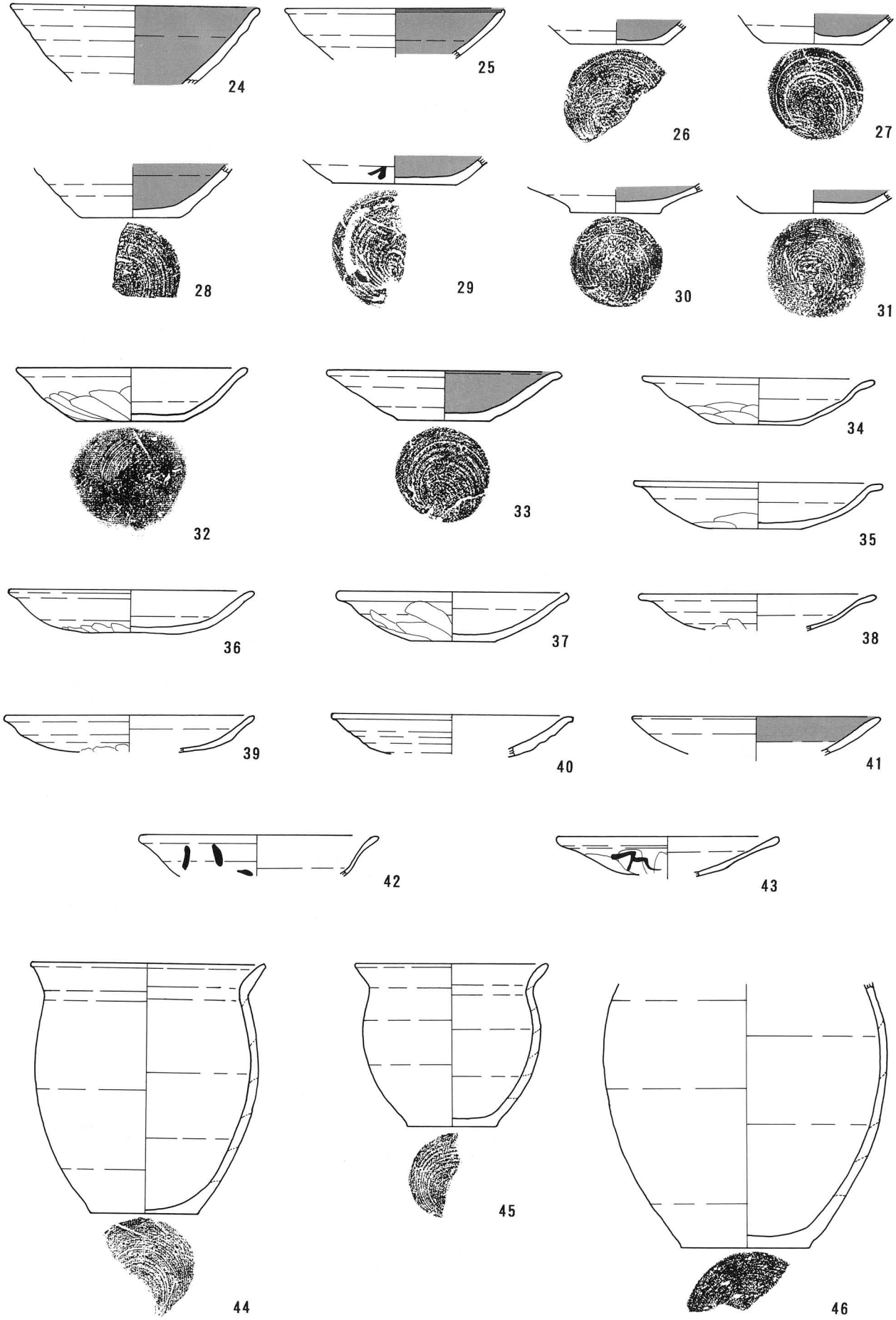


図38　12号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

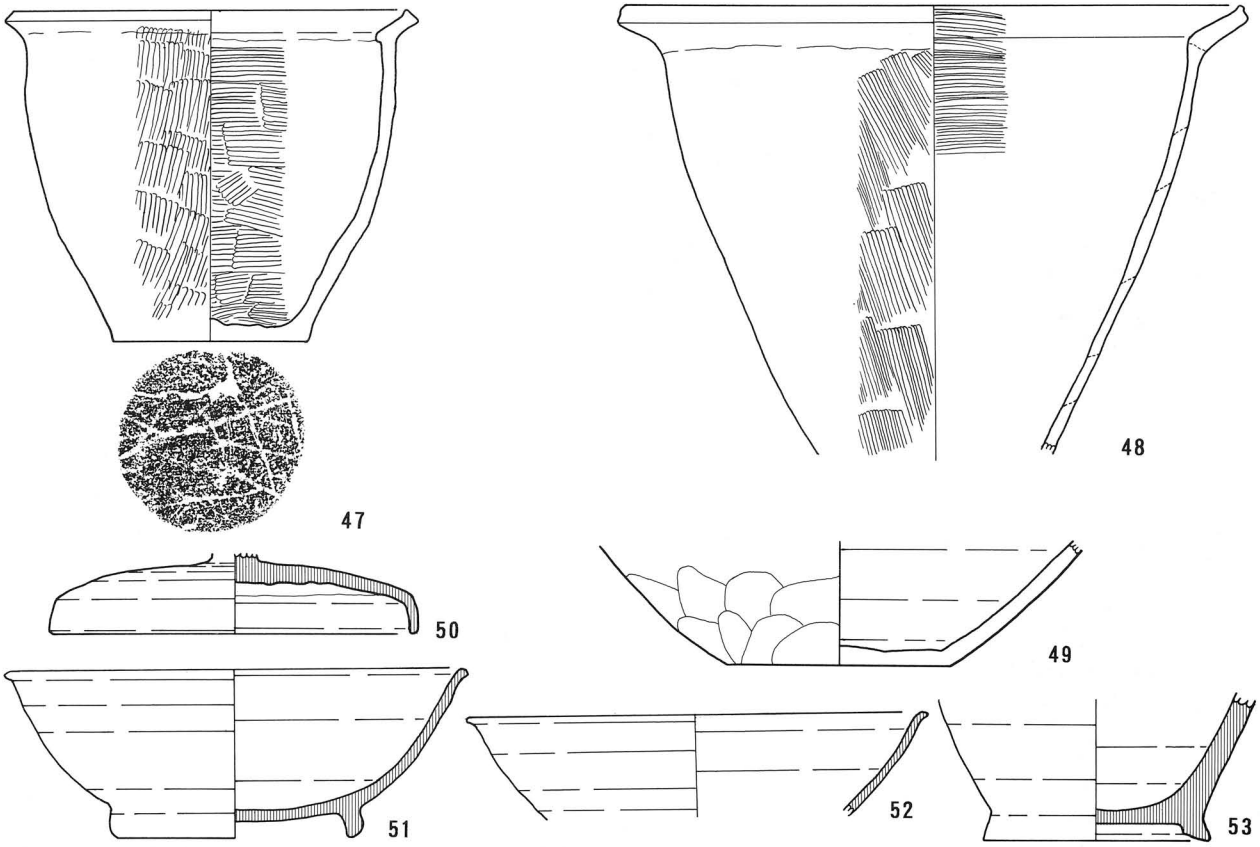


図39　12号住居址出土遺物(3)〔1/3〕

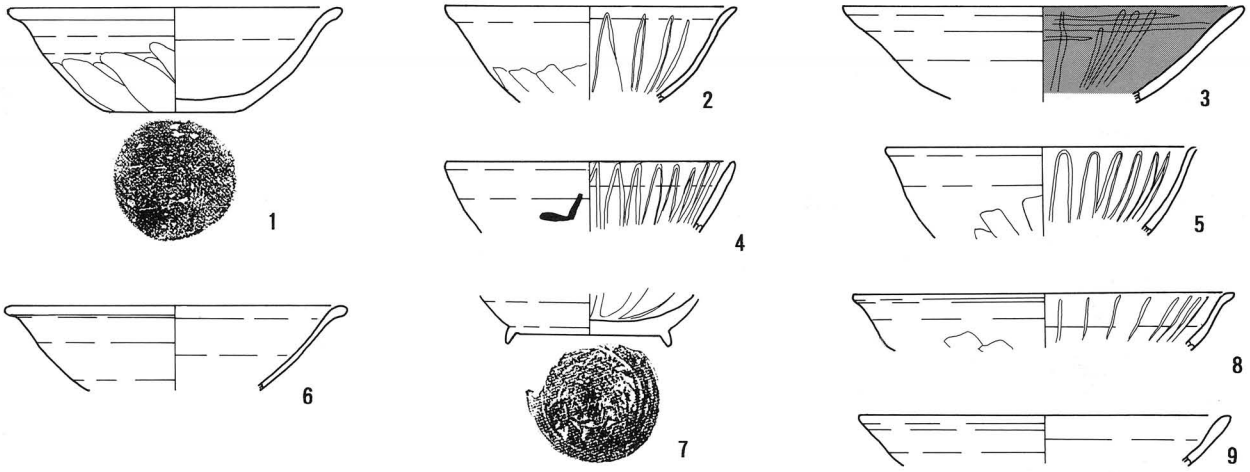


図40　13号住居址出土遺物〔1/3〕

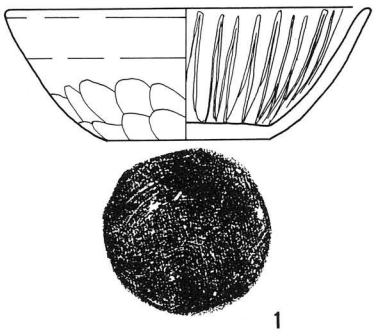


図41　14号住居址
出土遺物〔1/3〕

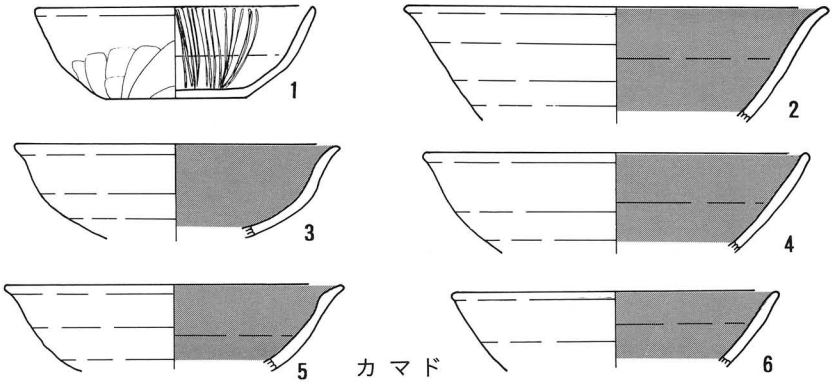


図42　15号住居址出土遺物(1)〔1/3〕

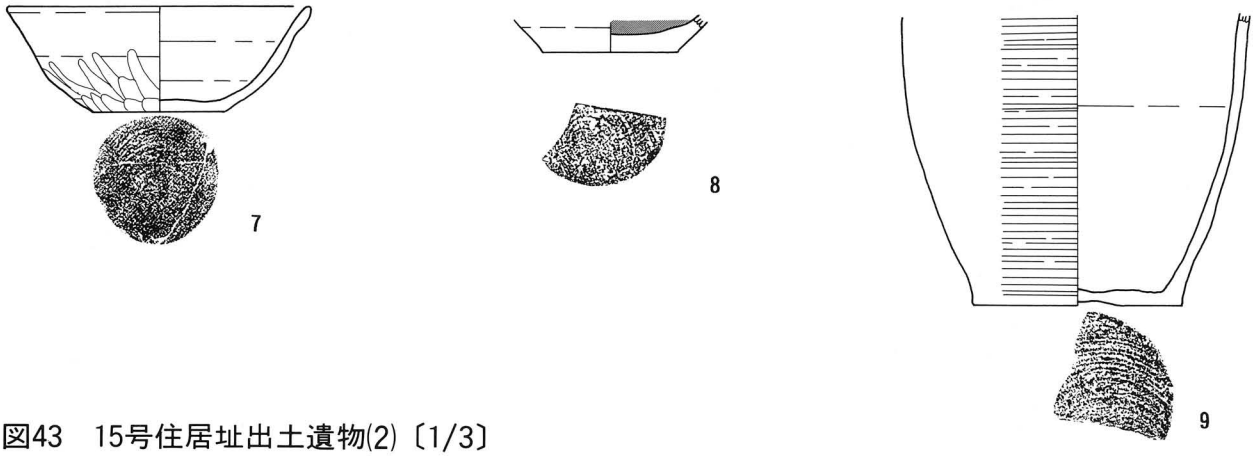


図43　15号住居址出土遺物(2)〔1/3〕

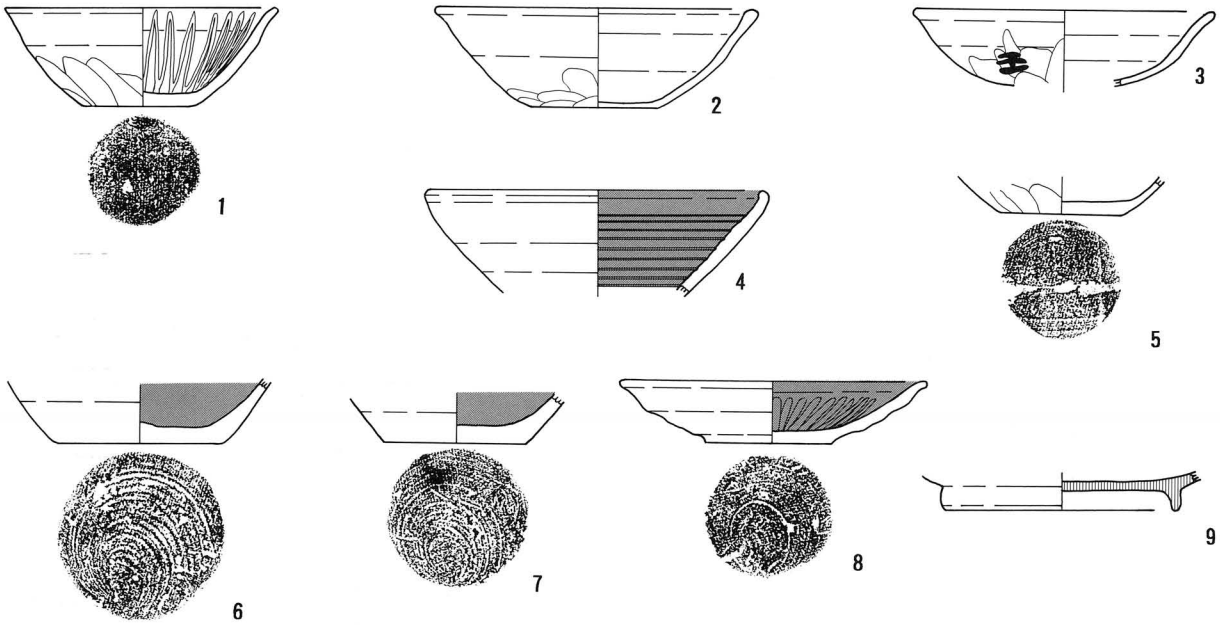


図44　表採遺物〔1/3〕

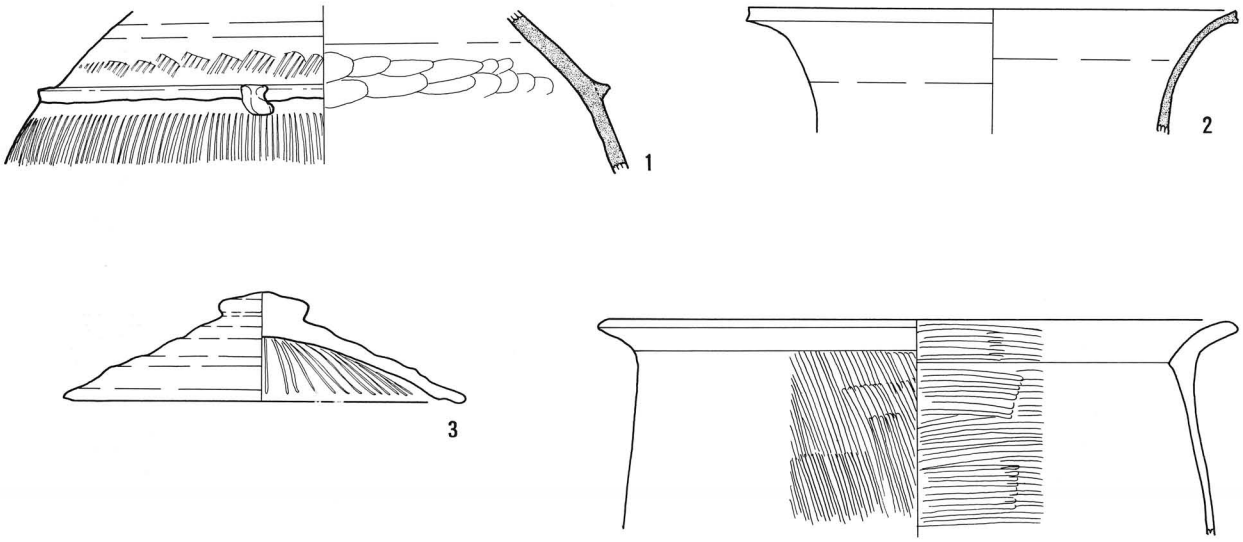


図45　調査区北出土遺物〔1/3〕

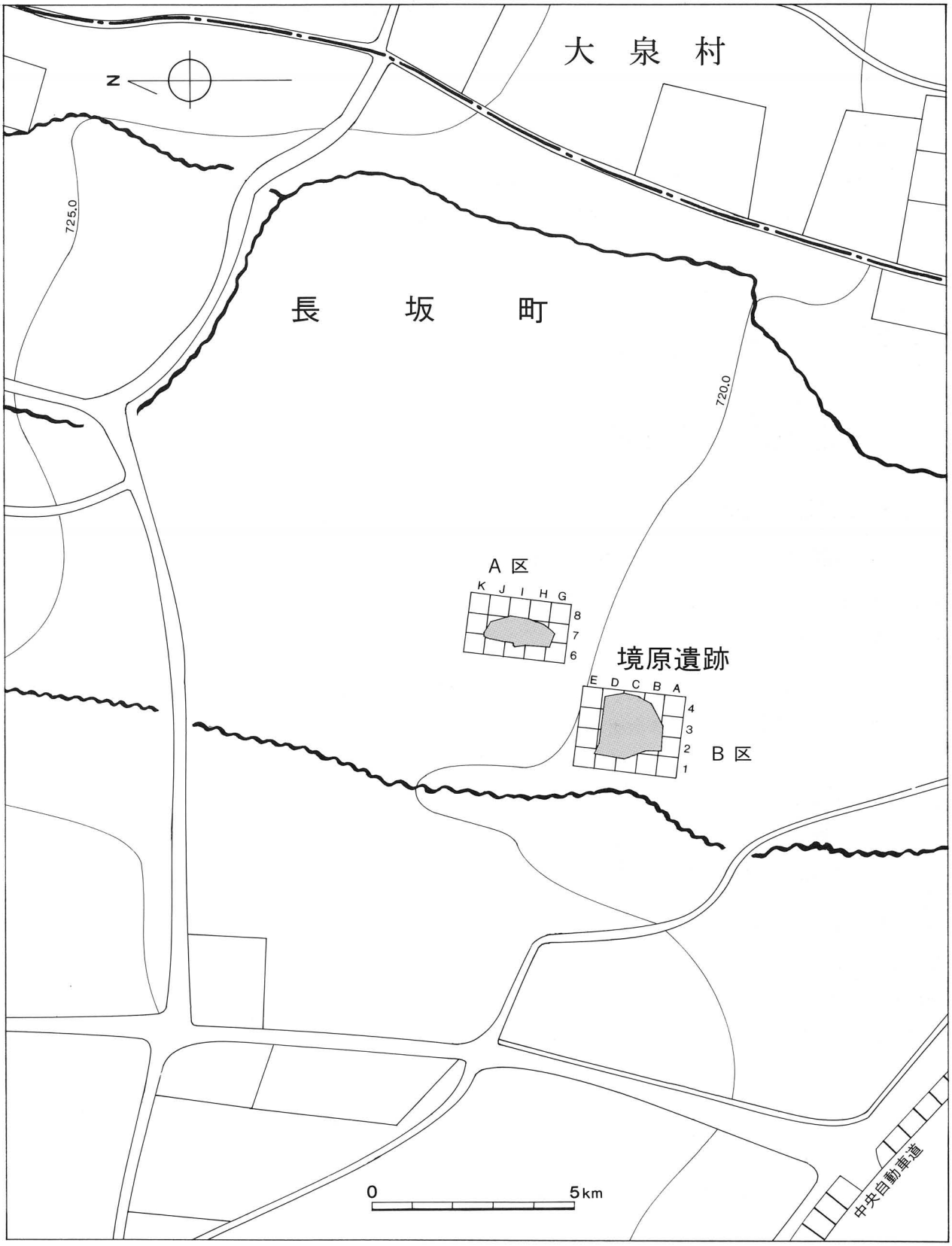


図46　境原遺跡調査区位置図

第４章　境原遺跡の調査

調査の結果、Ａ区では平安時代の住居址５件が、Ｂ区では弥生時代の住居址２件と平安時代の住居址４件がそれぞれ確認された。他には、縄文時代中期後半の埋設土器と土坑がある。

Ａ区

１　平安時代の住居址

〈１号住居址〉（図50,51,66）（表19）

位　　置：調査区北端（Ｊ-6、Ｊ-7区）に位置する。
検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。
平面形態：長方形。
大 き さ：長軸長4.9m、短軸長4.5m。長軸方向はN-15°-W。
周　　溝：カマド付近を除きほぼ全周する。
カ マ ド：住居址南東コーナーに石組みのしっかりしたカマドが確認された。
備　　考：１号溝に切られている。

〈２号住居址〉（図52,53,67）（表20）

位　　置：調査区北側（Ｊ-6、Ｊ-7、Ｉ-6、Ｉ-7区）に位置する。
検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。
平面形態：長方形。
大 き さ：長軸長4.6m、短軸長4.0m。長軸方向はN-25°-E。
周　　溝：カマド付近を除きほぼ全周する。
カ マ ド：住居址南東コーナーにカマドがある。また東側ほぼ中央の壁際にも、住居拡張前に使用していたカマドの残骸と思われる礫や焼土が散在している。
備　　考：住居址の南側に向かって、住居の拡張があったと思われる。

〈３号住居址〉（図54,68）（表21）

位　　置：調査区ほぼ中央西よりに位置する（Ｉ-6区）。
検出状態：遺構北西側は調査区外にある。

平面形態：長方形を呈すると思われる。

大 き さ：長軸長不明、短軸長2.9m。

周　　溝：確認できない。

カ マ ド：住居址南東側の壁際にカマドがある。

〈４号住居址〉（図55,69）（表22）

位　　置：調査区南寄り（H-6、H-7区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長3.9m、短軸長3.2m。主軸方向はE-28°-S。

周　　溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カ マ ド：住居址南東側壁際に石組みのしっかりしたカマドがある。

備　　考：住居址床面中央からカマド付近にかけて炭化物がやや濃密に分布。

〈５号住居址〉（図56,57,70）（表23）

位　　置：調査区南端（H-7、G-7区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：正方形に近い。

大 き さ：長軸長3.9m、短軸長3.7m。長軸方向はE-18°-S。

周　　溝：カマド付近を除きほぼ全周する。

カ マ ド：住居址南東の壁際にカマドの掘り込みが検出された。

備　　考：住居址床面中央からカマド付近にかけて炭化物がやや濃密に分布。

2　土坑

〈１号土坑〉（図59）

位　　置：調査区南寄り（H-7区）に位置する。

平面形態：ほぼ円形。

大 き さ：直径約1.0m、確認面からの深さ約1.0m。

〈２号土坑〉

位　　置：調査区南寄り（H-7区）に位置する。

平面形態：ほぼ円形。

大 き さ：直径約1.0m。

3　埋設土器

〈１号埋設土器〉（図58,71）（表24）

位　　置：調査区南寄り（H-7区）に位置する。

検出状態：1.1m×1.0mほどの掘りかたのなかに、ほぼ正位で埋設されていた。

備　　考：曽利式新段階の深鉢である。

B区

1　弥生時代の住居址

〈７号住居址〉（図61,73）（表26）

位　　置：調査区東寄り（D-3、D-4、C-3、C-4区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：隅丸長方形。

柱　　穴：主柱穴は６本。

大 き さ：長軸長4.2m、短軸長3.9m。主軸方向はほぼ南北に一致する。

周　　溝：確認できない。

　炉　　：住居址北側の奥壁よりの中央付近に地床炉がある。

〈11号住居址〉（図65,77,78）（表29）

位　　置：調査区南端（B-2、B-3区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：長方形。

柱　　穴：主柱穴は４本。

大 き さ：長軸長4.7m、短軸長4.0m。主軸方向はN-15°-W。

周　　溝：確認できない。

　炉　　：住居址北側の奥壁よりの中央付近に石囲炉がある。

2　平安時代の住居址

〈６号住居址〉（図60,72）（表25）

位　　置：調査区北東端（D-4区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：ほぼ正方形。

大 き さ：3.4m×3.4mの方形。主軸方向はN-18°-S。

周　　溝：カマド付近を除いてほぼ全周する。

カ マ ド：住居址南東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備　　考：住居址中央に間仕切り状の溝がある。

〈８号住居址〉（図62,74）（表27）

位　　置：調査区北端（D-2区）に位置する。

検出状態：住居址北側の壁は一部調査区外にありプランの全てを検出できなかった。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長3.6m、短軸長3.4m。長軸方向はN-18°-E。

周　　溝：住居址南側とカマド付近には存在しない。

カ マ ド：住居址東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備　　考：住居址西側に間仕切り状の溝がある。

〈９号住居址〉（図63,75,76）（表28）

位　　置：調査区西寄り（C-2区）に位置する。

検出状態：竪穴のプランはほぼ完全な状態で検出された。

平面形態：ほぼ正方形。

大 き さ：長軸長3.6m、短軸長3.5m。長軸方向はN-13°-E。

周　　溝：カマド付近を除いてほぼ全周する。

カ マ ド：住居址東側にしっかりした石組みのカマドがある。

備　　考：床面上に比較的多くの礫が散在する。

〈10号住居址〉（図64）

位　　置：調査区西端（D-1、D-2、C-1、C-2）に位置する。

検出状態：竪穴のプラン西側は調査区外にある。

平面形態：長方形。

大 き さ：長軸長不明、短軸長4.5m。長軸方向はN-65°-E。

周　　溝：確認できない。

カ マ ド：カマドの残骸と思われる礫が住居内に散在するが、明らかでない。

備　　考：床面上に比較的多くの礫が散在する。

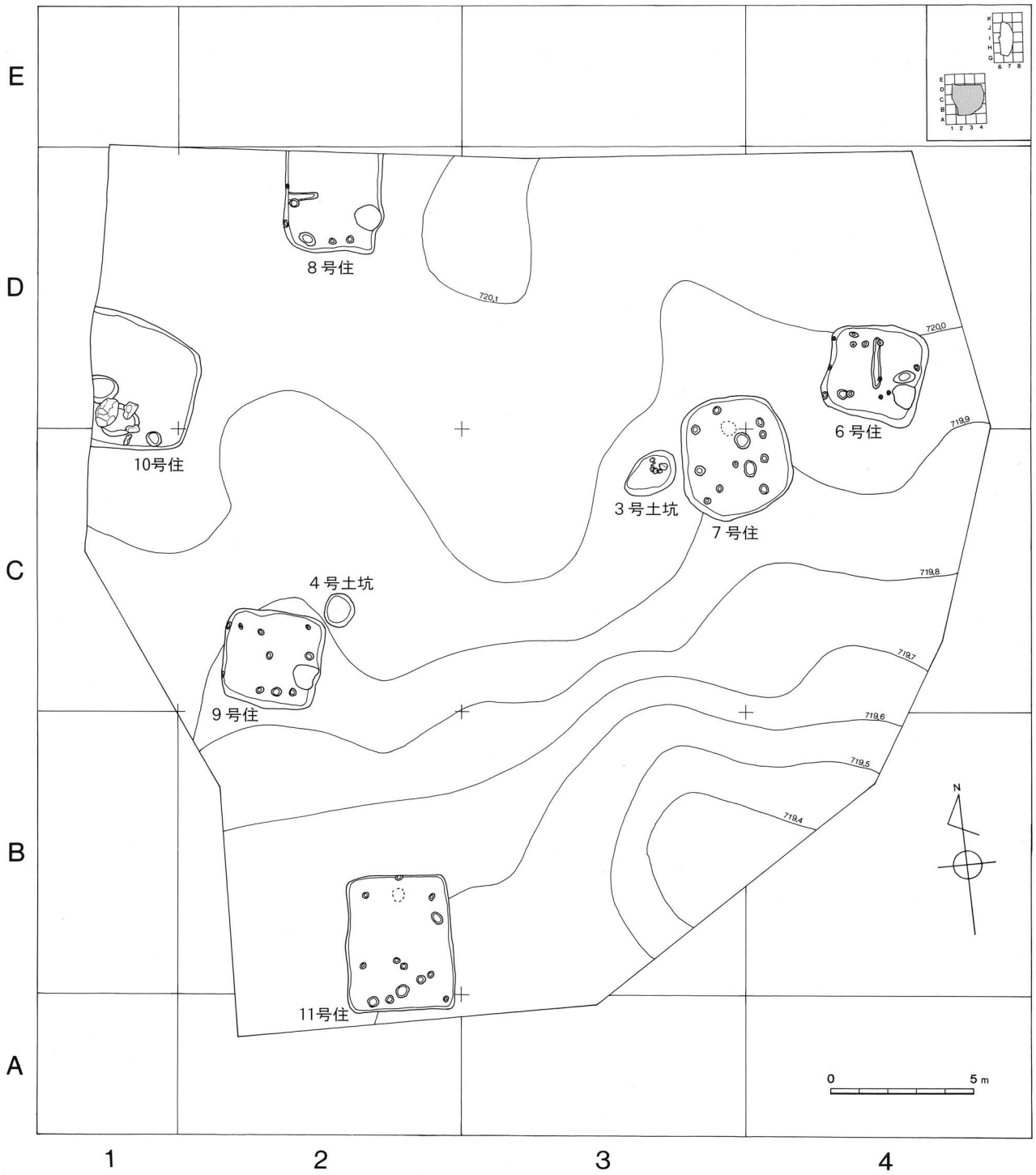


図47　境原遺跡Ｂ区全体図

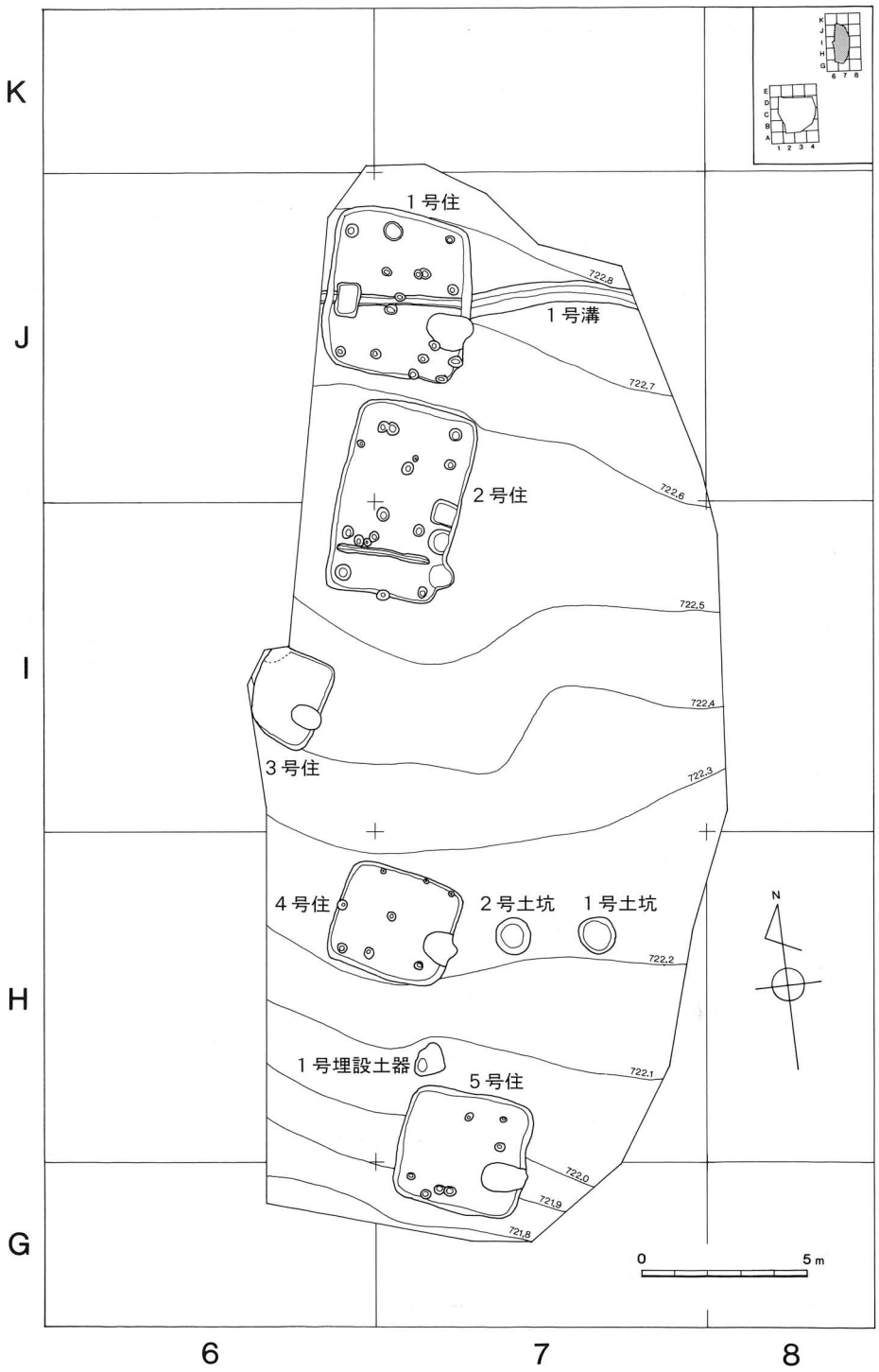


図48　境原遺跡Ａ区全体図

3　遺　物　（図66～79）

表19　1号住居址遺物観察表（図50.51.66）

番号	種　類	器形	大　き　さ（cm） 器高・口径・底径	胎　土	色調（内面）（外面）	調　　整	特　徴	残存率
1	土師器	坏	5.0（17.0）7.0	スコリア	暗茶褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	内黒	60%
2	土師器	坏	3.8（12.9）5.0	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ、ヘラ削リ		60%
3	土師器	坏	5.1（15.0）5.0	石英・長石	明赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ		70%
4	土師器	坏	―（15.0）―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
5	土師器	坏	―（12.2）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
6	土師器	皿	2.2 12.6 6.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		60%
7	土師器	皿	2.2（12.2）6.0	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		50%
8	土師器	皿	― 13.6 ―	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		50%
9	土師器	皿	―（12.6）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
10	土師器	坏	3.3（12.7）6.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ、ヘラ削リ		50%
11	土師器	坏	―（10.8）―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
12	土師器	坏	―（16.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ	墨書	30%
13	土師器	坏	―（16.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
14	土師器	坏	―（13.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
15	土師器	坏	―（13.6）―	スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
16	土師器	坏	―（13.6）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
17	土師器	坏	― ―（4.7）	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ		小片
18	土師器	坏	―（12.2）―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
19	土師器	坏	―（13.6）―	スコリア	黒褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ	内黒	小片
20	土師器	皿	―（13.6）―	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
21	土師器	皿	―（12.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
22	土師器	皿	―（13.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ		小片
23	土師器	皿	―（14.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ		小片
24	土師器	皿	―（13.0）―	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
25	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)タテ刷毛目（外)ヨコ刷毛目		小片
26	灰釉陶器	坏	―（14.0）―	スコリア	緑灰色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ		小片
27	灰釉陶器	坏	― ― 6.6	白色粒	緑灰色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ	転用硯	小片

表20　2号住居址遺物観察表（図52.53.67）

1	土師器	坏	4.4（15.2）5.4	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	内黒	35%
2	土師器	坏	4.8（15.2）6.0	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		20%
3	土師器	坏	3.8（13.3）5.0	石英・長石 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ	内黒	95%
4	土師器	坏	3.5（11.8）5.8	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		60%
5	土師器	坏	4.0 12.6 5.0	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)回転糸切リ		65%
6	土師器	皿	2.1 12.8 3.4	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ（外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		100%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
7	土師器	皿	2.8 13.0 5.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)ヘラ削リ		90%
8	土師器	皿	― ― ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		小片
9	土師器	甕	― (14.8) ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
10	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
11	土師器	甕	12.5 13.6 9.0	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		65%
12	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
13	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)タテ刷毛目 (外)ヨコ刷毛目		小片
14	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
15	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
16	土師器	甕	― ― (8.2)	石英・長石・雲母	暗褐色	(底)木葉痕		小片
17	土師器	脚高高台坏	― (18.8) ―	石英・長石・雲母 角閃石	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)ヘラ削リ		40%
18	灰釉陶器	坏	― ― 6.7	白色粒	灰白色 一部緑灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	底部墨書	小片
19	灰釉陶器	坏	― ― 6.6	白色粒	明灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	転用硯	小片
20	灰釉陶器	坏	― ― 6.2	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ		小片

表21　3号住居址遺物観察表（図54.68）

1	須恵器	坏	5.2 13.6 6.8	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	墨書	100%
2	土師器	坏	4.4 12.4 5.8	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　暗文	99%
3	土師器	坏	4.8 14.4 4.6	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ (底)ヘラ削リ		85%
4	土師器	坏	3.3 13.5 4.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	80%
5	土師器	坏	3.8 12.0 5.8	石英・長石・雲母 スコリア	暗赤褐色に 黒色彩色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　暗文	99%
6	土師器	皿	3.1 12.8 6.0	石英・雲母 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	内黒	90%
7	土師器	甕	― (17.0) ―	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
8	土師器	小型甕	9.3 12.0 7.2	石英・長石	茶褐色	(内)ヘラ磨キ (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		40%
9	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ		小片
10	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黒色	(内)ヨコ刷毛目 (外)ヘラナデ		小片
11	灰釉陶器	皿	3.0 13.0 5.5	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ		70%

表22　4号住居址遺物観察表（図55.69）

1	土師器	坏	4.6 (15.2) 6.2	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	暗文	25%
2	土師器	坏	― ― ―	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒	小片
3	土師器	坏	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ		小片
4	土師器	小型甕	― (16.0) ―	雲母	黒色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		10%
5	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内ヨコ刷毛目 (外)斜刷毛ナデ		小片
6	灰釉陶器	坏?	― ― ―	白色粒 黒色粒	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ		小片

表23　5号住居址遺物観察表（図56.57.70）

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
1	土師器	坏	4.4 (13.8) 5.9	石英・雲母 スコリア	暗黄褐色	(内)ロクロナデ、ヘラ磨キ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　暗文	40%
2	土師器	坏	― (13.6) ―	スコリア	茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
3	土師器	甕	― ― ―	石英・長石 角閃石	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
4	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
5	土師器	甕?	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
6	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目 (底)木葉痕		小片
7	灰釉陶器	坏	5.3 14.0 7.0	白色粒	明灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	自然緑釉	70%
8	灰釉陶器	坏	― (16.0) ―	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
9	須恵器	壺?	― ― 9.0	長石	灰色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削リ	自然緑釉	小片
10	土師器	坏	4.1 (13.2) 4.8	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヘラ磨キ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒　墨書	35%
11	土師器	坏	― ― 3.6	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ヘラ削リ (底)回転糸切リ		小片
12	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ		小片
13	土師器	甕	― (29.2) ―	石英・長石・雲母	暗赤色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ		小片
14	土師器	甕	― ― ―	石英・長石	赤褐色 黒褐色	(内)ヘラナデ (外)ロクロナデ、タテ刷毛目		小片
15	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
16	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目		小片
17	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黒褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片

表24　1号埋設土器（図58.71）

1	縄文土器	深鉢	32.5 31.7 9.0	石英・長石・雲母 角閃石	黄褐色	(内)ヘラ削リ (外)羽状沈線文、蛇行沈線文、隆帯		95%

表25　6号住居址遺物観察表（図60.72）

1	土師器	坏	― ― 6.0	石英・長石	褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切リ	内黒	小片
2	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目		小片
3	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
4	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	赤褐色 灰褐色	(内)ヘラナデ (外)タテ刷毛目		小片
5	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色 黒褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)ヘラナデ		小片
6	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
7	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文		小片

表26　7号住居址遺物観察表（図61.73）

1	弥生土器	壺	― 16.5 ―	石英・長石・雲母	茶褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ、ヘラ削リ	口縁刻目	90%
2	縄文土器		― ― ―	石英・長石	黒褐色 赤褐色	(内)ヘラ磨キ (外)沈線		小片

表27　8号住居址遺物観察表（図62.74）

1	土師器	坏	4.3 14.4 ―	石英・長石 スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削リ	胴部線刻	20%
2	土師器	坏	3.6 (12.8) ―	石英・長石	黒褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		20%

番号	種類	器形	大きさ(cm) 器高・口径・底径	胎土	色調(内面)(外面)	調整	特徴	残存率
3	土師器	坏	― ― 5.6	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転糸切り	暗文	小片
4	土師器	坏	― ― 4.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り		小片
5	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母 角閃石	黒褐色 赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
6	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	黒色 暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
7	土師器	甕	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(内)ヨコ刷毛目 (外)タテ刷毛目		小片
8	土師器	坏	― ― 3.8	スコリア	明赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り		小片

表28　9号住居址遺物観察表（図63.75.76）

1	土師器	坏	5.3 15.7 6.2	スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内黒	40%
2	土師器	坏	5.1 12.2 (4.4)	スコリア	黄褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)ヘラ削り	内黒　暗文	45%
3	須恵器	坏	― ― 8.2	白色粒	灰白色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り		小片
4	土師器	坏	4.3 (13.0) ―	スコリア	暗赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り	墨書	9%
5	土師器	坏	4.1 11.2 (3.2)	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ヘラナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り		35%
6	土師器	坏	― (15.6) ―	石英・長石 角閃石	暗茶褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ	内黒　暗文	20%
7	土師器	皿	2.2 (12.8)(6.8)	石英・長石	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ (底)回転ヘラ削り	内黒	40%
8	土師器	?	― ― ―	石英・長石	赤褐色 黒色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り		小片
9	土師器	甕	― (32.6) ―	石英・長石	暗褐色	(内)ヨコヘラナデ (外)ヘラナデ		小片
10	土師器	壺	― ― ―	石英・長石・雲母 角閃石	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ		小片
11	土師器	壺	― ― ―	―	褐色	(内)ヘラ磨キ (外)ヘラ磨キ		小片
12	土師器	?	― ― (7.7)	石英・長石	暗赤褐色 暗灰褐色	(内)ヘラ磨キ (外)ヘラ磨キ (底)ヘラ削り		小片
13	土師器	?	― ― ―	石英・長石	暗褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ		小片
14	縄文土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	黒褐色			小片
15	縄文土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	赤褐色	(外)沈線		小片
16	縄文土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	(外)沈線		小片
17	縄文土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	黒褐色	(外)沈線		小片
18	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石	暗黄褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文		小片
19	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヘラ磨キ (外)櫛描波状文		小片
20	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)クシ目 (外)櫛描波状文		小片
21	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	黄褐色	(内)ヘラナデ (外)櫛描波状文		小片
22	弥生土器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラ磨キ、櫛描波状文		小片
23	弥生土器	?	― ― (7.8)	石英・長石・雲母	暗黄褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ (底)ヘラ削り		小片

表29　11号住居址遺物観察表（図65.77.78）

1	土師器	坏	3.6 12.6 4.6	石英・長石・雲母 スコリア	赤褐色	(内)ロクロナデ (外)ロクロナデ、ヘラ削り (底)回転糸切り、ヘラ削り	墨書	99%
2	土師器	?	― ― ―	石英・長石・雲母	明黄褐色	(内)ヘラ磨キ (外)ヘラ磨キ		小片
3	弥生土器	壺	17.3 13.5 5.8	石英・長石・雲母	暗褐色	(内)ヘラナデ (外)ヘラナデ、櫛描波状文	口縁刻目	95%
4	弥生土器	壺	37.5 26.2 10.0	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ヘラ磨キ (外)頸部ー櫛描波状文　胴部ーヘラナデ		95%
5	弥生土器	壺	― 24.0 ―	石英・長石・雲母	暗灰色	(内)ヘラナデ (外)頸部ー櫛描波状文　胴部ー刷毛目	口縁刻目	小片
6	弥生土器	ミニチュア土器	5.4 6.7 4.5	石英・長石・雲母	灰褐色	手捏		99%

番号	種　類	器形	大　き　さ（cm） 器高・口径・底径	胎　土	色調（内面） （外面）	調　整	特　徴	残存率
7	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	黒褐色	（内）ヘラナデ（外）櫛描波状文		小片
8	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	明黄褐色	（内）ヘラナデ（外）櫛描波状文		小片
9	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	明黄土色	（内）ヘラナデ（外）櫛描波状文		小片
10	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	明黄褐色 暗褐色	（内）ヘラナデ（外）櫛描波状文		小片
11	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	明赤褐色	（内）ヘラナデ（外）ヘラナデ　櫛描波状文		小片
12	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石・雲母	黒褐色 暗褐色	（内）ヘラナデ（外）ヘラナデ		小片

表30　表　採　遺物観察表（図79）

1	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母	赤褐色	（内）ヨコ刷毛目（外）タテ刷毛目		小片
2	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母 角閃石	暗赤褐色 赤褐色	（内）ヨコ刷毛目（外）タテ刷毛目		小片
3	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母	暗赤褐色	（内）ヨコ刷毛目（外）タテ刷毛目		小片
4	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母 角閃石	暗赤褐色 赤褐色	（内）ヨコ刷毛目（外）タテ刷毛目		小片
5	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母	赤褐色	（内）ヘラナデ（外）タテ刷毛目		小片
6	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母	黒褐色 赤褐色	（内）ヘラナデ（外）タテ刷毛目		小片
7	土師器	甕	―　―　―	石英・長石・雲母	暗赤褐色 赤褐色	（内）ヘラナデ（外）タテ刷毛目		小片
8	縄文土器	?	―　―　―	石英・長石	暗赤褐色	（内）ヘラナデ（外）ヘラナデ		小片
9	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石 角閃石	黄褐色	（内）ヘラナデ（外）櫛描直線文		小片
10	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石 角閃石	黄褐色	（内）ヘラ磨キ（外）櫛描波状文		小片
11	弥生土器	?	―　―　―	石英・長石 角閃石	明黄褐色	（内）ヘラ磨キ（外）櫛描波状文、直線文		小片

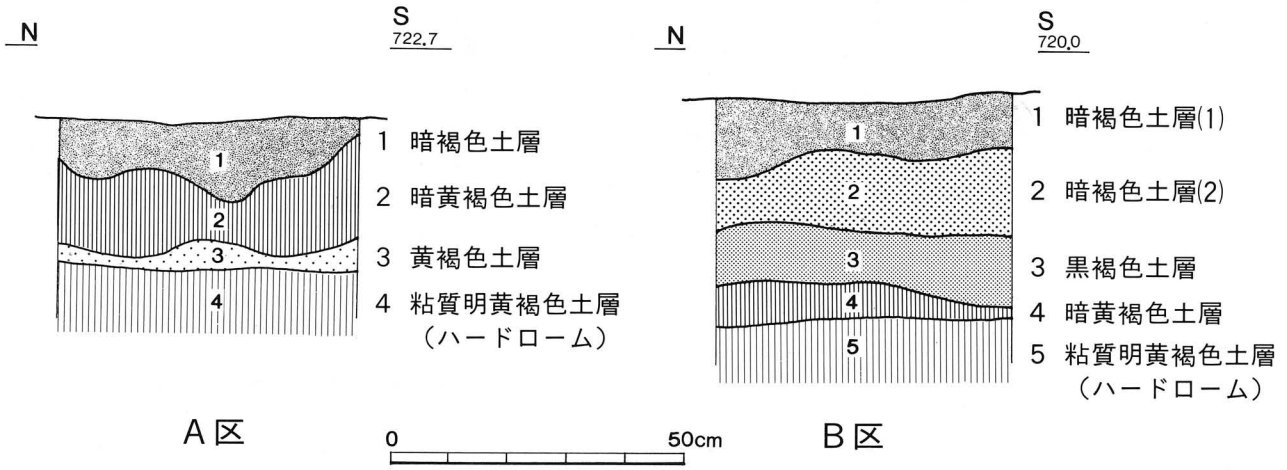
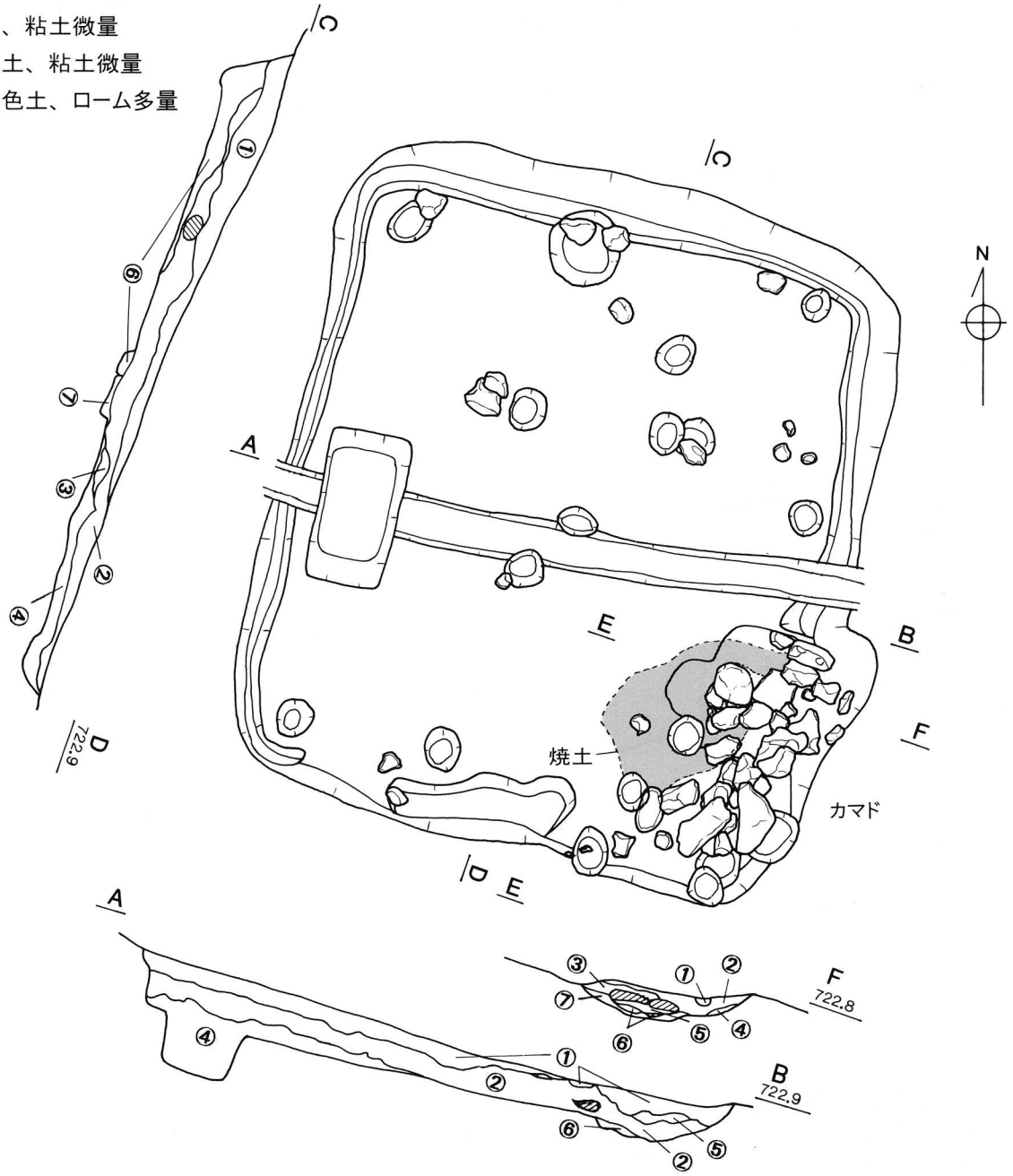


図49　基本層序

① 暗褐色土、不緊密
② 明褐色土、ローム少量、不緊密
③ 明褐色土、ローム微量、不緊密
④ 黒褐色土、ローム微量
⑤ 灰色土、粘土微量
⑥ 黄褐色土、粘土微量
⑦ 暗黒褐色土、ローム多量



0　1　2m

カマド
① 黄褐色土、ローム少量、焼土少量
② 暗黄褐色土、ローム微量
③ 黒褐色土、炭化物
④ 明黄褐色土、ローム多量
⑤ 黒褐色土、炭化物微量
⑥ 焼土
⑦ 明黄土、ローム

図50　1号住居址実測図〈A区〉

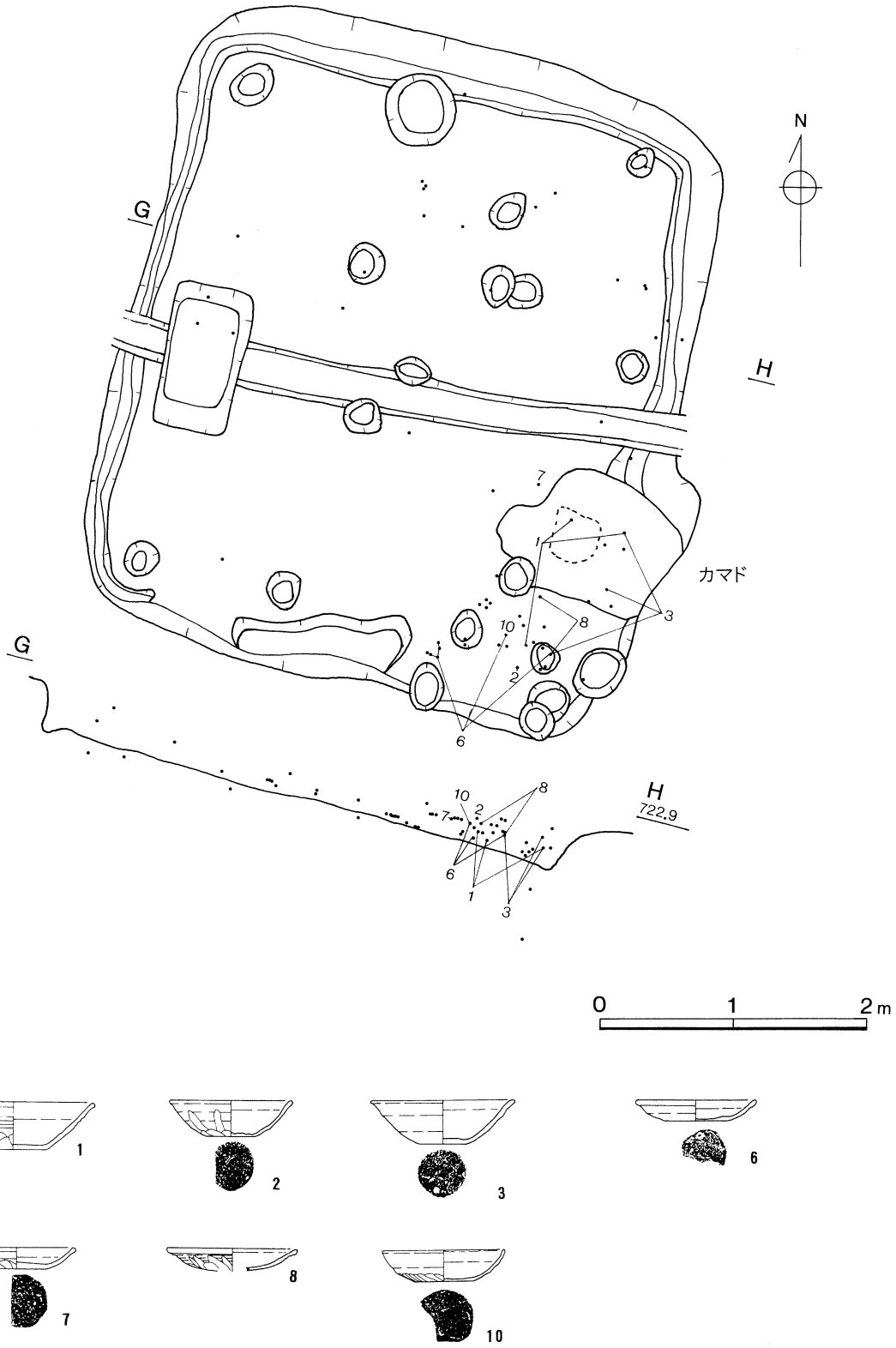


図51　１号住居址土器分布図〈Ａ区〉

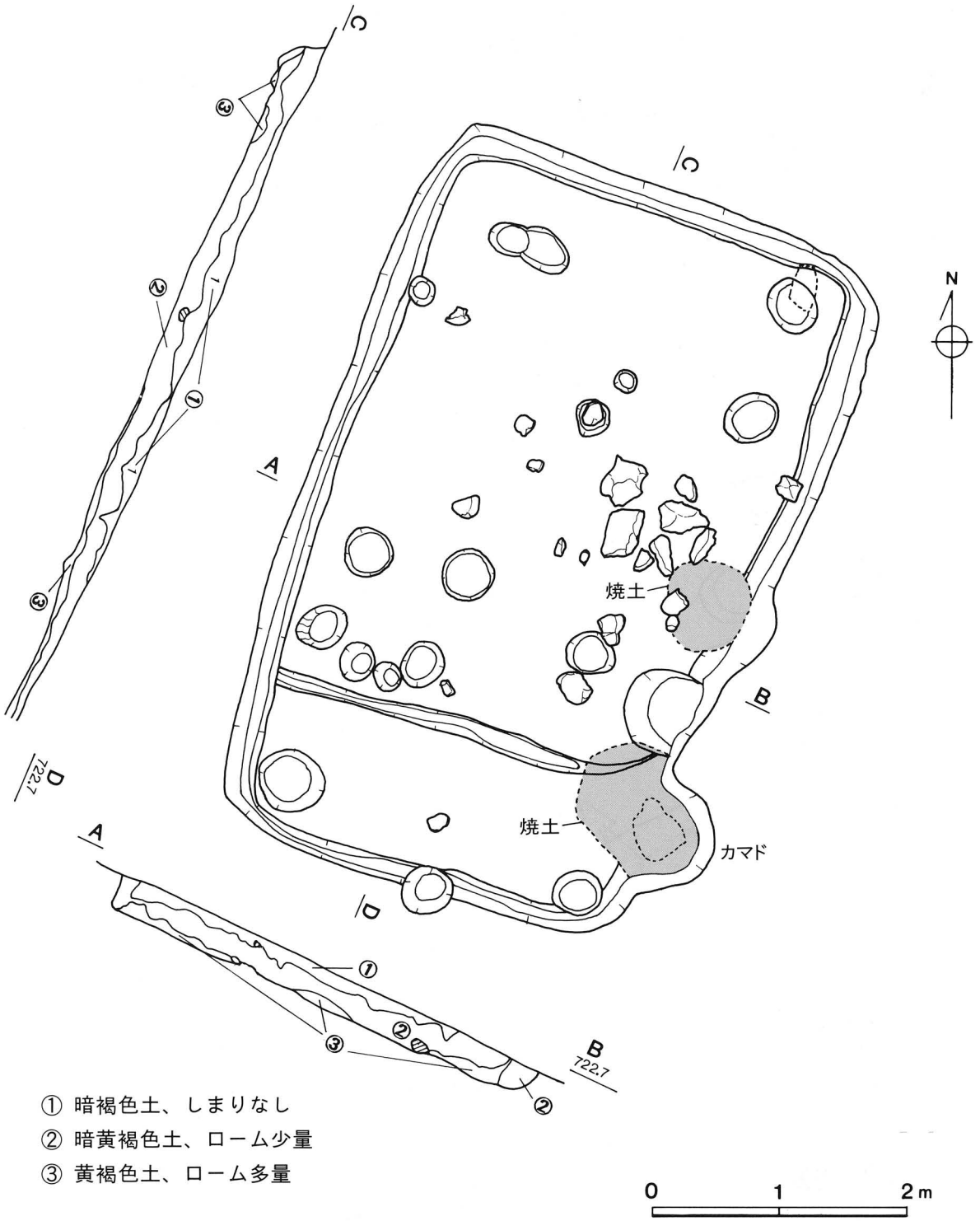


図52　２号住居址実測図〈Ａ区〉

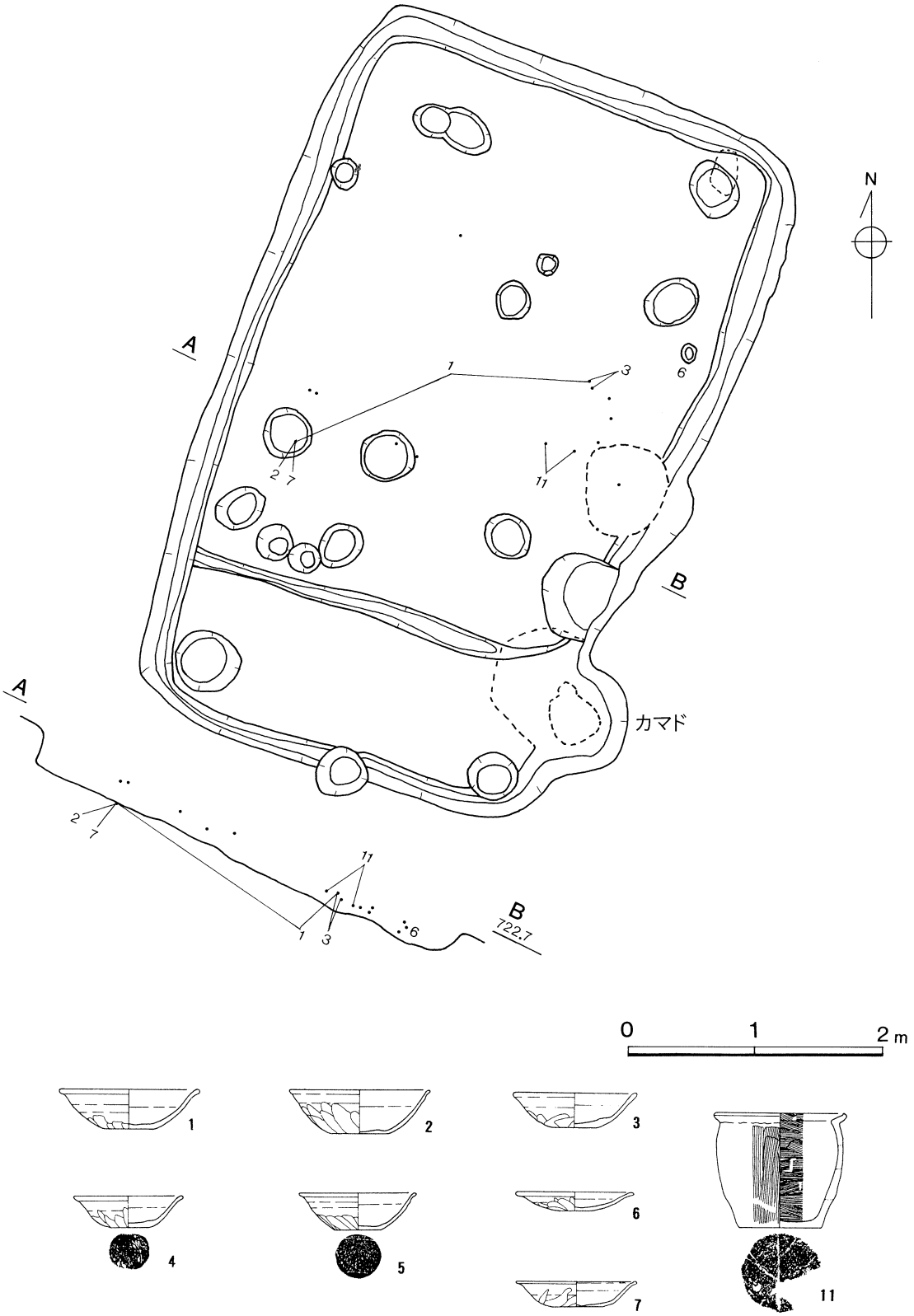


図53　２号住居址土器分布図〈Ａ区〉

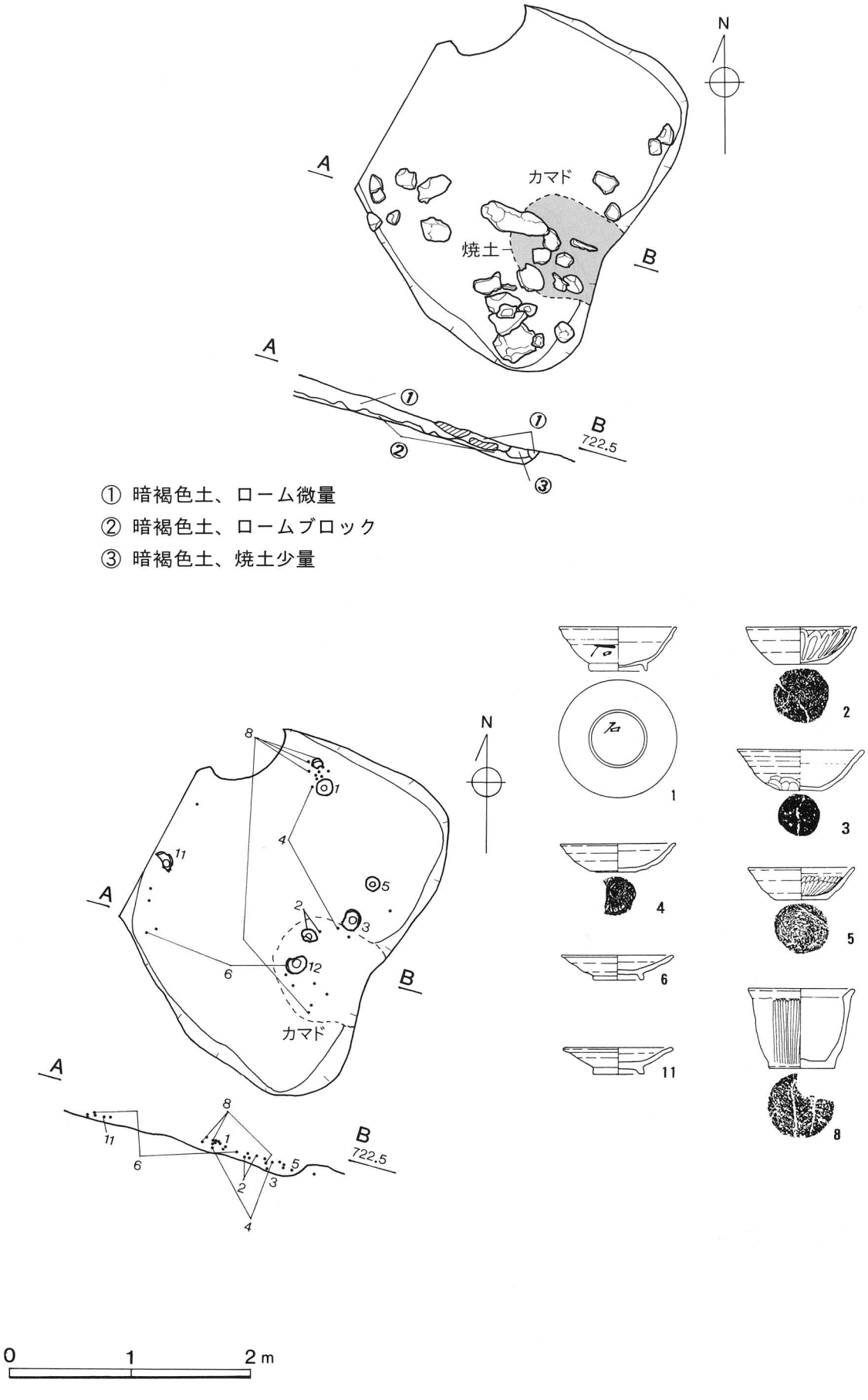
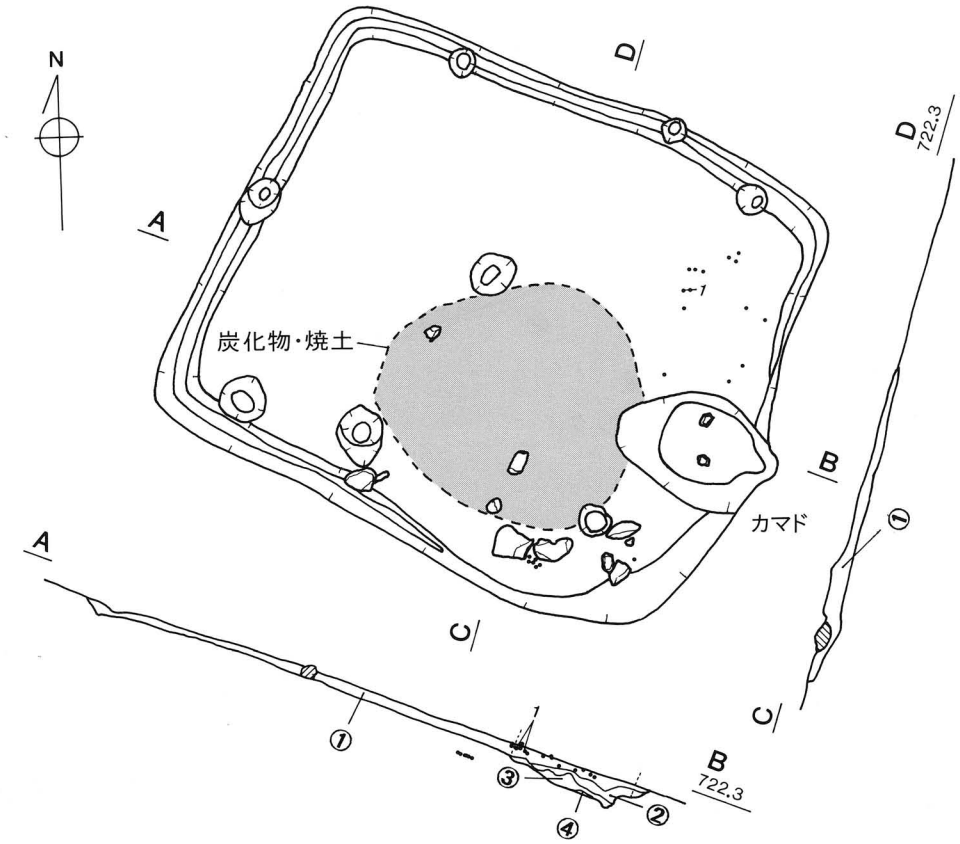
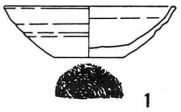


図54　３号住居址実測図／土器分布図〈Ａ区〉



① 黄褐色土、ローム少量、不緊密、しまりなし
② 明黄褐色土、ローム多量、不緊密
③ 暗黄褐色土、ローム微量
④ 焼土



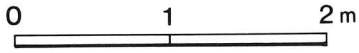


図55　4号住居址実測図／土器分布図〈A区〉

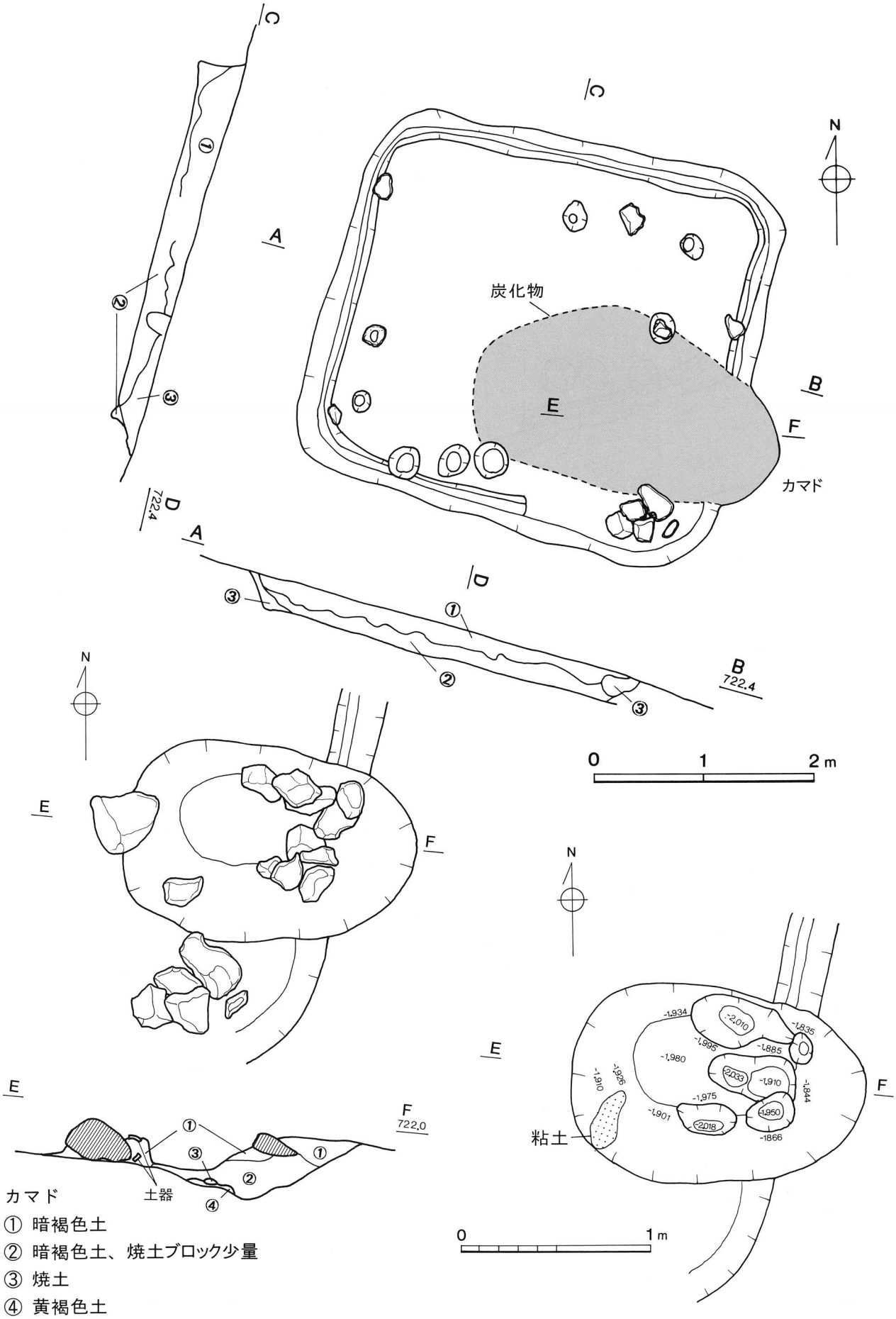


図56　5号住居址・カマド実測図〈A区〉

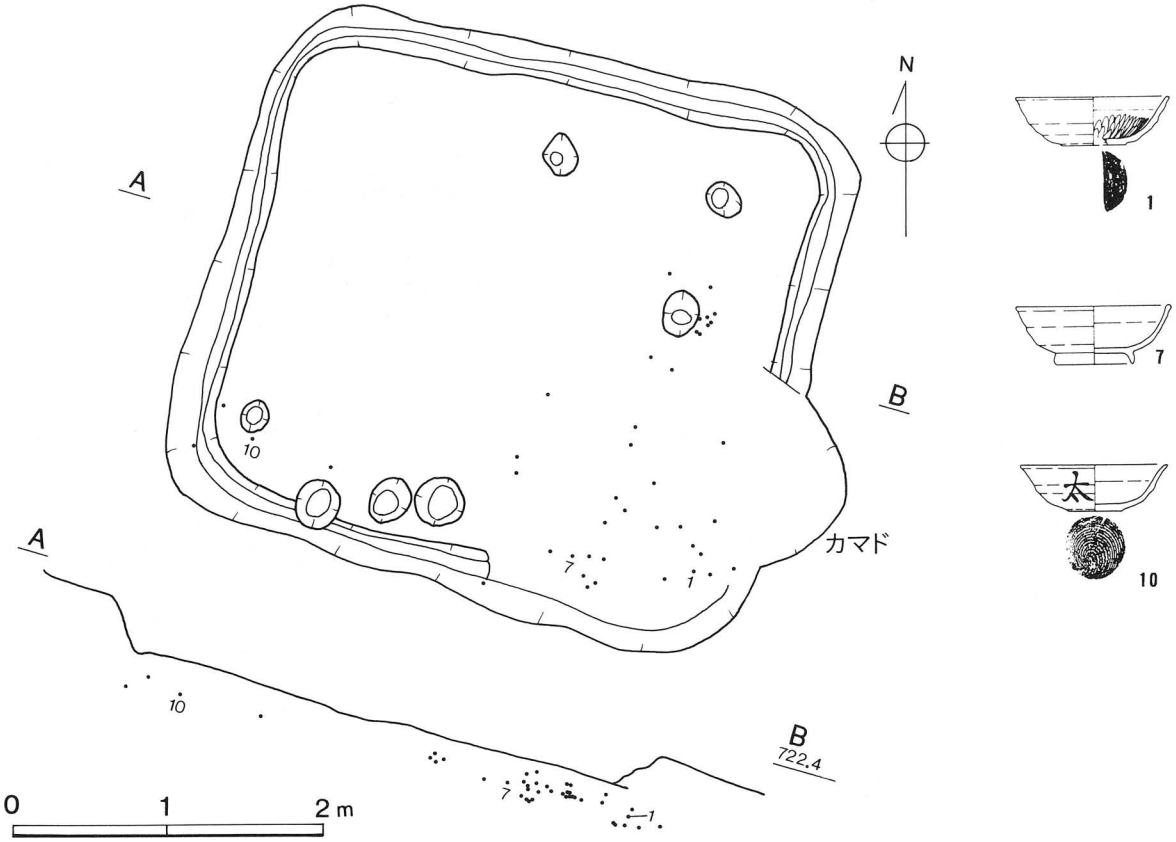
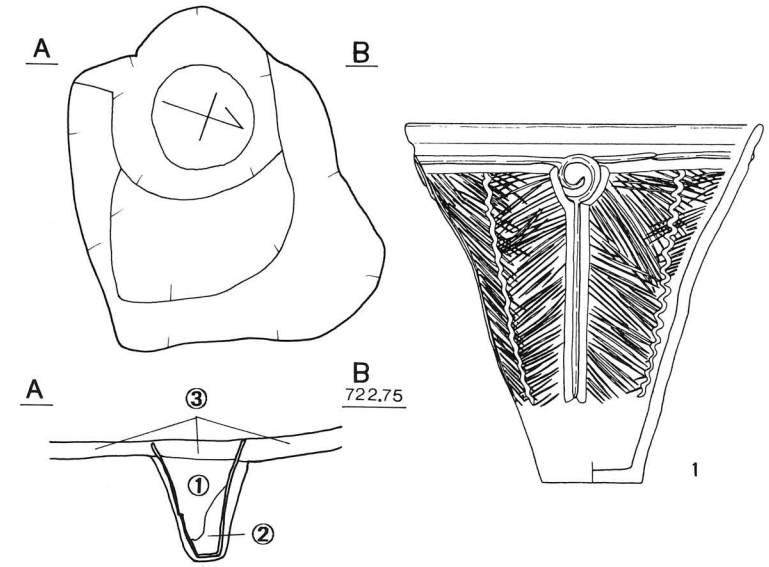


図57　5号住居址土器分布図〈A区〉



埋設土器

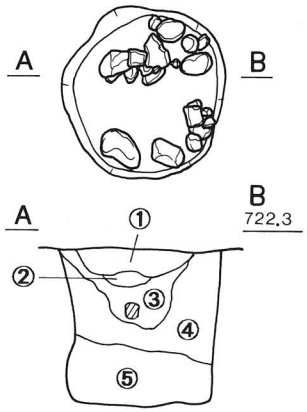
① 茶褐色土、緊密、しまりなし

② 黒褐色土、緊密、しまりなし

③ 耕作土

0　1m

図58　1号埋設土器実測図〈A区〉



① 暗褐色土、しまりなし

② 褐色土、ローム少量、しまりなし

③ 暗黄褐色土、ローム多量

④ 黄褐色土、ローム

⑤ 黒褐色土、ローム少量

0　1　2 m

図59　1号土坑実測図〈A区〉

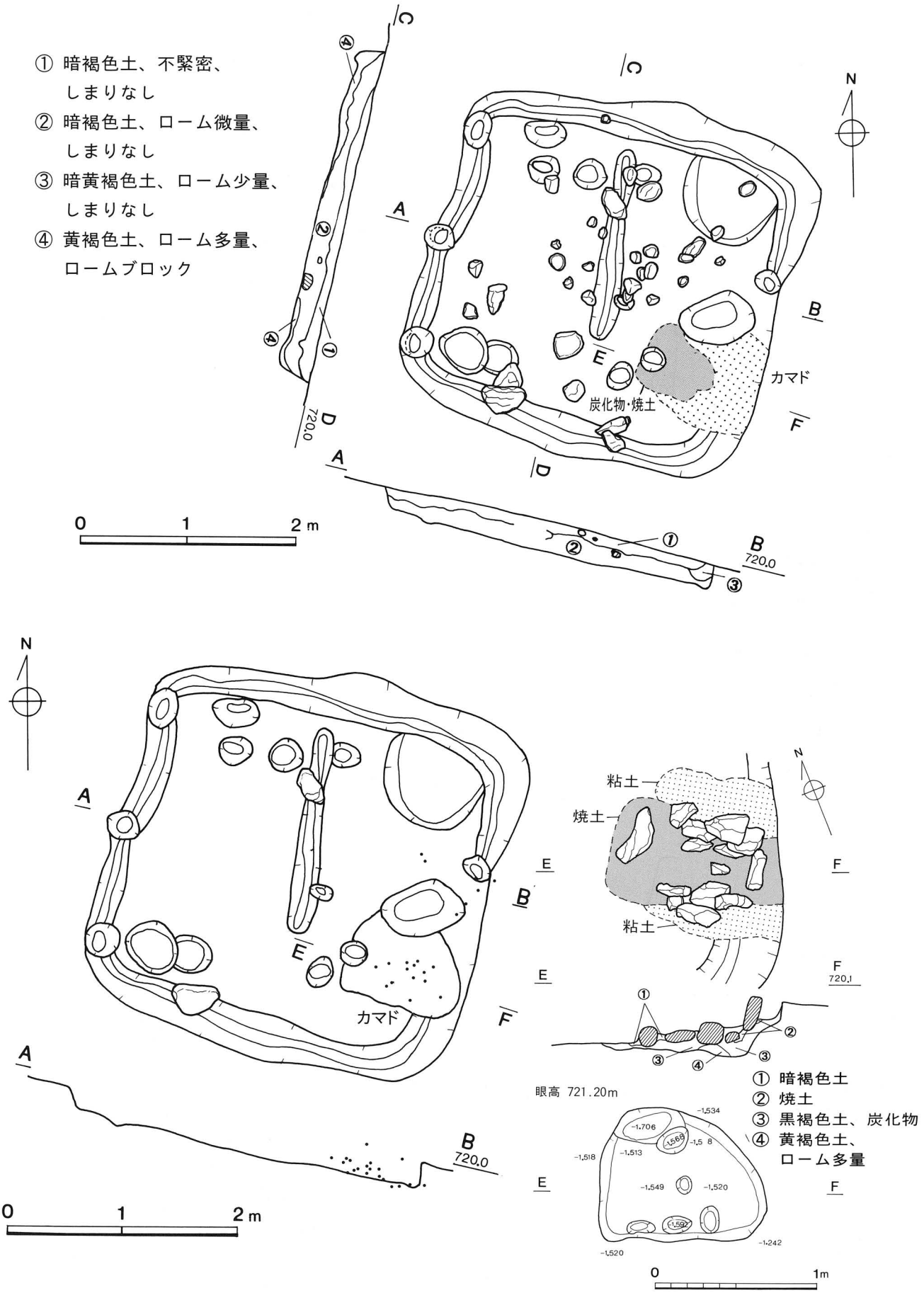
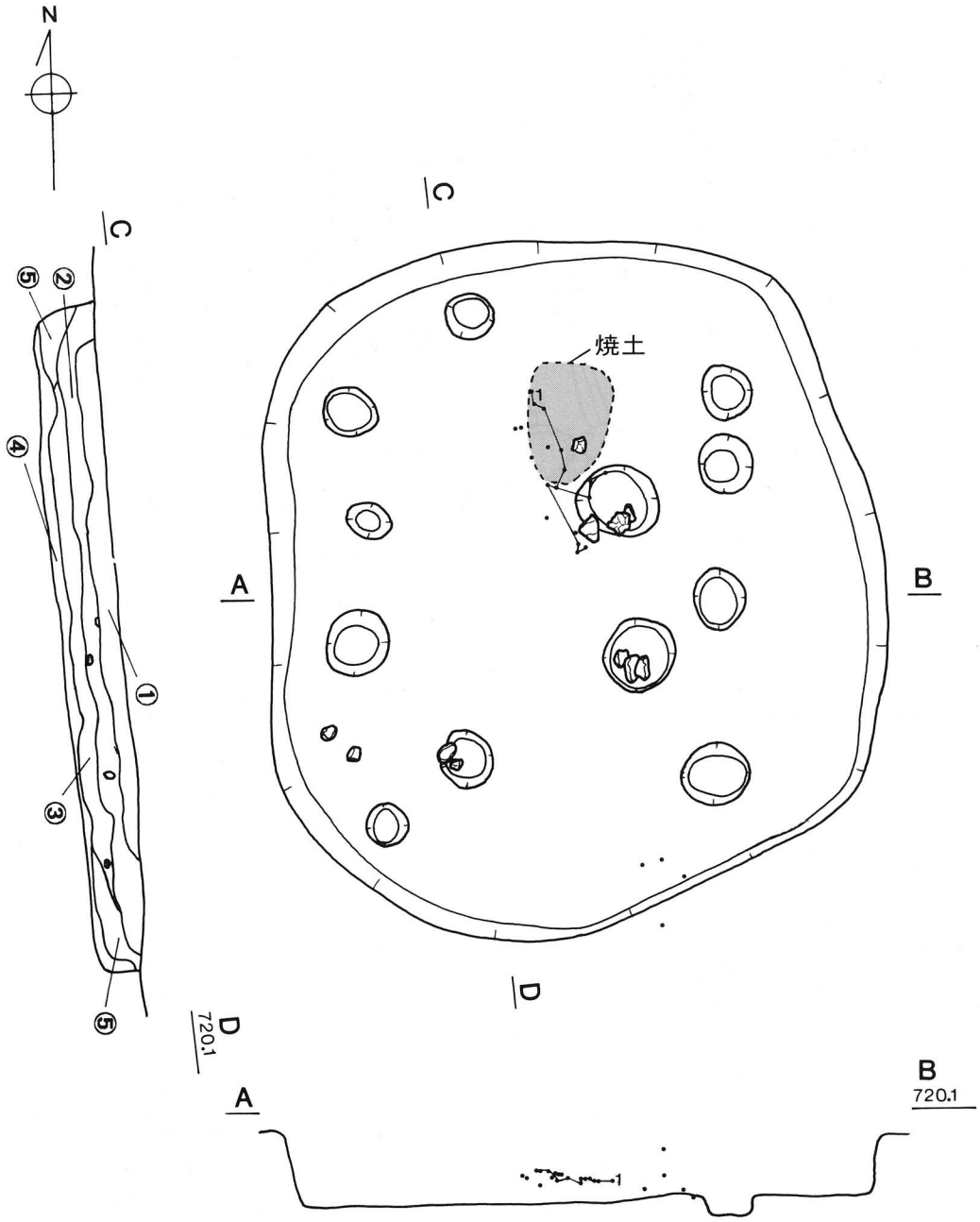
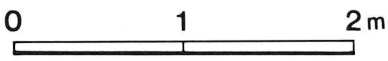


図60　6号住居址・カマド実測図／土器分布図〈B区〉



① 暗褐色土、不緊密、しまりなし
② 暗褐色土、ローム少量、不緊密
③ 黒褐色土、ローム微量、不緊密
④ 暗黄褐色土、ローム少量、ロームブロック混入、不緊密
⑤ 暗黄褐色土、ローム少量



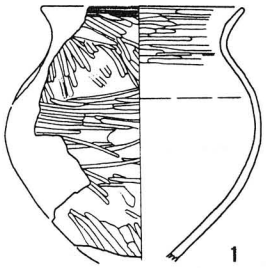


図61　7号住居址実測図／土器分布図〈B区〉

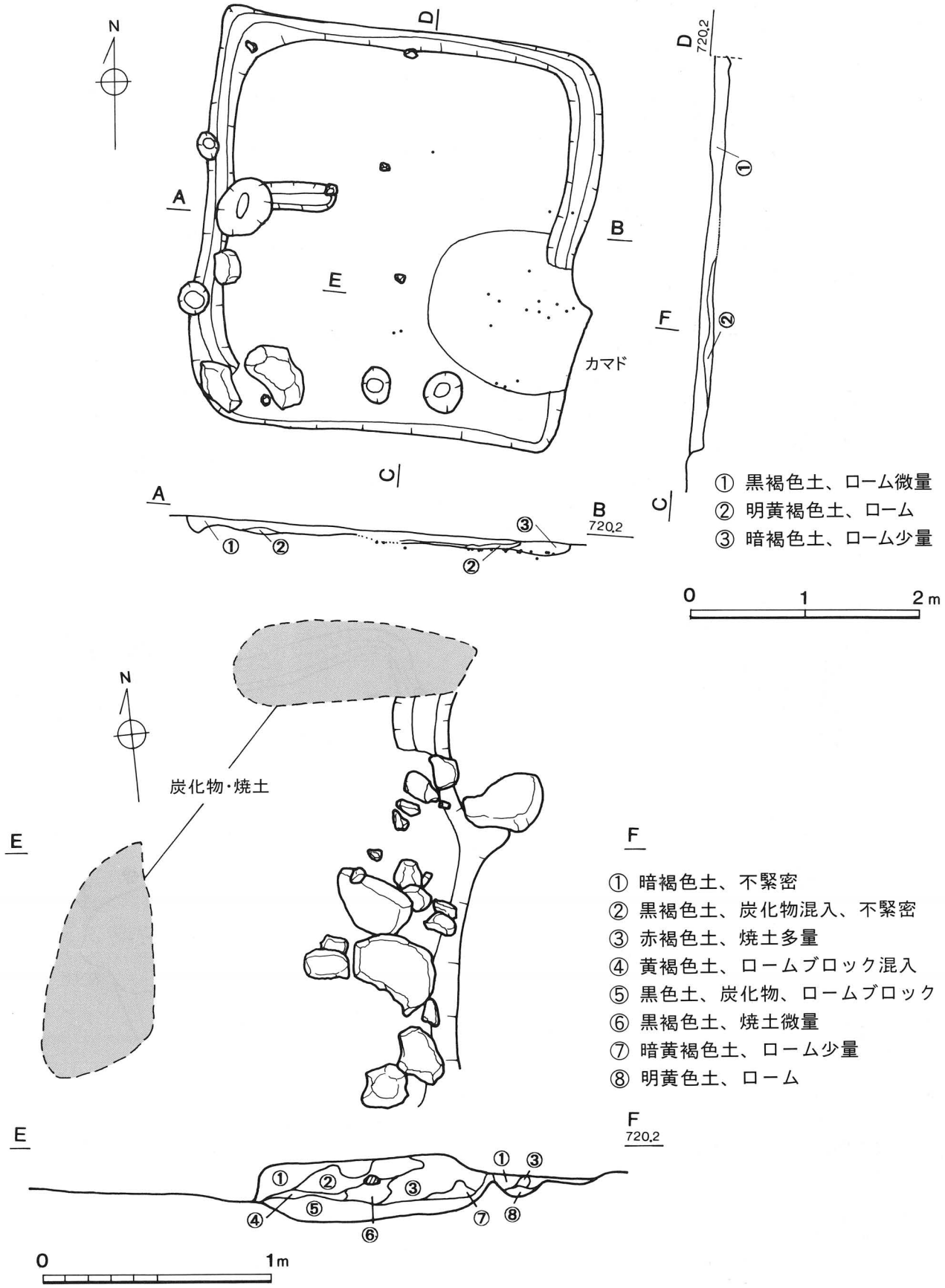


図62　8号住居址実測図／土器分布図〈B区〉

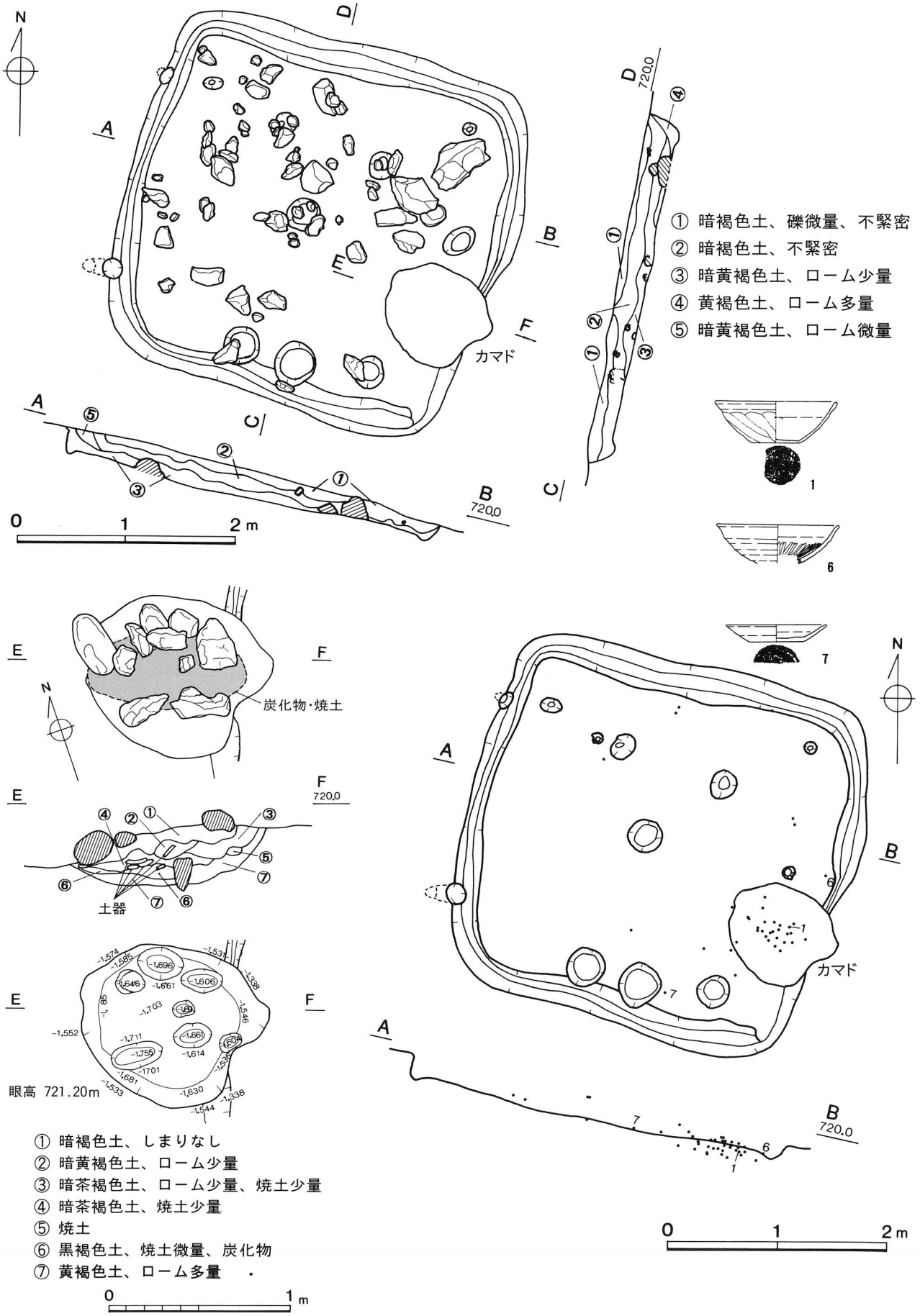


図63　9号住居址・カマド実測図／土器分布図〈B区〉

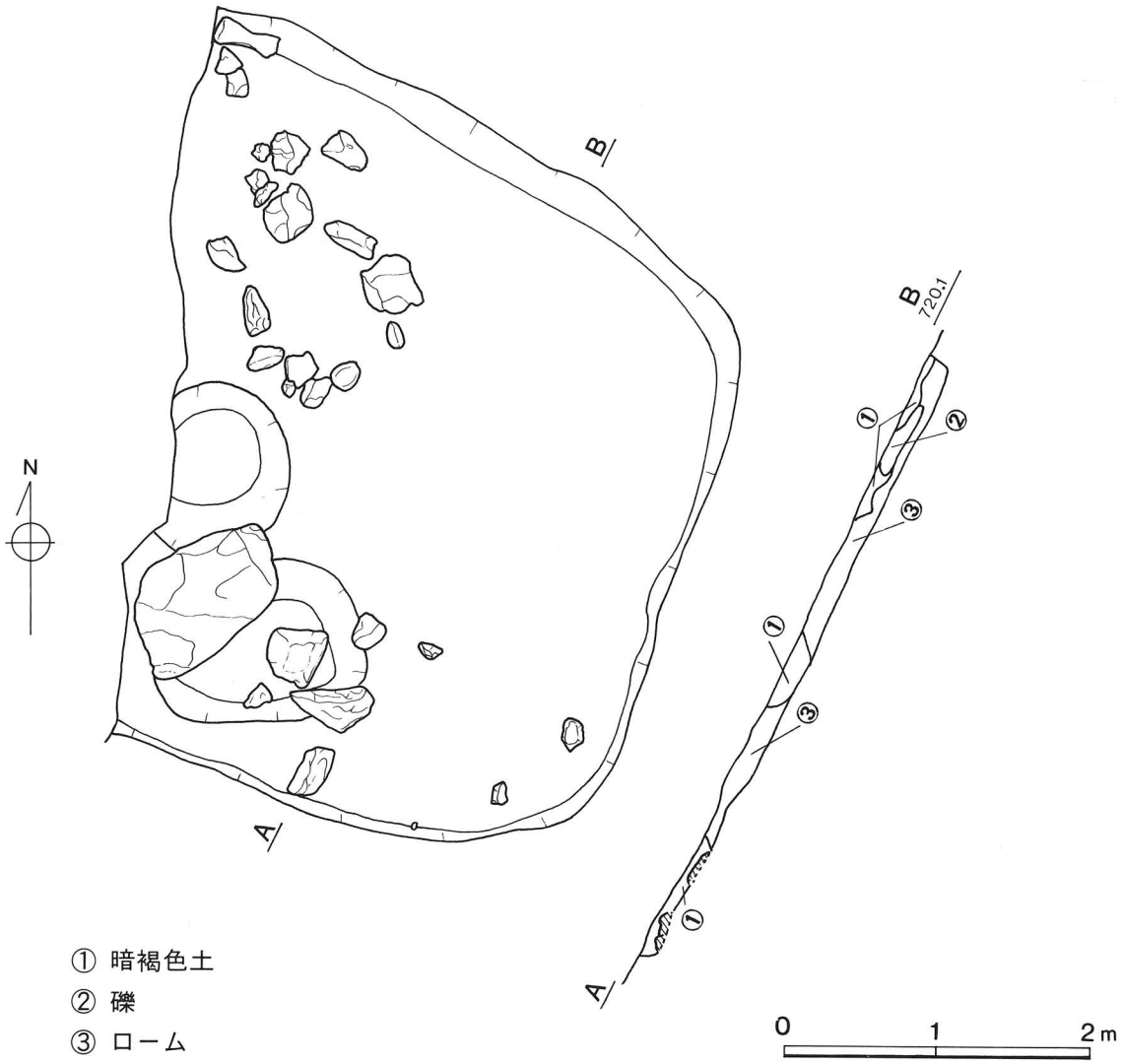


図64　10号住居址実測図〈Ｂ区〉

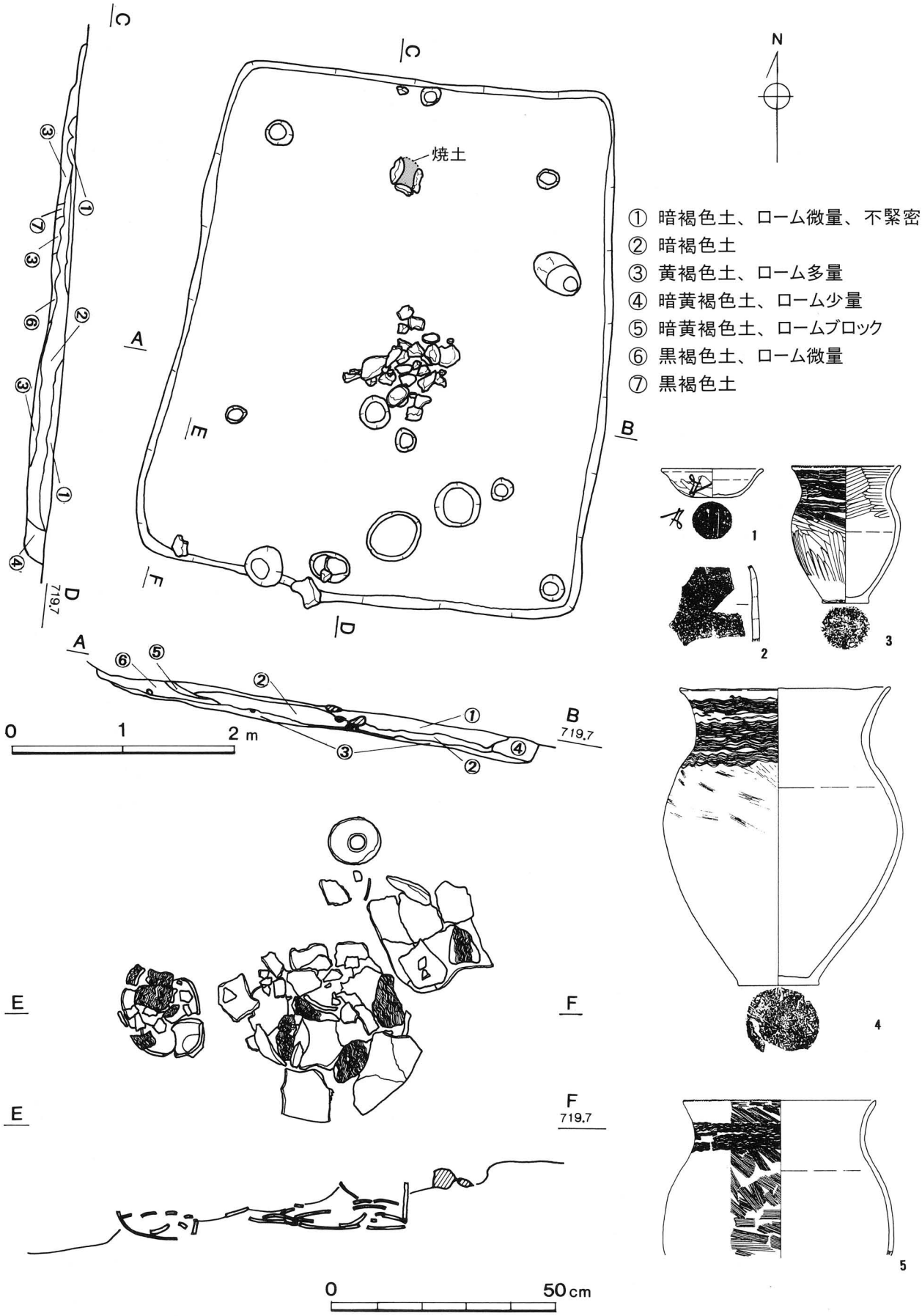


図65　11号住居址実測図／土器(3.4.5)出土状況図〈Ｂ区〉

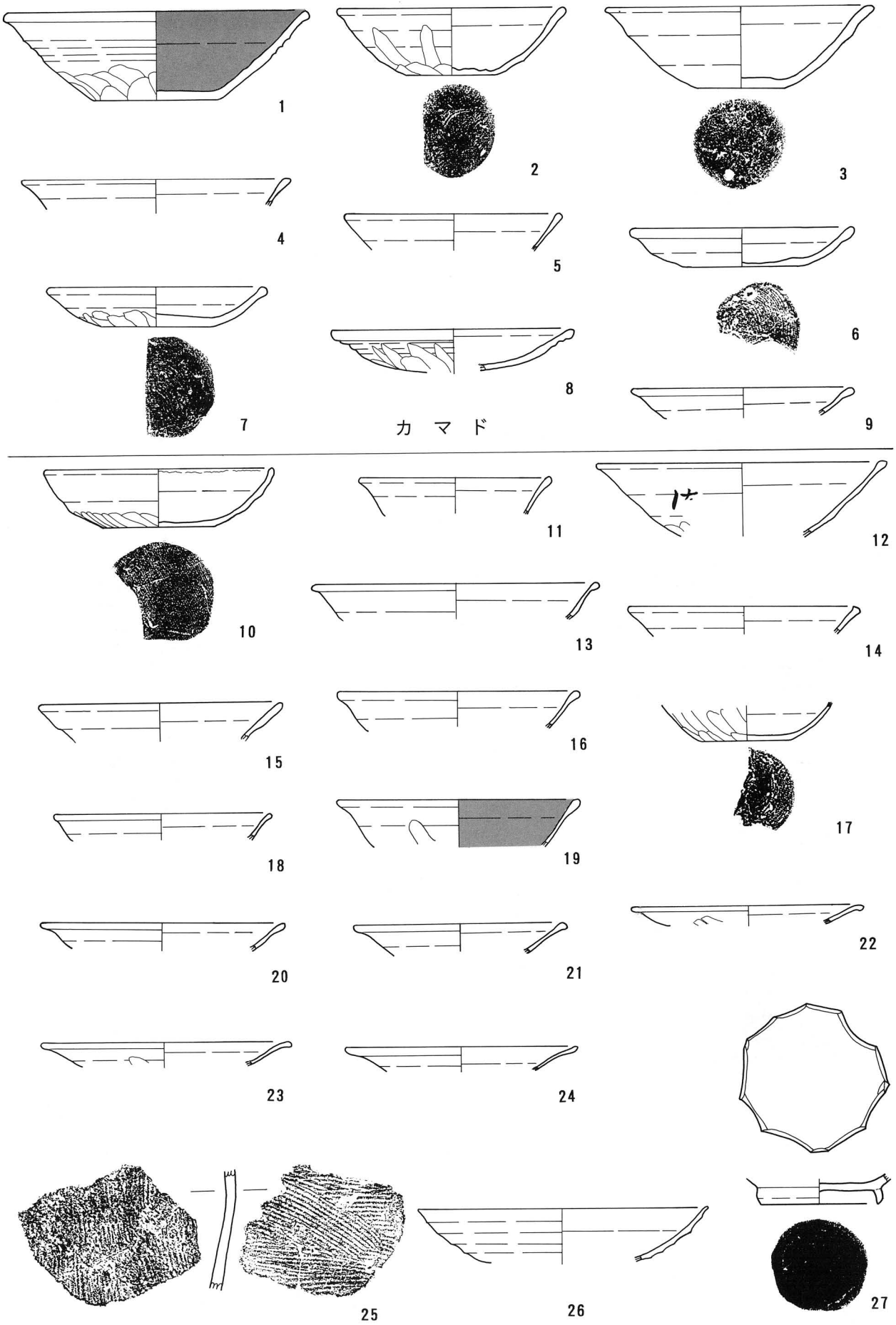


図66　１号住居址出土遺物〈Ａ区〉〔1/3〕

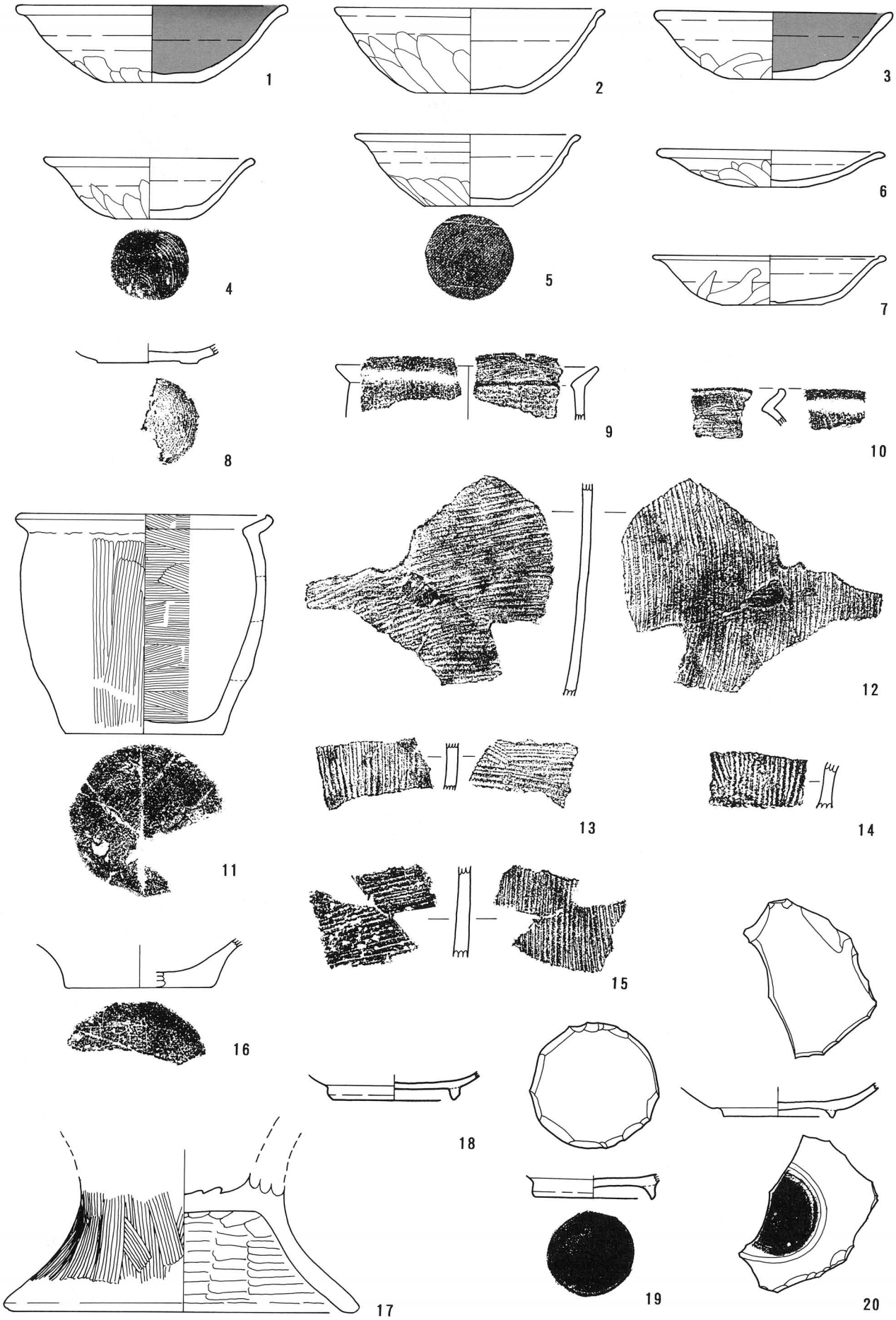


図67　２号住居址出土遺物〈Ａ区〉〔1/3〕

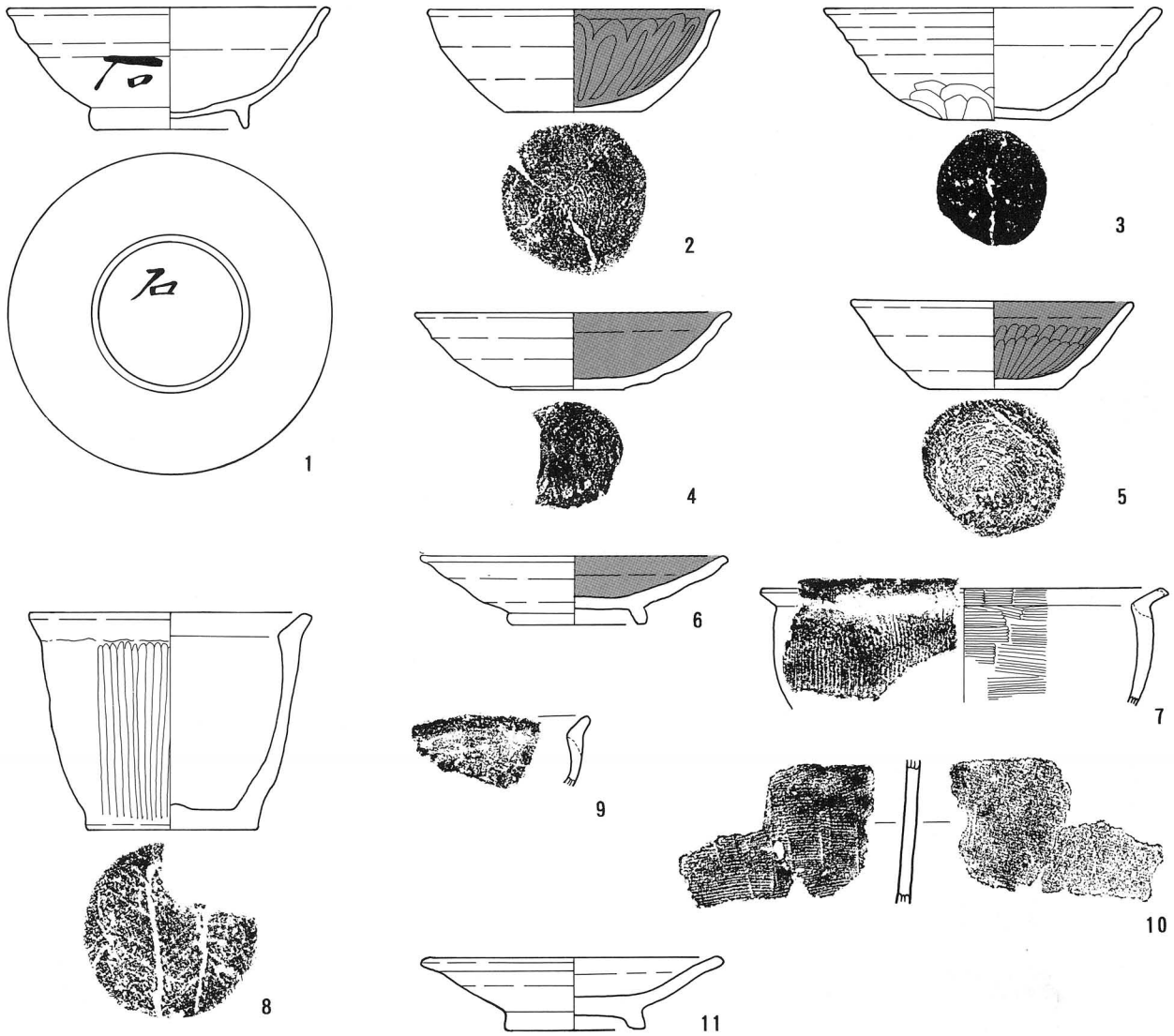


図68　３号住居址出土遺物〈Ａ区〉〔1/3〕

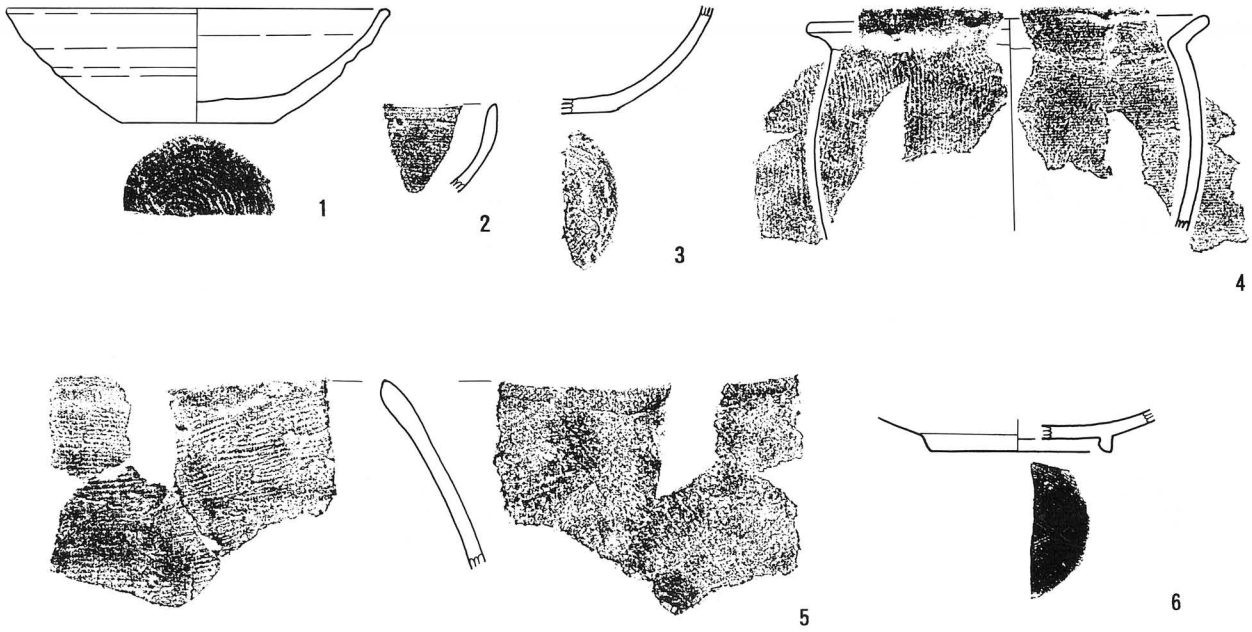


図69　４号住居址出土遺物〈Ａ区〉〔1/3〕

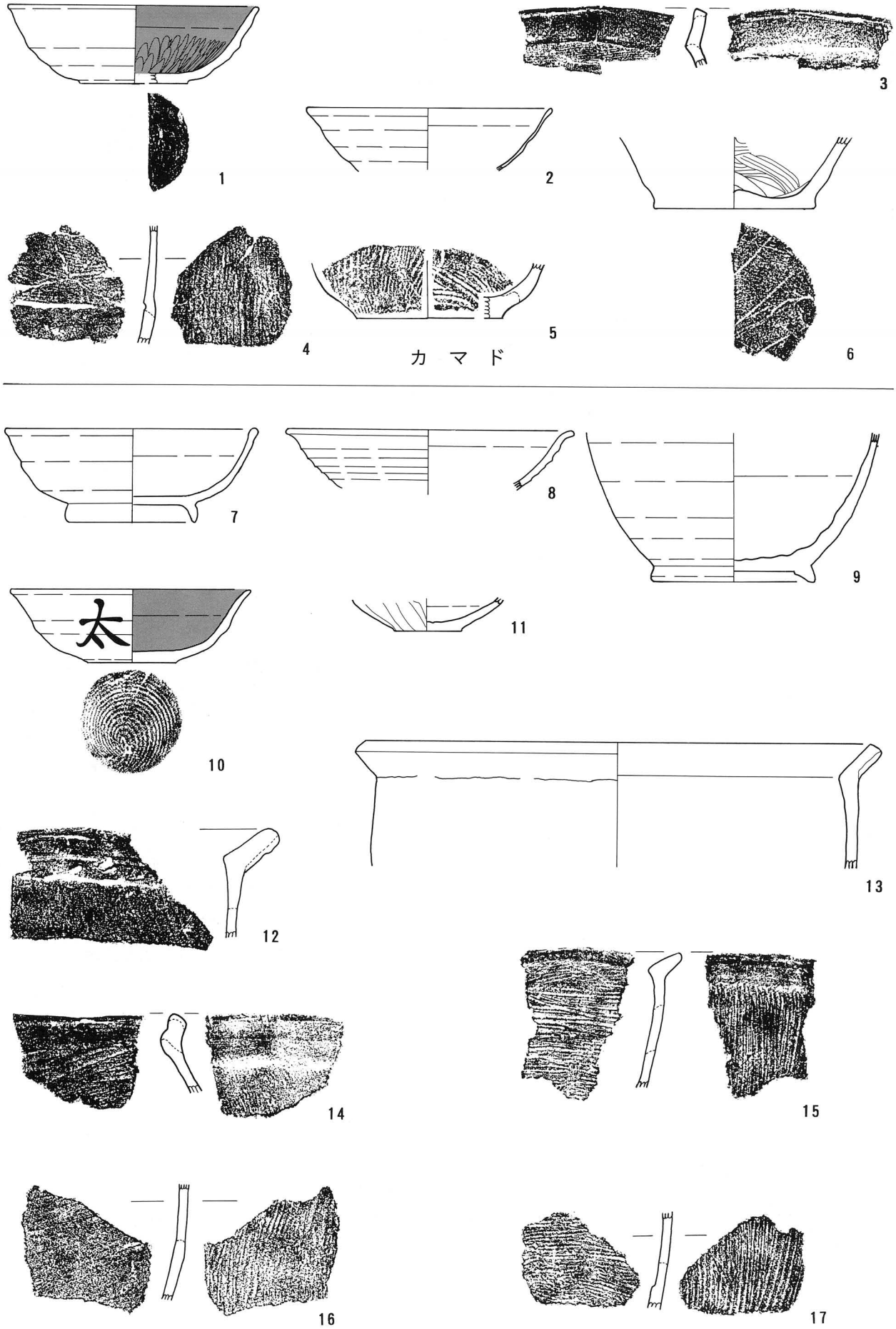


図70　５号住居址出土遺物〈Ａ区〉〔1/3〕

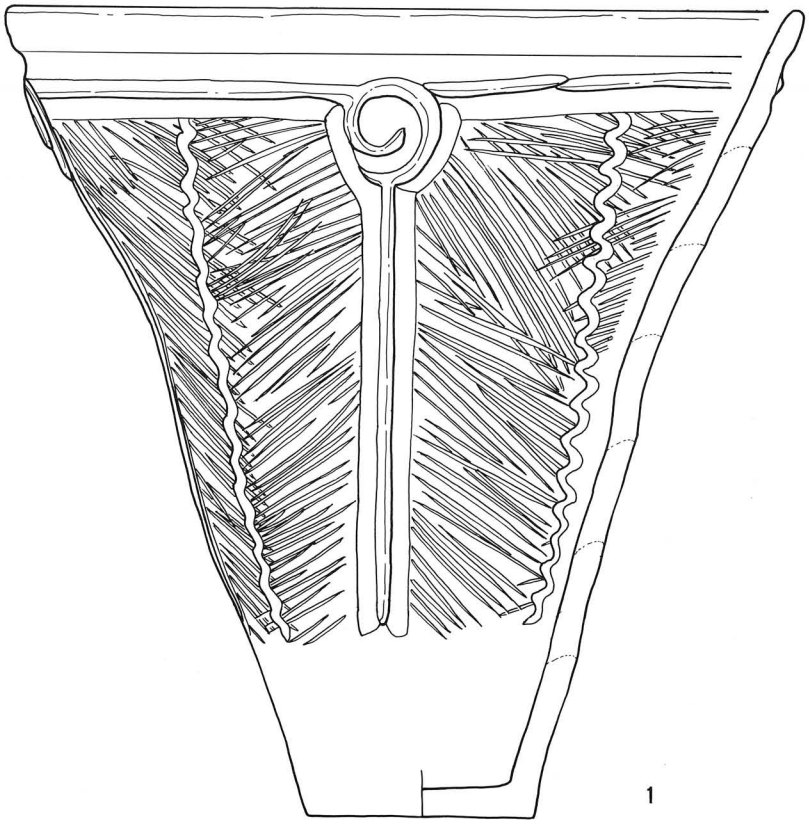


図71　１号埋設土器〈Ａ区〉〔1/3〕

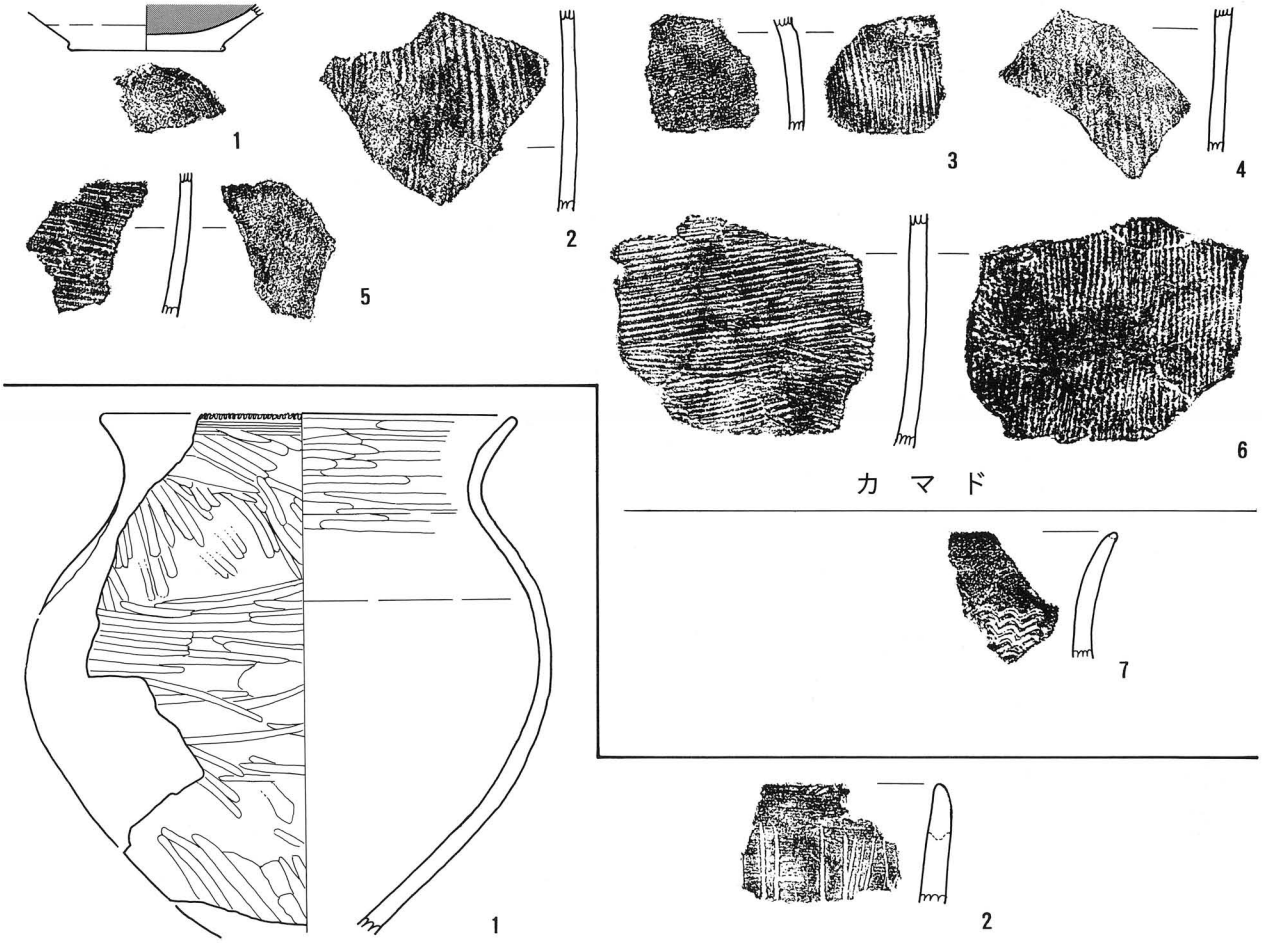


図73　７号住居址出土遺物〈Ｂ区〉〔1/3〕

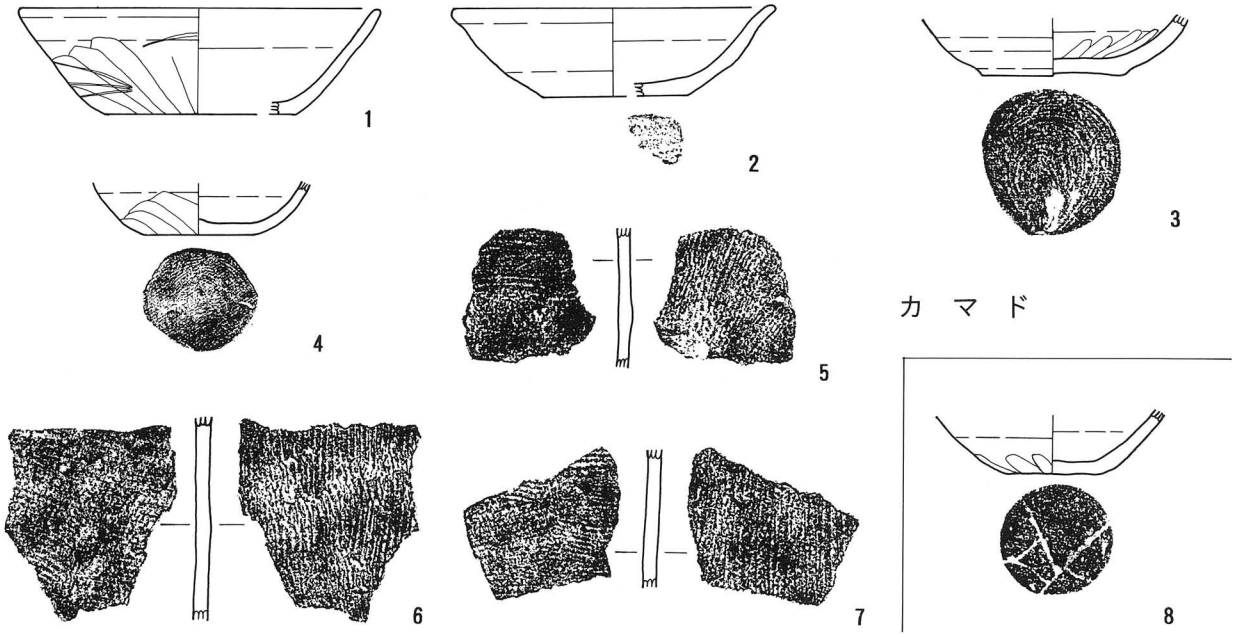


図74　８号住居址出土遺物〈Ｂ区〉〔1/3〕

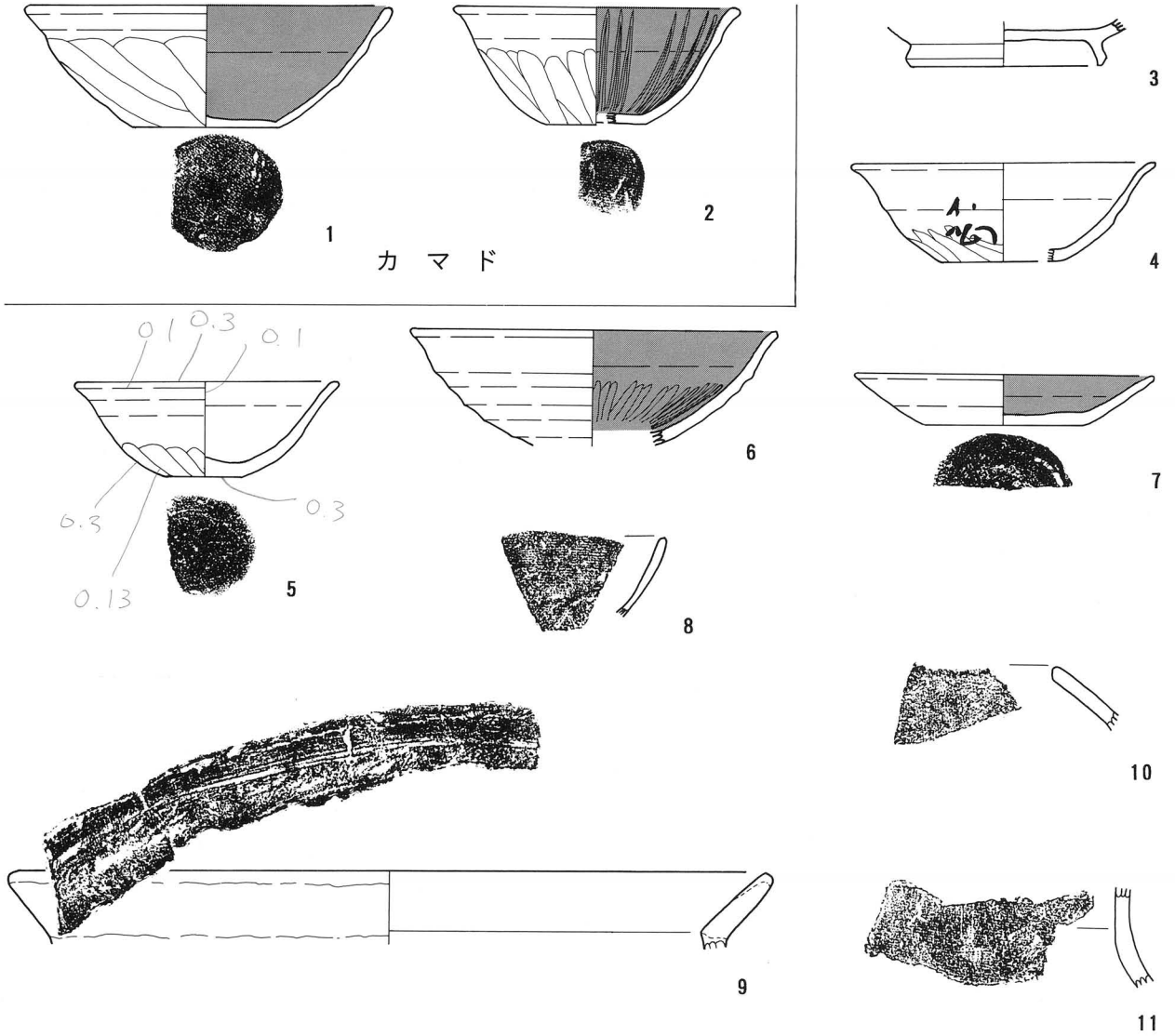


図75　９号住居址出土遺物(1)〈Ｂ区〉〔1/3〕

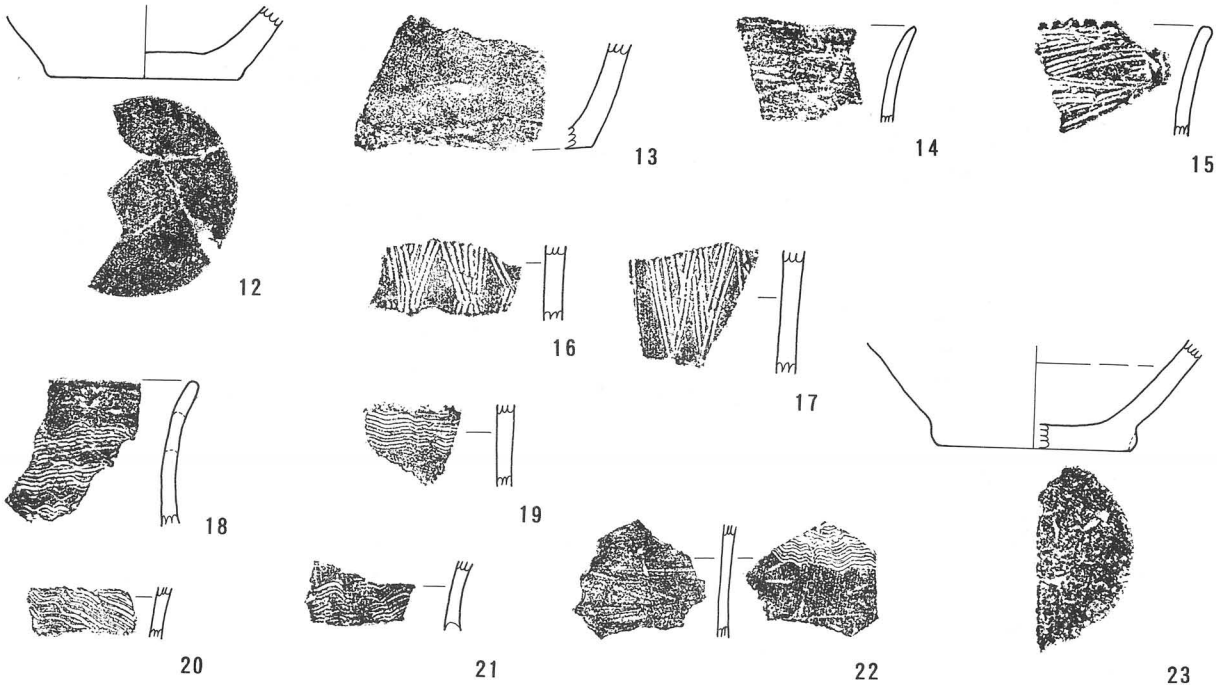


図76　９号住居址出土遺物(2)〈Ｂ区〉〔1/3〕

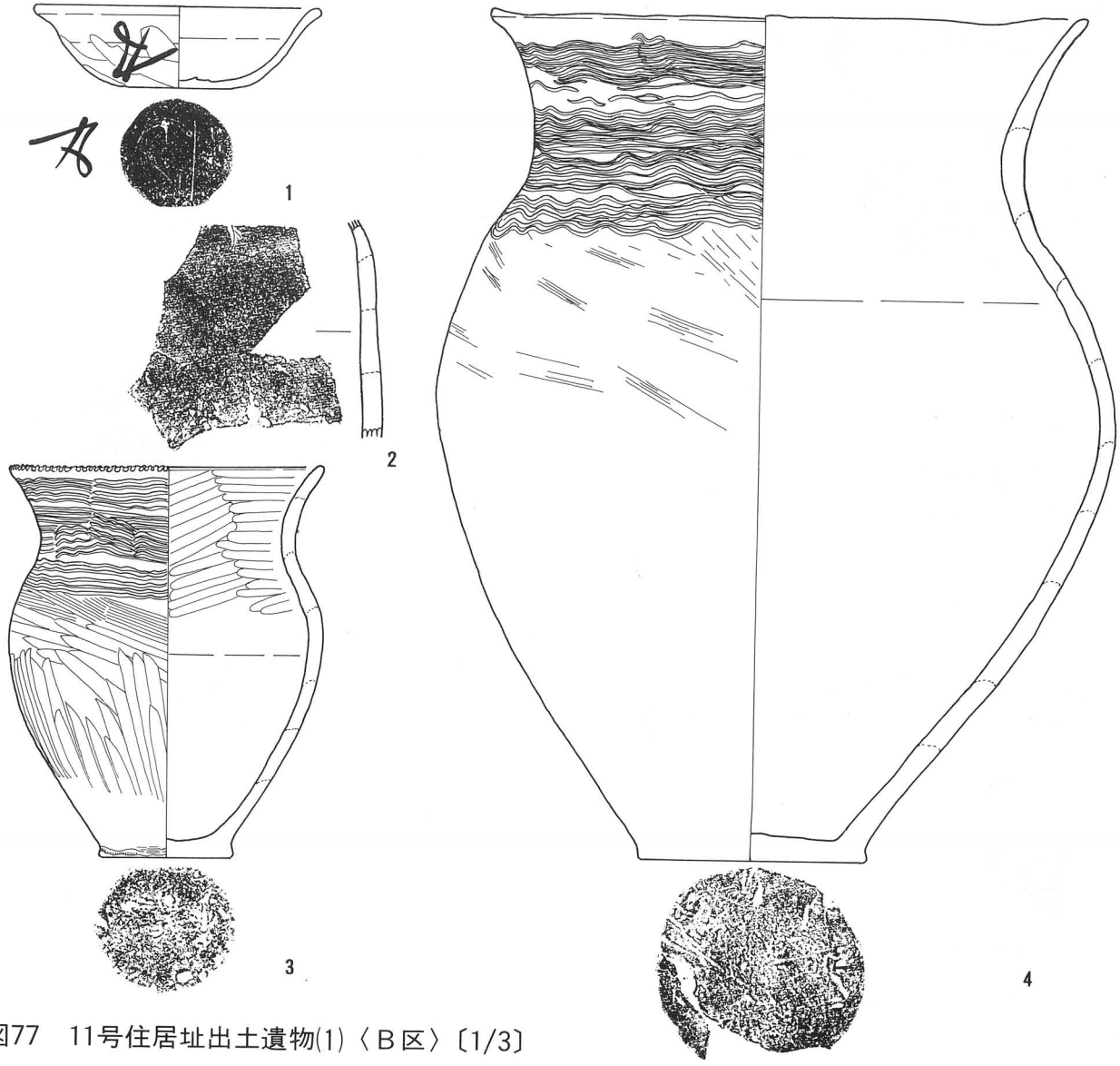


図77　11号住居址出土遺物(1)〈Ｂ区〉〔1/3〕

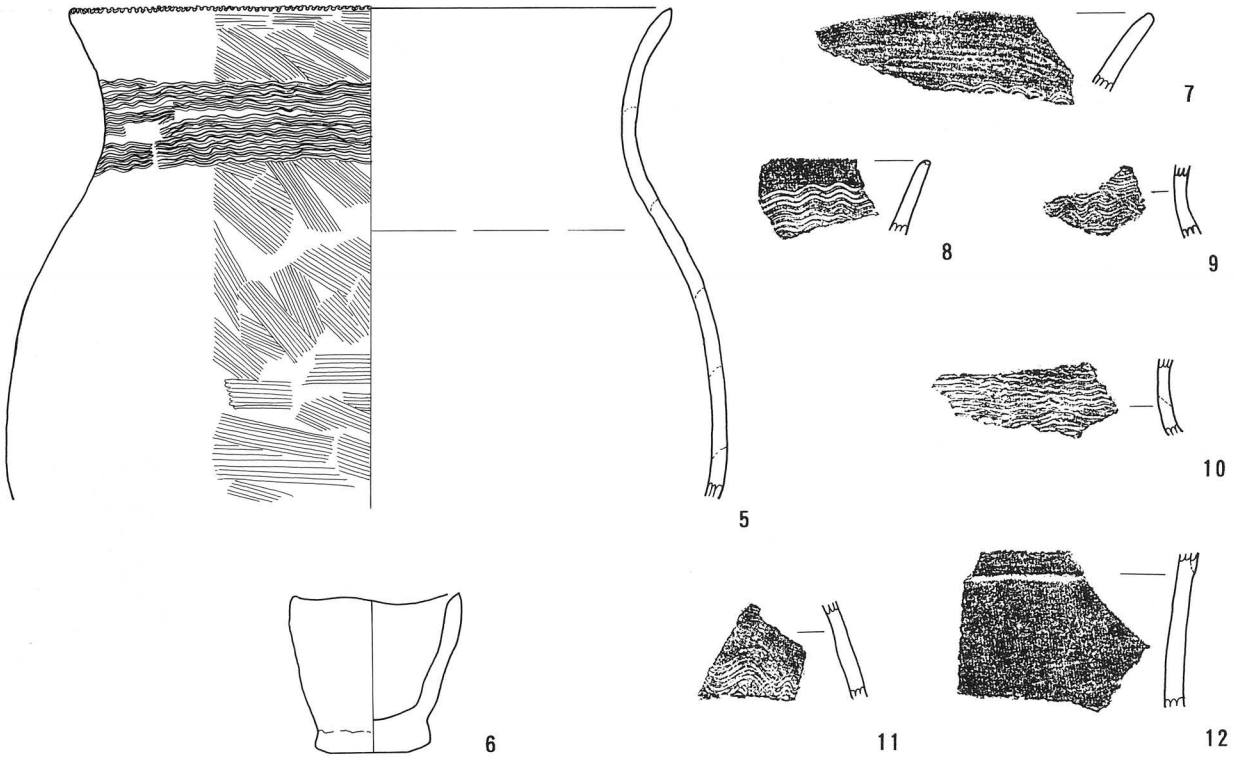


図78　11号住居址出土遺物(2)〈Ｂ区〉〔1/3〕

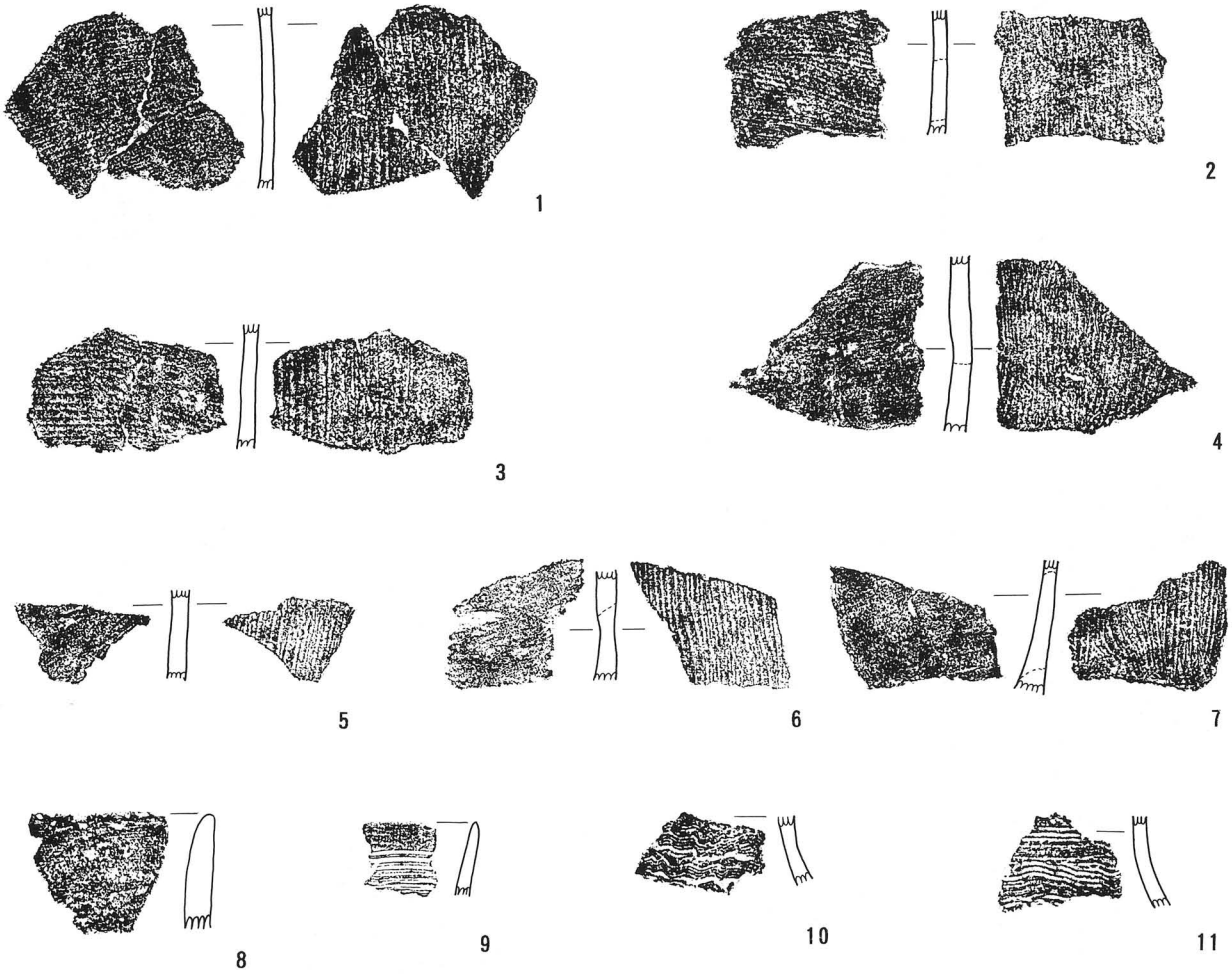
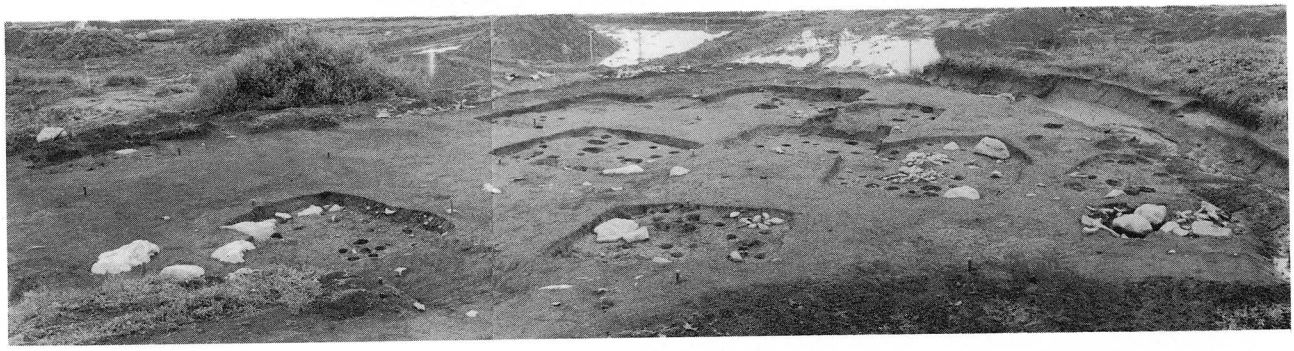


図79　表採遺物〈Ｂ区〉〔1/3〕

柳坪南遺跡



図版１　柳坪南遺跡全景

図版２　１号住居址

図版４　２号住居址

図版５　２号住居出土土器

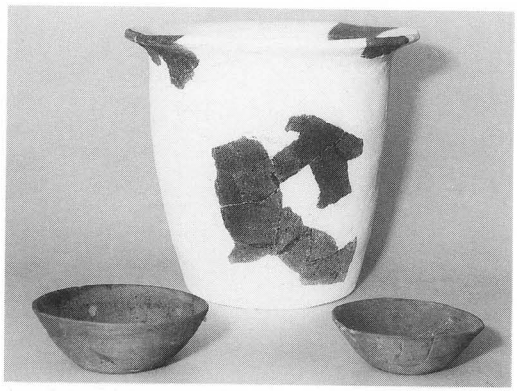
図版３　１号住居出土土器

図版６
３号住居址

図版７
３号住居出土土器

図版８　４号住居址

図版９　４号住居カマド



図版10　４号住居出土土器

図版11　５号住居出土土器

図版12　５号住居出土土器

図版13　５号住居址

図版14
５号住居出土墨書土器

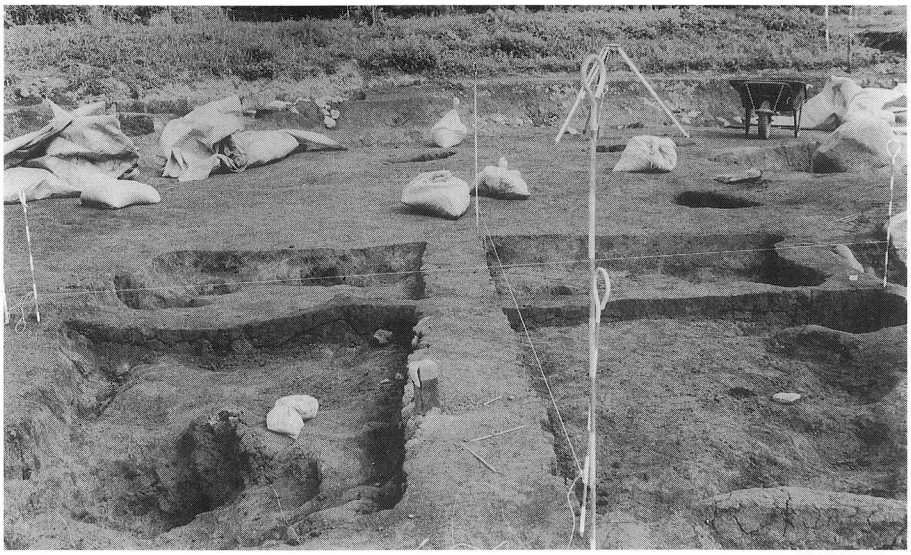
図版15
6号住居址

図版17　6号住居カマド

図版16　6号住居出土墨書土器

図版18　6号住居出土土器

図版19
6号住居出土土器

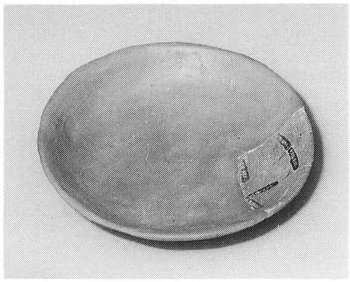


図版20　７号住居址

図版21　７号住居出土土器

図版22
７号住居出土墨書土器

図版23　８号・９号住居址

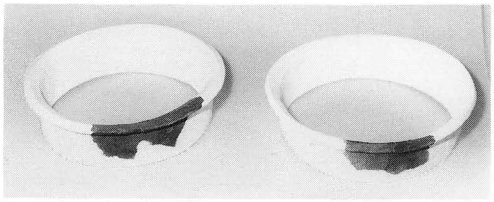


図版24　８号住居出土土器

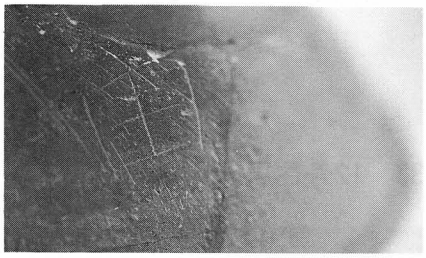
図版25　10号（右）11号（左）住居址

図版26　10号住居出土墨書土器

図版27　10号住居出土土器



図版28　10号住居出土土器

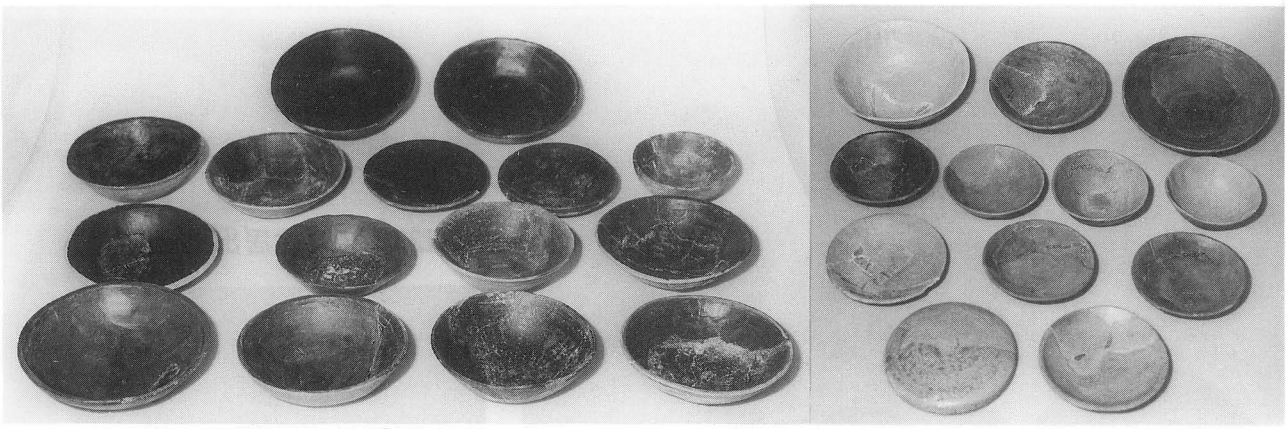


図版29　10号住居出土刻書土器

図版30
12号住居址

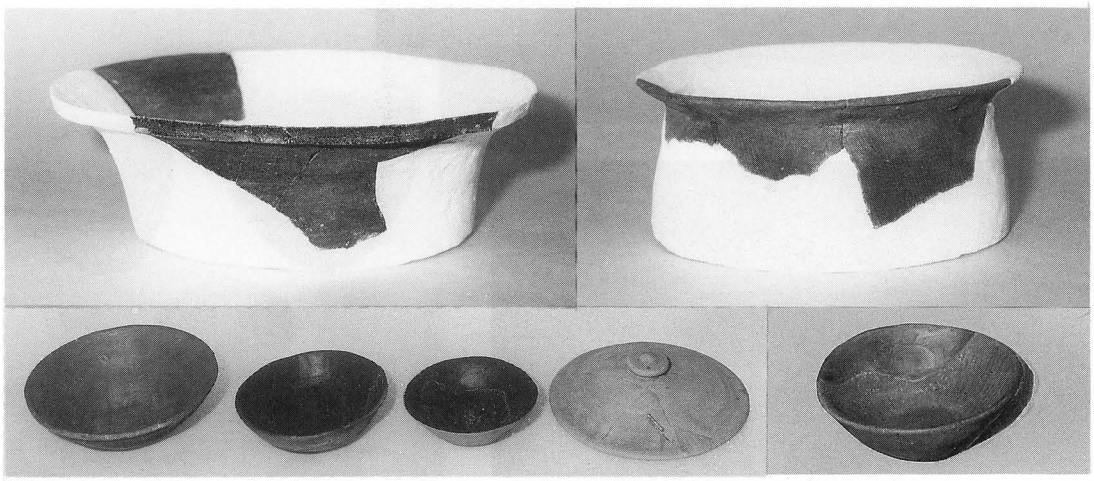
図版31　12号住居カマド横土器出土状況

図版32　12号住居出土土器(上:カマド)



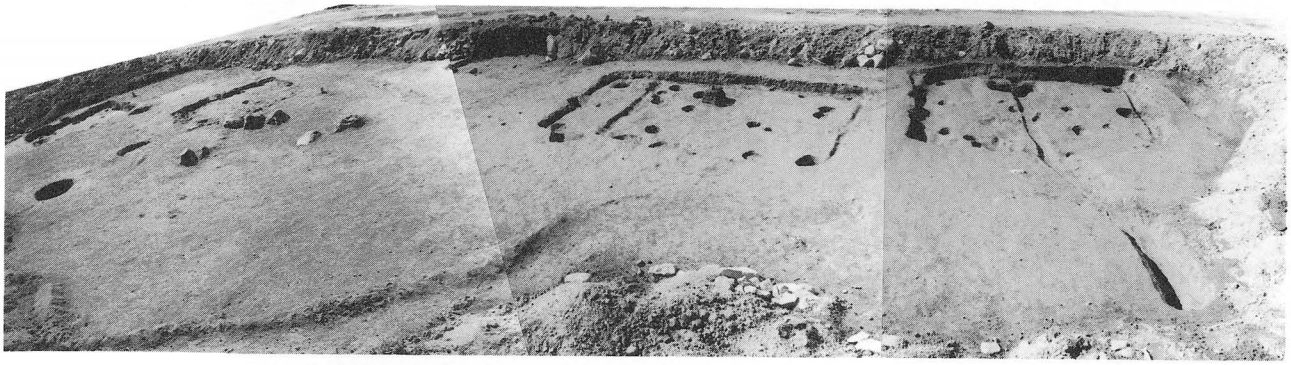
図版33　12号住居出土土器

図版34
13号住居址

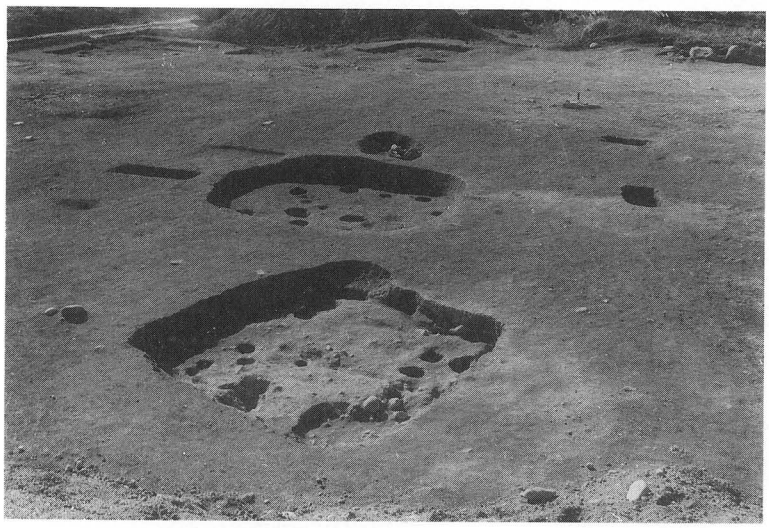


図版35　調査区北出土土器

境原遺跡



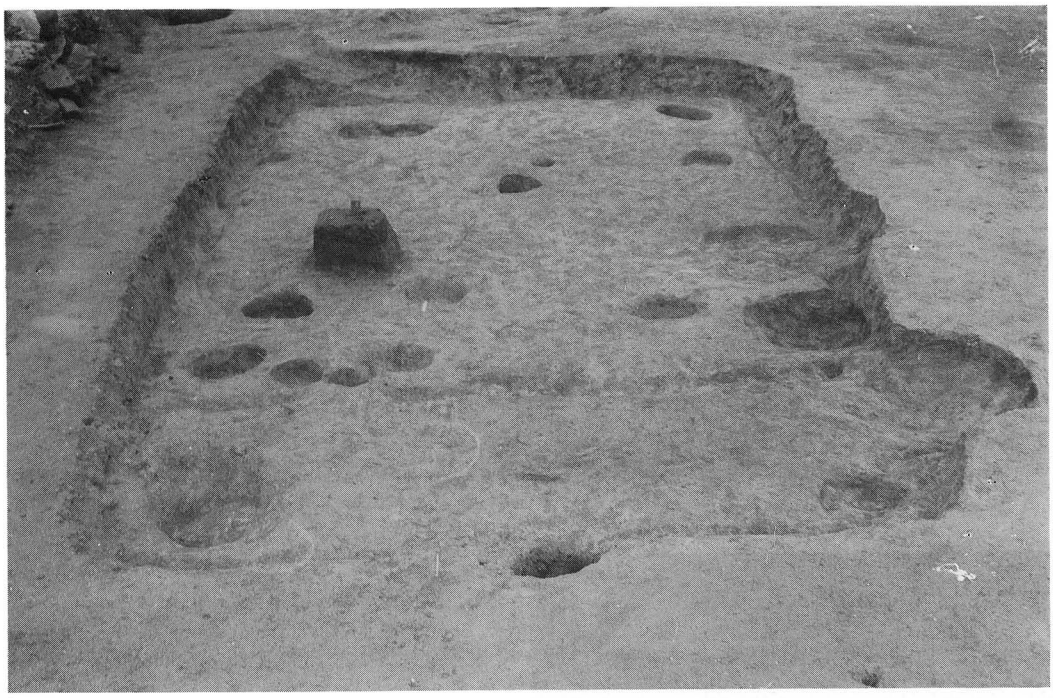
図版36　境原遺跡Ａ区全景



図版37
境原遺跡Ｂ区全景

図版38
１号住居址

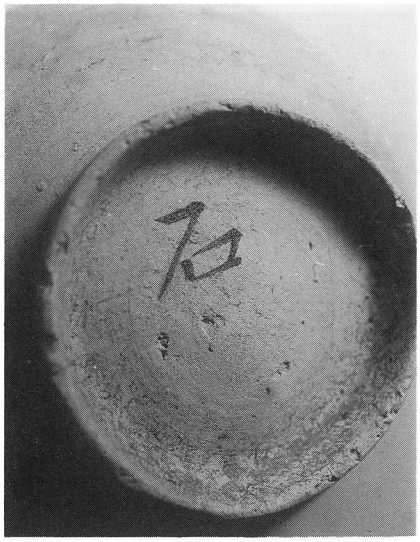
図版39
１号住居出土土器



図版40
２号住居址完掘

図版41　２号住居出土土器

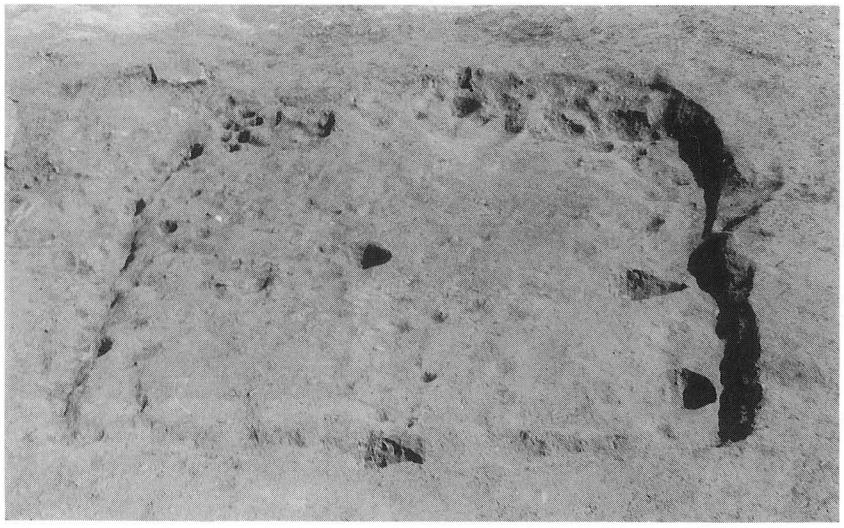
図版42
３号住居址完掘



図版43　３号住居出土墨書土器

図版44　３号住居土器出土状況

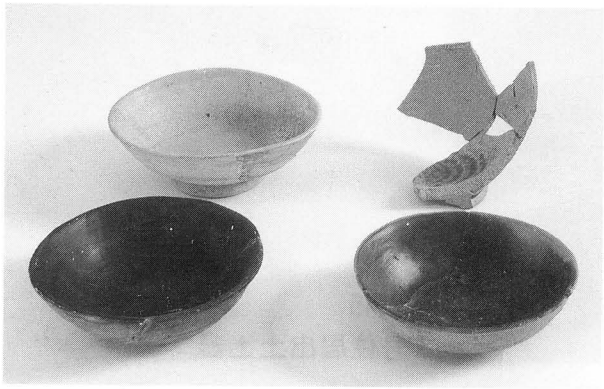
図版45
３号住居出土土器



図版46
４号住居址完掘

図版47　４号住居出土土器

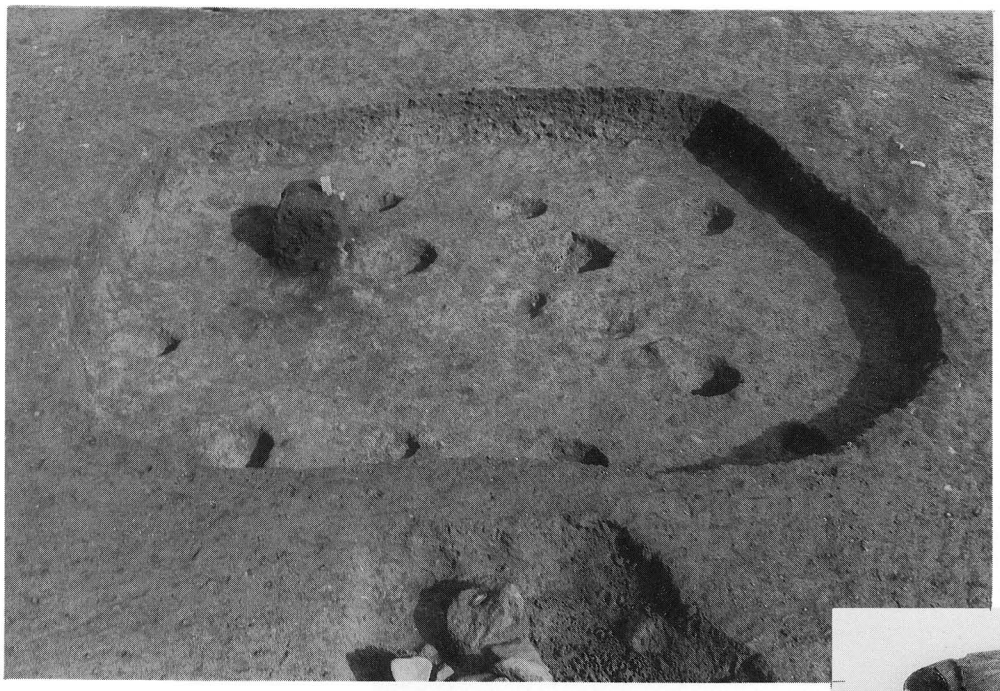
図版48
5号住居
址完掘



図版49　5号住居出土土器

図版50　6号住居址完掘

図版51　6号住居カマド

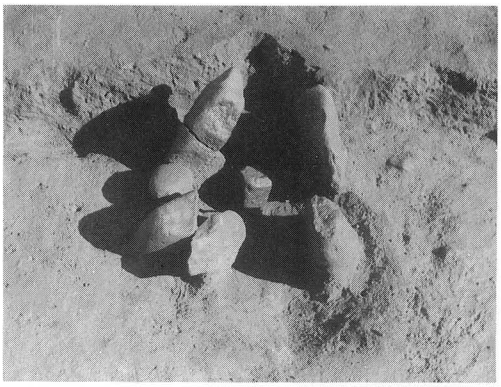


図版52　7号住居址完掘

図版53　7号住居出土土器

図版54　8号住居址完掘

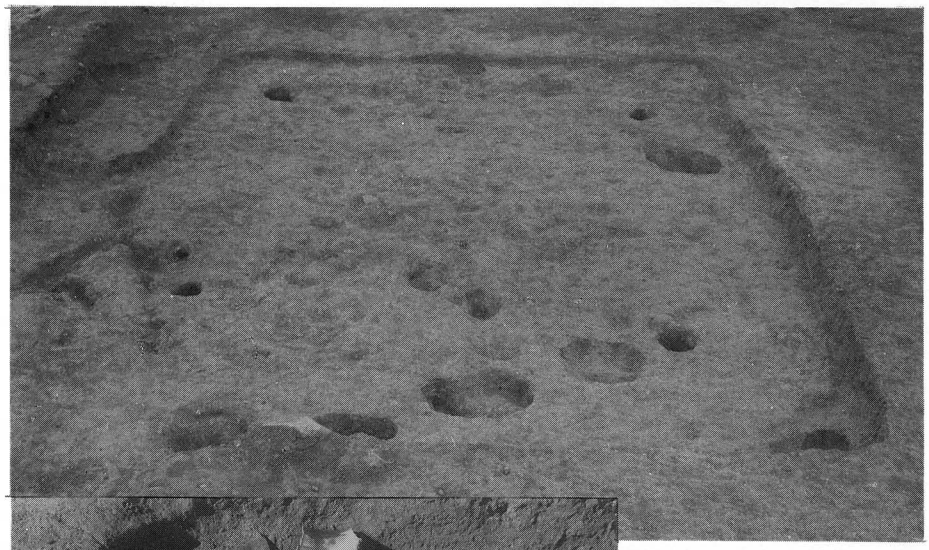
図版55　9号住居址完掘

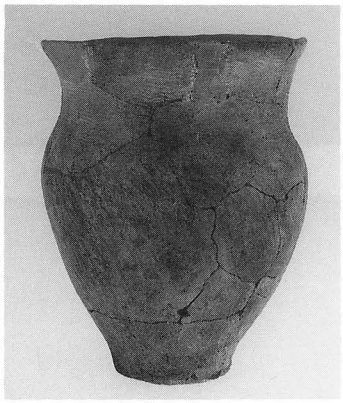


図版56　9号住居カマド

図版57　9号住居出土土器

図版58　10号住居址

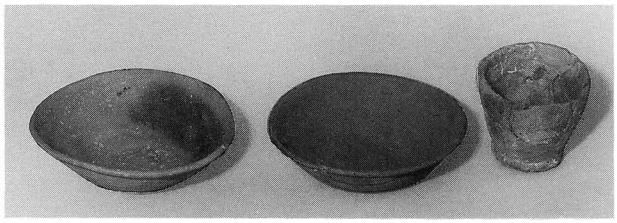




図版59
11号住居出土土器

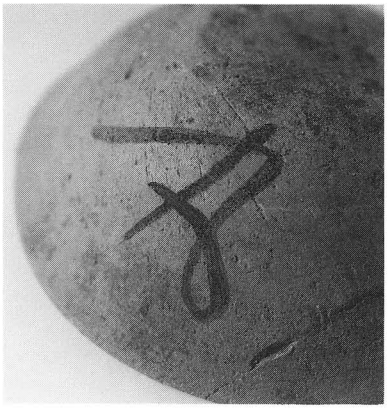
図版60　11号住居址

図版61　11号住居土器出土状況

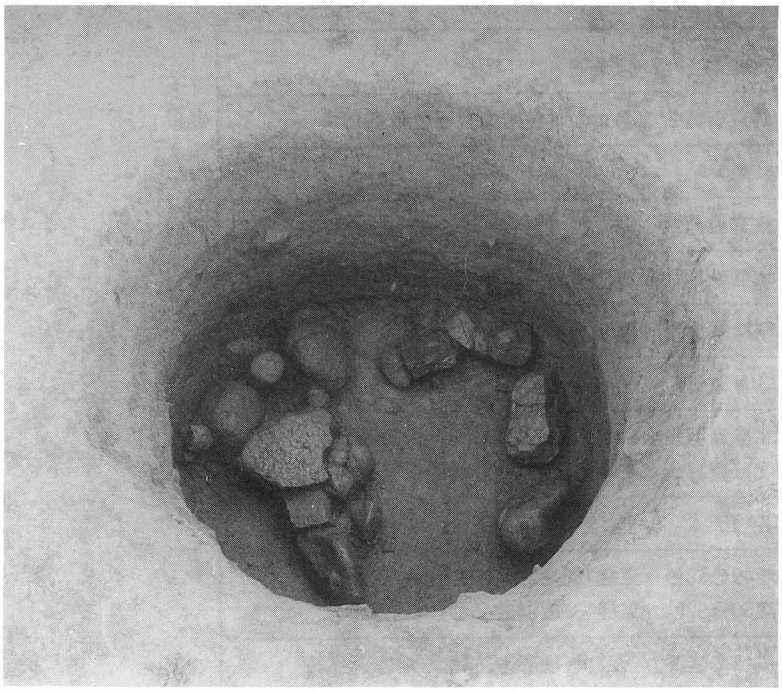


図版62　11号住居出土土器

図版63　11号住居出土土器



図版64
11号住居出土墨書土器



図版65　1号土壙

図版66　1号溝

図版67　1号埋設土器出土状況

図版68　1号埋設土器

報告書概要

書名		柳坪南遺跡（やなぎつぼみなみいせき）　境原遺跡（さかいばらいせき）
シリーズ		長坂町教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書第15集
著者名		小宮山　隆
編集・発行機関		長坂町教育委員会
住所・電話		山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19　TEL0551－32－2111
印刷所		峡北印刷株式会社
発行日		1997年３月31日
遺跡所在地		山梨県北巨摩郡長坂町大八田字柳坪（柳坪南遺跡） 山梨県北巨摩郡長坂町大八田字境原（境原遺跡）
25,000分の1地図名		谷戸・若神子
位置		北緯35度49分58秒　東経138度23分21秒（柳坪南遺跡） 北緯35度50分02秒　東経138度23分45秒（境原遺跡）
標高		707m（柳坪南遺跡）　722m（境原遺跡）
概要	主な時代	平安時代（柳坪南遺跡） 縄文時代・弥生時代・平安時代（境原遺跡）
	主な遺構	平安時代住居15件（柳坪南遺跡）、縄文時代中期埋設土器１基・弥生時代後期住居２件・平安時代住居９件（境原遺跡）
	主な遺物	縄文時代～平安時代土器
	調査期間	1994年７月13日～８月31日（柳坪南遺跡） 1994年７月８日～11月14日（境原遺跡）

長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書 第15集

柳坪南遺跡　境原遺跡

1997年３月25日　印刷
1997年３月31日　発行

編集・発行　長坂町教育委員会
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19
TEL 0551-32-2111

印　　刷　峡北印刷株式会社
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2313
TEL 0551-32-3245